

**2013 年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所
委員会年間事業報告書**

●委員会名：エンジョイ例会委員会

●担当副理事長名：船島健嗣

●委員長氏名：山下亜希子

●副委員長氏名：芥川琢哉

●委員氏名：山下由希弥、川上憲吉、後藤円、田中修、岡本幸一郎、原田竜一、吉野達哉、高田ひろみ、浦田拓、濱弥生

I. 事業名【例会の企画・運営・資料作成並びに議事録の作成・保存】

1. 事業目的

(対外)

来訪JCや入会候補者がオブザーブとして来られた場合、今年度の活動・運動を伝えることにより、今後の当青年会議所への理解と協力を得る。

(対内)

会員相互の交流や情報交換、資質の向上、LOMの方向性の確認、目的意識の共有化を図る機会とする。

2. 実施日時・場所

【例会】

1 月度例会：19時30分～20時55分

2 月度例会：18時30分～19時55分

3 月度例会：19時30分～20時46分

4 月度例会：19時30分～20時21分

5 月度例会：20時53分～21時44分

6 月度例会：19時30分～20時53分

7 月度例会：19時30分～20時43分

8 月度例会：19時30分～20時44分

9 月度例会：19時30分～20時40分

10 月度例会：19時30分～21時32分

11 月度例会：19時30分～21時45分

12 月度例会：18時～19時

【企画】

3 月度「“やる気スイッチ” ONでみなぎる活力 前編」：20時50分～21時41分

4 月度企画「創立50周年テーマソング プレゼンテーション大会」：20時25分～22時30分

6 月度企画「マナーアップセミナー」：20時55分～21時40分

9 月度企画「“やる気スイッチ” ONでみなぎる活力 後編」：20時45分～21時45分

10 月度企画「出向者報告」：20時15分～21:05

11 月度企画「皆でエンジョイ♪AMAHONミニバレー大会」：19時55分～21時25分

【例会】

1 月度・3 月度・5 月度・6 月度・7 月度・8 月度・9 月度・10 月度例会会場

株式会社肥後銀行天草支店 3 階会議室 天草市南新町 6-1 0969-22-2151

2 月度例会会場：牛深海彩館 2 階 会議室

4 月度例会会場：カラオケホールベストテン 天草市栄町 10-24 0969-24-3270

11 月度例会会場：天草宝島国際交流会館ポルト 3 階多目的ホール

天草市中央新町 15-7 0969-24-1155

12 月度例会会場：ホテルアレグリアガーデンズ天草 天草市本渡町広瀬 996 0969-22-3161

【企画】

3 月度・9 月度企画「やる気スイッチ」ON でみなぎる活力 前編・後編」

株式会社肥後銀行天草支店 3 階会議室 天草市南新町 6-1 0969-22-2151

4 月度企画「創立 50 周年テーマソング プレゼンテーション大会」

カラオケホールベストテン 天草市栄町 10-24 0969-24-3270

6 月度企画「マナーアップセミナー」

株式会社肥後銀行天草支店 3 階会議室 天草市南新町 6-1 0969-22-2151

10 月度企画「出向者報告」

株式会社肥後銀行天草支店 3 階会議室 天草市南新町 6-1 0969-22-2151

11 月度企画「皆でエンジョイ♪AMAHON ミニバレー大会」

天草宝島国際交流会館ポルト 3 階多目的ホール 天草市中央新町 15-7 0969-24-1155

3. 参加人員

【参加員数報告 1 月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名		
	(内部) 理事・役員	23名	
	メンバー	10名	
	合計	33名	

【参加員数報告 2 月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名		
	(内部) 理事・役員	19名	
	メンバー	6名	
	合計	25名	

【参加員数報告 3 月度例会】

(外部) 関係諸団体	1名		
	(内部) 理事・役員	19名	
	メンバー	11名	
	事務局員	1名	

合計 32名

【参加員数報告 4月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	18名	
メンバー	12名	
<hr/>		
合計	30名	

【参加員数報告 5月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	21名	
メンバー	10名	
事務局員	1名	
<hr/>		
合計	32名	

【参加員数報告 6月度例会】

(外部) 関係諸団体	1名	
(内部) 理事・役員	19名	
メンバー	10名	
事務局員	1名	
<hr/>		
合計	31名	

【参加員数報告 7月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	20名	
メンバー	12名	
<hr/>		
合計	32名	

【参加員数報告 8月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	20名	
メンバー	8名	
<hr/>		
合計	28名	

【参加員数報告 9月度例会】

(外部) 関係諸団体	1名	
(内部) 理事・役員	18名	
メンバー	13名	
事務局員	1名	
<hr/>		
合計	33名	

【参加員数報告 10月度例会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	20名	
メンバー	8名	
事務局員	1名	
	合計	29名

【参加員数報告 11月度例会】

(外部) 関係諸団体	1名	
(内部) 理事・役員	19名	
メンバー	11名	
事務局員	1名	
	合計	32名

【参加員数報告 12月度例会】

(外部) シニアクラブ	5名	
(内部) 理事・役員	21名	
メンバー	13名	
事務局員	1名	
	合計	40名

4. 事業内容

(事業概要)

例会については、会員自らが進んで参加したくなるような魅力的で明日への活力と繋げてもらうために、運営方法やタイムテーブル等を今一度見直します。また、これまでの例会企画については、基本的には例会の議事全てが終了した後に実施する共に、企画の考案・実施については当委員会が基本的には担当し、年3回実施します。企画の概要については、会員同士の交流を育む企画、創立50周年記念大会実施に向けての会員の意識高揚に繋がる企画、仕事やJC活動に対してより前向きに取り組んでいける会員の意識改革に繋がる企画を実施します。さらに企画内容によっては、時間の有効活用も考慮し、企画会場に例会会場を移して例会を開催いたします。

【例会準備・運営】

- ①会場設営については、運営グループ（専務理事・総務室・財政室・事務局）と連携して行う。また例会進行者（専務理事）と毎月事前に打ち合わせを行い、連携して例会運営を行う。
- ②例会次第にスローガンを掲載する。
- ③国歌斉唱・JCソング・若い我等については会員皆が一体となって元気良く大きな声で歌ってもらえるよう、まずは当委員会が率先して実践すると共に、進行者（専務理事）からも歌う前に「皆さん、元気よく大きな声で歌いましょう」と必ず一言添えて頂く。
- ④理事長挨拶においては、会員の明日への活力に繋がる内容構成で行って頂く。
- ⑤1ヶ月間の日本・地区・ブロック・LOM全体の活動報告等については、理事長挨拶と別に理事長報告を設けて、その中で発信して頂く。
- ⑥委員会報告を設け、各委員会事業の情報を代表者より1分間で発表して頂く。報告の内容は、前月例会から当月例会までの1ヶ月間の委員会の取り組みや、委員会の雰囲気、委員会メンバーの様子な

どを報告して頂く。事業の参加促進、事業後のお礼等はエンジョイ♪スマイルで行って頂く。

⑦3分間スピーチ名称を「エンジョイ♪マイワーク」に、スマイル名称を「エンジョイ♪スマイル」にそれぞれ変更する。

⑧拡大報告を設け、2分間で会員拡大についての現状報告を行う。

⑨例会時の監事講評についてはこれまでの2名から1名とする。但し、総会開催時は、もう一名の監事より総会の内容等について講評して頂く。(参照：総務広報委員会 総会タイムテーブル)

⑩4月度例会・11月度例会・12月度例会については、定例の会場から移動して例会を開催する。

⑪12月度例会については卒業式と同日開催とする。

⑫議事録フォームについては、会員に一番伝えたい項目に絞った見易いフォームにリニューアルする。

⑬例会を欠席したメンバーには、例会配布資料をレターケースに配布している旨を伝えると共に、受け取りのないメンバーについては、12月にまとめて郵送する。

【エンジョイ♪マイワーク】

①発表者の決定は、例会出席者全員の中からくじ引きにてその場で決定する。但し、例会内で常時発言機会のある理事長、直前理事長、監事、スマイル発表者、一度発表したメンバーを除きます。

②テーマを1年間固定し、自分の仕事についてやりがいや魅力を感じるどころ、仕事をしていて楽しさを感じることにについて発表して頂く。

③発表時の姿勢や表情、スピーチの内容等、良かった点のみをコメント用紙に記載して頂く。

④発表後、発表者が着席するまで全員で暖かい拍手を送る。

【エンジョイ♪スマイル】

①誕生日、入会月、一般スマイルとし、職場のPRや近況報告、事業のお礼等を行って頂く。

②スマイル収益金の一部は寄付する。寄付金の額及び寄付先については、三役及び理事会において判断して頂く。

③新入会員が初めて参加する例会時は、進行者よりスマイルの趣旨説明を冒頭に必ず行う。

【企画（仮称）準備・運営】

①企画については、基本的には例会議事が全て終了した後に実施する。

②企画の考案及び実施については、基本的には当委員会が担当する。但し、各委員会から企画実施の要望がある場合には担当窓口となる。尚、企画の構成上、例会のタイムテーブルの変更や企画時に設営方法を変更する必要がある場合においては企画担当委員会と調整を行う。

③例会企画の申し込みがある場合は×切りを開催前月の20日中と設定し、それ以降の受付は行わない。

④企画の案内文作成、次第作成、出欠確認、設営及び準備については企画担当委員会が行う。

【3月度・9月度企画“やる気スイッチ”ONでみなぎる活力 前編・後編】

①講師は外部からでなく、当青年会議所シニアクラブの先輩へ依頼する。

②仕事やJC活動に対してより前向きに取り組んでもらうために、会員各々の“やる気スイッチ”を促す講演会を実施する。前編においては、人生において出会う多くの方々との縁、青年会議所に入会したことによって出会えた方々との縁を大切にしていくことや、今ここにしかない、今ここで私がやる、誰でもない自分がやるといった強い想いを持ってもらう。また後編においては、50周年事業後

の脱力感を払拭するような前向きな内容の講演とする。

【4月度企画 創立50周年テーマソング プレゼンテーション大会】

- ①各部会ごとに個室に分かれ、50周年に向けての意気込みが発信できる曲やテーマ・スローガンを思い浮かべられる曲、または会員皆の心がひとつになれる曲を基準に1曲選定して頂く。
- ②各部会にて選定した曲を、選定理由のプレゼンテーションも織り交ぜて頂きながら披露して頂く。
- ③各部会からのプレゼンテーションを踏まえて1人1曲選定して投票して頂き、最多得票の曲を創立50周年テーマソングに決定する。尚、得票数が同数となった場合は、くじ引き（ドラフト会議方式）で当たりを引いた部会に決定する。
- ④決定したテーマソングは、例会会場にて準備から例会開始までのBGM、創立50周年記念大会の前夜祭にて迎賓中のBGMとして活用して頂く。さらに、記録記念誌部会で作製するDVDに収録する。

【6月度企画 マナーアップセミナー】

- ①講演と実践を通して、挨拶の仕方や表情作り、名刺交換の仕方、50周年事業時に実践できるお客様のおもてなしの仕方等、マナーに関する初歩的な基礎知識を習得して頂く。

【10月度企画 出向者報告】

- ①3分間での報告とし、内容は一番楽しかったこと、一番大変だったことを発表して頂く。

【11月度企画 皆でエンジョイ♪AMAHONミニバレー大会】

- ①チーム分けは委員会別とし、ルールについては誰にでも分かり易く、参加し易いオリジナルルールで実施する。

5. 成 果

（対 外）

- ①3月度企画講師・6月度企画講師・9月度企画講師にオブザーバーとしてご出席頂き、理事長挨拶、報告等から今年度の活動・運動を伝えることができ、今後の当青年会議所への理解と協力を得られた。また、居酒屋の青春にも参加して頂き、メンバー個々より活動・運動を伝えることもできた。

（対 内）

- ①理事長挨拶において、会員の明日への活力に繋がる内容構成で行って頂き、また1ヶ月間の日本・地区・ブロック・LOM全体の活動報告等について、理事長挨拶と別に理事長報告を設けると共に、案内文や次第にスローガンを掲載したことで、LOMの方向性の確認、目的意識の共有化を図ることができた。
- ②委員会報告を設けたことにより、各委員会の動向や委員会の雰囲気や共有して頂くことができ、会員相互の交流や情報交換ができた。
- ③3月度・9月度企画「“やる気スイッチ”ONでみなぎる活力」では、先輩方の体験談を交えた青年会議所活動に対する熱い想いを聞くことで今の自分を振り返り、明日へのやる気に繋がった。また、6月度企画「マナーアップセミナー」では、50周年に向けて各々の資質の向上、4月度企画「創

立50周年テーマソング プレゼンテーション大会」や11月度企画「皆でエンジョイ♪AMAHONミニバレー大会」では、会員相互の交流ができメンバー皆の絆が強くなった。

6. 引継事項

【例会準備・運営】

①会場設営について、企画担当委員会へ協力を依頼するなど余裕をもって例会を開会できるようにしてください。また、スムーズな例会運営となるよう例会進行者（専務理事）に毎月委員会に参加して頂き打ち合わせを行い、連携して例会運営を行ってください。

②例会次第にスローガンを掲載したことにより常にスローガンの意識付けができた。ぜひ続けてください。

③国歌斉唱・JCソング・若い我等については会員皆が一体となって元気良く大きな声で歌ってもらえるよう専務理事より促して頂き、例会担当委員会や執行部が率先して元気良く大きな声で歌ってください。また、歌詞を憶えていない人や新入会員への配慮として、昨年までのようにプロジェクターで歌詞を映し出す等、再検討されてください。

④1ヶ月間の日本・地区・ブロック・LOM全体の活動報告等については、理事長挨拶と別に理事長報告を設けて、その中で発信して頂きました。双方の内容にメリハリがつくと思いますのでご検討ください。

⑤本年度は企画をすべて当委員会が受け持ったため委員会報告を設けました。すべての委員会が例会に携わっていただけるよう、企画や3分間スピーチ、スマイルを各委員会で受け持つ等の工夫をされてください。

⑥3分間スピーチ名称を「エンジョイ♪マイワーク」に、スマイル名称を「エンジョイ♪スマイル」にそれぞれ変更しました。少なからず、柔らかく話しやすい雰囲気を作れたと思います。ご検討ください。

⑦拡大報告を設け、2分間で会員拡大についての現状報告をしました。時間も短く、報告するのみとなりましたので、会員拡大が重要であればもう少し時間をとって例会内でメンバーからアドバイスや情報を頂く等の工夫をされてください。

⑧例会時の監事講評についてはこれまでの2名から1名とし、総会開催時は、もう一名の監事より総会の内容等について講評して頂きました。内容が重なることもなく、スムーズな進行となりました。また、総会時は1名にして少しでも居酒屋の青春に早く移ったほうがいいのではないかと意見がありました。ぜひ次年度はもう一度見直し、メンバーの時間を有効活用できるようご検討ください。

⑨4月度例会・11月度例会・12月度例会については、定例の会場から移動して例会を開催しました。メンバーの出席率の向上には繋がりませんでした。メンバーの様々な志向に少しでも近い例会が開催できました。ぜひ次年度もご検討ください。

⑩議事録フォームについては、会員に一番伝えたい項目に絞った見やすいフォームにリニューアルしました。わかりやすく、読みやすくはなりましたが、当日次第が変更になることもあったため、次第の流れの記載

は必要でした。ご検討ください。

⑪例会を欠席したメンバーには、例会配布資料をレターケースに配布している旨を伝えると共に、受け取りのないメンバーについては、12月にまとめて郵送しました。レターケースからの受け取りはあまり見込めません。各委員長へ委員会開催時等で渡していただく等、工夫されてください。

⑫案内文についてFAX・メール、連絡網システムを利用しましたが役員も含め半数以上が未返信のため電話確認となりました。返信がない場合は電話確認する旨を案内文に記載されてもいいかと思いますが、理事長よりメールを再度発信して頂く等、執行部へも協力を仰ぎ、会全体の問題として再度協議されてください。

⑬居酒屋の青春にはMy箸の持参を呼び掛けたが、当委員会をはじめ、メンバー全員持参していませんでした。マイ箸の取り組み自体を再検証する必要があると思われます。

⑭議事録作成は例会欠席の委員会メンバーとしていたが、メンバーによっては作成ならびに提出が遅れてしまい署名人のサインを頂かないまま例会回覧となってしまうました。署名人には例会時に必ず印鑑を持参いただくよう、事前の連絡を忘れずに行ってください。

【エンジョイトマイワーク】

⑮発表者の決定は、例会出席者全員の中からくじ引きにてその場で決定しました。公平にいろんなメンバーが発言する機会となるよう工夫されてください。

⑯テーマを1年間固定し、自分の仕事についてやりがいや魅力を感じるころ、仕事をしていて楽しさを感じることに発表して頂きました。テーマを工夫し、話しやすい雰囲気が作れるようご検討ください。

⑰発表時の姿勢や表情、スピーチの内容等、良かった点のみをコメント用紙に記載していただきました。自分ではなかなか気づかない癖などもありますので、修練の場として改善点の記載もあっていいかもしれません。

【エンジョイトスマイル】

⑱誕生月、入会月、一般スマイルとし、職場のPRや近況報告、事業のお礼等を行って頂きました。スマイル月に欠席するメンバーも多いので、誕生月にはちょっとしたプレゼントを準備する等の工夫をされてください。

⑲スマイル収益金の一部は寄付しました。寄付金の額及び寄付先については、三役及び理事会において判断して頂いてください。

⑳新入会員が初めて参加する例会時は、進行者よりスマイルの趣旨説明が必要ですので行ってください。

【企画 準備・運営】

21 企画については、基本的には例会議事が全て終了した後に実施しました。メリハリがつき、企画には間に合うよう参加して頂くメンバーもいらっしゃいました。ご検討ください。

22 企画の考案及び実施については、基本的には当委員会が担当し年間計画をたてました。各委員会の持ち回りで企画実施、もしくはメンバーの希望を事前にアンケートに取るなど、メンバー皆に携わって頂いてもいいかと思えます。ご検討ください。

23 例会企画の申し込みがある場合は〆切りを開催前月の20日中と設定し、日時を徹底してください。また案内文作成、次第作成、出欠確認、設営及び準備については企画担当委員会が責任を持って行うように計画されてください。

【3月度・9月度企画 “やる気スイッチ” ONでみなぎる活力 前編・後編】

24 講師は外部からでなく、当青年会議所シニアクラブの先輩へ依頼しました。身近な先輩から身近な話題をお話頂きとても実りあるものとなりました。次年度もぜひ先輩関わって頂く企画をご検討ください。

【4月度企画 創立50周年テーマソング プレゼンテーション大会】

25 本年度は50周年ということもあり、各部会ごとに個室に分かれ、50周年に向けての意気込みが発信できる曲やテーマ・スローガンを思い浮かべられる曲、または会員皆の心がひとつになれる曲を決めるテーマソング プレゼンテーション大会を行いました。例会会場もカラオケに移し、居酒屋の青春も同時開催いたしました。メンバー皆が笑顔で、今までで一番楽しかったとの声も多々ありました。一年に一度はこの様な機会も設けていいかと思えます。ご検討ください。

【6月度企画 マナーアップセミナー】

26 挨拶の仕方や表情作り、名刺交換の仕方、すぐ実践できるお客様のおもてなしの仕方等、マナーに関する初歩的な基礎知識をお願いしました。講演だけでなく、実践形式も取り入れる場合は講師としっかり打ち合わせを行い、メンバー全員がきちんと習得できるように担当委員会は事前に勉強会を行ってください。

【10月度企画 出向者報告】

27 出向意欲を持って頂けるよう、報告内容を一番楽しかったこと、学んだことにしました。また、地域の活動も知って頂きたく、関係団体への出向報告も行っていただきました。1人でも多く出向して頂けるよう、報告会はぜひ行ってください。

28 対象者に対して事前依頼のめれがないよう、確認を徹底してください。

【11月度企画 皆でエンジョイ♪AMAHONミニバレー大会】

29 スポーツを通しての会員相互の絆づくりをしたいと考え、委員会別の対抗戦を計画しました。次年度も

ぜひ会員相互の絆づくりができるような例会・企画を計画してください。また、ルール等については誰にでも分かり易く、参加し易いものを検討してください。

【予算について】

30 警備会社の開閉に関しては、開鍵時間が遅れ肥後銀行職員の方が行ってくださるケースもありましたが、通常通り開閉分の予算計上をした方が良いと考えます。

31 送料、手数料が発生するものを購入する際は、複数購入で費用がかからなくなる場合もありますが、通常通りの予算計上をした方が良いと考えます。

32 例会、企画を他会場で開催される際は、予約状況を確認後早めに予約し、会場費変更等のないようにしてください。

33 例会企画等でスポーツを計画される際、保険加入が必要になりますが、メンバー全員分でなく、参加見込み数で掛けるようにしてください。

34 12月に例会配布資料を郵送される際は、業者によっては清算が翌月となってしまうことも想定されますので、清算方法も事前に確認した上で、業者を選定されるようにしてください。またレターケースの溜まり具合によっては、例会配布資料以外の物も同封して発送しなければならないことも想定されますので、例会資料などレターケース内の全ての物を郵送される場合には、発送手段もよく検討した上で、予算計上されるようにしてください。

【その他の問題点】

35 案内文についてFAX・メール、連絡網システムを利用しましたが半数以上が未返信のため電話確認となりました。また、電話が繋がらないメンバーも多いため、委員長、副委員長から最終確認をして頂く等の協力を仰いでください。

36 居酒屋の青春にはMy箸の持参を呼び掛けたが、当委員会をはじめ、メンバー全員持参していませんでした。マイ箸の取り組み自体を再検証する必要があると思われます。

37 議事録作成は例会欠席の委員会メンバーとしていたが、メンバーによっては作成ならびに提出が遅れてしまい署名人のサインを頂かないまま例会回覧となってしまうました。年間で担当者を決め、事前に依頼しておく方が、スムーズな作成になるかと思われます。また、署名人には例会時に必ず印鑑を持参いただくよう、事前の連絡を忘れずに行ってください。

38 警備会社の開鍵遅れを防ぐために、テーブル設営等の時間がかかる旨を事前に説明し理解して頂き、遅れを防ぐようにしてください。

39 移動例会時はマイク、ラジカセ等の備品を必ずチェックし、会場のものを使用できないのであれば、事務局より持参してください。

40 例会時に企画を計画される際は、事前の準備とリハーサルを十分行ってください。

41 3分間スピーチ等の計画でコメント用紙等の配布がある際は準備を確実にいき、例会進行の妨げにならないようにしてください。

42 出席率の向上に繋げるため、各委員長から委員会メンバーへ参加推進、出欠確認を行ったり、委員会対抗で出席率を競い12月度例会にて表彰する、奥様会の推進を図り家族に理解をして頂く、例会案内文や次第に翌月以降の例会日程を入れる等の工夫をされてください。

43 レターケースには今年度の例会配布資料以外にも過去資料も多く溜まっているのが目立ちましたので、定期的にレターケースの中を整理するように例会担当委員会または事務局長から必ず発信するようにしてください。またレターケース内に収納困難なポロシャツなども入れてあるのも一部ありましたので、収納が困難なものは入れないよう周知徹底を併せて行ってください。

II. 事業名：【新年賀詞交歓会の実施】

1. 事業目的

(対外)

来賓、シニアクラブ、関係諸団体と新年の挨拶並びに交歓を図ると共に、新年度体制並びに事業方針の周知を行う。

(対内)

メンバー皆が「おもてなし」の心で新年の挨拶と交歓を行うと共に、より結束を強める機会とする。

2. 実施日時・場所

2013年1月11日(金) 受付：18時～ 開宴：18時37分 終了：20時40分

天草シーサイドホテル 天草市亀場町亀川 74-3 0969-22-0100

3. 参加人員

(外部) 関係諸団体	80名
(内部) 理事・役員	22名
メンバー	12名
その他	1名
<hr/>	
合計	115名

4. 事業内容

(事業概要)

本年の新年賀詞交歓会は、来賓・関係諸団体・シニアクラブの先輩方と多くのメンバーが新年の挨拶並びに交歓、そしてコミュニケーションを図っていただくために、例年より歓談の時間をより長く確保します。運営については、メンバー席は設けず、開会前から閉会后まで細部に渡っての

「おもてなし」とスムーズな運営を行うために、例年の委員会毎の担当割り振りは行わず役割に適したメンバー配置を行います。賀詞交歓会全体の進行については、まずは2012年度の活動報告を行い、そして2013年度新体制のお披露目と事業方針の周知、さらに創立50周年記念大会の告知、最後に当青年会議所の日々の活動の様子について発信します。

- ①本年の賀詞交歓会の意義と当日の役割についての落とし込みを行うためにメンバー説明会を実施する。
- ②新入会員は法被を着用しホテル玄関口にて元気よくお迎えを行う。
- ③受付には、来賓・JC関係者・シニアクラブの方々と面識のあるメンバーを優先的に配置する。
- ④来賓には、受付から着座されるまで役員（監事・副理事長・専務理事）が誠意を込めてアテンドしてもらう。
- ⑤2013年度の役員紹介及び全体組織図、各委員長の1年間の意気込み、2012年度の新入会員紹介、創立50周年記念大会のPRや組織図を掲載したしおりを配布する。
- ⑥出席者にはしおりと別に席次表を配布する。
- ⑦しおり持ち帰り用の封筒を用意し、アテンド担当者は着座される際に席札を封筒に貼り付けていただく。さらにアテンド担当者のサポートが回らない場合に備え、司会者からもその旨のアナウンスを入れていただく。
- ⑧創立50周年記念大会キャラバンツールのPRピンバッジを、来賓・関係諸団体・シニアクラブの先輩方に2階エントランスにてお渡しする。
- ⑨開会前に2012年度の当青年会議所の活動及び事業の様子をまとめたオープニング映像を上映する。
- ⑩セレモニー（国歌斉唱・JCに関する唱和など）の割愛や来賓挨拶の依頼者数を見直し、乾杯までの時間を短縮すると共に、例年より歓談の時間を長く確保する。
- ⑪乾杯時は、参加メンバーも各テーブルへ移動し、来賓・JC関係者・シニアクラブの方々と一緒に乾杯を行う。
- ⑫2013年度の新体制及び各委員会紹介、2012年度の新入会員紹介について、しおりの誌面上では伝えきれない部分を映像にまとめて上映する。さらに創立50周年記念大会のPRについても映像にて上映すると共に、創立50周年記念大会実施に向けての当青年会議所の意気込みを、当青年会議所を代表して実行委員長より発信していただく。
- ⑬余興として大福引抽選会を実施する。
- ⑭事業当日までの委員会メンバーの頑張りの様子、事務局での各委員会の様子、理事会の様子等をまとめた映像を上映する。
- ⑮閉会後は、担当業務（タクシー及び代行手配担当者・2次会担当者・撤収担当者）があるメンバーを除き、メンバー一同で盛大にお見送りを行う。

5. 成 果

（対 外）

- ①セレモニーの割愛や来賓挨拶の依頼者数を見直したことで、開式から乾杯までの時間を昨年より5分短縮でき、それぞれの役割以外の時間でより多くの出席者と新年の挨拶と交歓を図ることができた。
- ②しおり持ち帰り用の封筒を用意し、しおりを後日あらためて見てもらうことができる環境作りを行ったことで、当青年会議所の新年度体制並びに事業方針についての認識を深めて頂くことができた。

た。

③創立50周年記念大会キャラバンツールのPRピンバッジを来賓、シニアクラブ、関係諸団体の方々にお渡ししたことで、2013年度の主要な事業の1つでもある創立50周年記念大会の周知を行うことができた。

④出席者に席次表を配布したことで、どの様な方が参加されているのか一目で把握してもらえたことで、限られた時間の中で効率的に新年の挨拶と交歓を図って頂くことができた。

(対 内)

①事業の意義と当日の役割について理解してもらうためのメンバー説明会を実施したことで、事業当日に参加したメンバーの多くが「おもてなし」の心を持って新年の挨拶と交歓を行うことができたと共に、一体感を持って運営にあたったことで、メンバー相互の結束を強める機会にもすることができた。

6. 引継事項

【スタイル】

①本年は創立50周年記念大会を控えていることもあり「おもてなし」を実践するため、これまで通りメンバー席を設けないスタイルで実施いたしました。来賓や来訪JC、そしてシニアクラブの先輩方と落ち着いて新年の挨拶や事業の告知ができるよう、着座スタイルでの実施が適当と考えますが、その年の理事長の想いや理念などによってスタイルも変わってくると思いますので、それぞれのスタイルの利点欠点を委員会で協議し、理事会に諮るなどの手法もご検討下さい。

【日程選定等】

②早めに日程を選定し、事前に通知しておくことで重複日程を避けられる可能性が高まります。但し、団体によっては上層組織の新年会の日程まで確認しておかないと、出席して頂きたい来賓に参加して頂くことができませんのでご注意下さい。また各地LOMとの日程調整についてですが、本年は委員会で行いましたが、専務理事が行うのが望ましいかと考えますので、専務理事が担当されない場合でも責任を持って日程調整を行うよう専務理事に促して下さい。

③週末の開催となる場合、開始時刻を19時にするなど遠方からの参加者にも配慮した時間設定をされて下さい。

【案内・参加推進】

④九州地区協議会会長へのご案内は、九州地区協議会の事務局でなく、輩出LOMに直接送付することで、スムーズな返信がなされると思いますので、今後も直接輩出LOMへ発送して下さい。

⑤九州地区協議会や熊本ブロック協議会役員の方々に、所属LOMとの出欠返信が重複する場合がありますので、どちらでの登録扱いとするのか、明確に案内文に明記して下さい。

⑥卒業式時に 日程の周知を行うことができ、口頭で周知するだけでは忘れられてしまう可能性があったものが、事業周知カードを配布したことにより少なからず参加推進の一助に繋がりましたので、今後も継続されて下さい。

⑦メンバー個々に役割を持たせ、適材適所に配置することにより、当日のスムーズな運営に繋がりましたが、出席で返信頂いたメンバーより順に配置するのではなく、メンバー全員の組織図を作成し参加推進に繋げて下さい。

【メンバー説明会・事前リハーサル】

⑧個々の役割に対する意識が上がり、さらに事業当日への参加推進にも少なからず繋がりましたので、今後も実施されて下さい。但し、もっと多くのメンバーが参加しやすいよう、年末でなくもう少し早い時期に計画されて下さい。

⑨メンバー説明会や事前リハーサルに参加できないメンバーのために、個別に説明する時間を必ず設け、さらに資料をメールで送付するなどフォローを徹底して下さい。

【準備】

⑩事業当日パワーポイントやビデオ映像などを使用する場合は、素材写真等を早めに収集するようにして下さい。新入会員の写真については、例会の新入会員バッジ授与時に単独の写真も撮るように総務広報委員会に協力依頼をされておくと万が一の時に対応しやすいです。役員については、総会時にフォーマルな写真を撮るようこちらも総務広報委員会に依頼して下さい。卒業式での撮影では、撮影する時間も短く不参加の役員もいる場合もありますので、早めの撮影を心掛けるようにして下さい。

⑪席次表については、自席の確認が自身で行えますので、配布が望ましいと思います。但し席次表の作成についてですが、本年はエクセルを用いてA4サイズで作成しましたが、文字サイズが小さく見えづらくなってしまいましたので、文字サイズと図面の調整がしやすいイラストレーターで作成されるか、A4サイズ以上の大きめの用紙サイズで作成して下さい。

⑫しおりに役員や新入会員、組織図などを掲載したことで、当日だけでなく後日ゆっくり見ていただくことができましたので今後も作成が望ましいと思います。但し、役員の紹介や各委員長の意気込みなどは、会場で実際に行った方が印象に残るとの意見を頂いたので、しおりとの相乗効果を期待できるような演出をご検討下さい。

⑬しおり持ち帰り用の封筒を活用される場合には、持ち運びの便宜やしおりの形態もよく考慮した上で、サイズについては慎重に検討されて下さい。また、席札を封筒に貼り付けたことで、封筒の置き忘れをほぼ防ぐことが出来ましたので、今後も継続されて下さい。

【運営】

⑭適材適所の配置で参加推進には繋がりませんでした。受付や記録、大福引抽選会等、これまでになくスムーズな運営を行うことができましたので、今後も適材適所のメンバー配置が適切と考えます。特に、受付担当者には、来賓・JC関係者・シニアクラブの方々と面識のあるメンバーを優先的に配置したことで、所属やお名前を確認する手間が省け、受付時の混雑が減少しましたので、今後も面識のあるメンバーを優先的に配置されて下さい。

⑮新入会員によるお出迎えは良かったとの声をいただきましたので、今後も継続されてください。新入会員が出席しやすい状況を作っていただくとともに、新入会員以外にもお出迎えの役割を持たせるなど、メンバーの役割や配置についてもご検討下さい。

⑯受付用の出席者名簿（シニアクラブ）と領収書をあらかじめ50音順に並べておいたことで、お名前の確認や領収書の受け渡しなど受付業務をスムーズに行うことができましたので、出席者名簿（シニアクラブ）と領収書については事前に50音順で並べる手法を継続されて下さい。

⑰セレモニーの割愛については、JC関係者以外の出席者もいらっしゃいますし、乾杯までの時間が短縮でき歓談の時間を長く確保することができた反面、JCの事業なのでJC流スタイルをもっと取り入れても良いのではないかと意見もいただきましたので、例えばJCイクリードとJC宣言などJCの理念を来賓にアピールできる部分に関しては実施するなど、乾杯までの時間短縮とJC流スタイルも維持できるプログラムをご検討下さい。

⑱来賓のアテンドにバラつきが見られましたので、アテンド担当メンバーがアテンドする順番を決めるなどして下さい。

⑲開会前に前年度活動の様子等をまとめた映像を上映することで、早めに来場された出席者の待ち時間を有意義に過ごしてもらえ、普段のJC活動を知らない方にも活動報告を行うことができたので、今後も開会前の時間の使い方等を含め、検討されて下さい。

⑳乾杯時、出席者と積極的に乾杯をせずに会場の端に残ったままのメンバーがいましたので、事前に周知徹底した上で、さらに周りのメンバーが各席に着くよう促して下さい。

㉑今年度の新体制・各委員会・新入会員を映像で紹介することで、簡潔にまとめることができたが、事前の映像作成が予定通り進まないとしリハーサル等にも影響しますので、作成する場合は期日に余裕を持って作成して下さい。また、映像自体も歓談の途中で上映しますので、少し派手なBGMやナレーションを挿入するなどして、出席者にアピールできるよう工夫されてください。映像と挨拶を混在させるときは、司会者からアナウンスを入れるなどして、出席者が注目するような配慮も行うようにして下さい。

㉒歓談の時間を少しでも長くとるため、また映像の効果への期待もあり役員紹介を映像で行いましたが、やはり役員がステージに登壇することで強い印象を持って頂けると思いますので、登壇スタイルで行うようご検討下さい。

㉓閉会后、会場に残って食事する理事やメンバーがいましたので、メンバー席を設けないスタイルで実施する際は、メンバー登録料には食事代が含まれていないことを周知徹底されて下さい。また、残った料理については、事前に折詰め担当者を選定し、閉会前又は閉会直後に担当者が折詰し来賓やシニアクラブの方々へお渡しするなどの手法もご検討下さい。

【大福引抽選会】

㉔大福引抽選会は例年と趣向を変え、主にメンバーの事業所から景品を購入したことで、メンバーの事業所の紹介にも繋がった点が良いかと思いますので、次年度でも大福引抽選会を実施される際は、メンバーの事業所やシニアクラブの先輩方の事業所紹介となるような購入先をご検討下さい。

㉕本年は天草シーサイドホテル様より、天草エアライン航空往復券（天草・福岡間）と旅館組合・飲食業組合で利用できるお食事券（5,000円分）の協賛がありました。

㉖本年は運営上、支障はきたしませんでした。福引の景品が目録の場合、対象者が飲酒していることもあり、連絡先を記入するのは手間がかかる上、記載ミスが発生する可能性が高いのではないかと指摘を受けました。名刺をお預かりする方が、双方にとってミスも無く効率が良いのではとの意見もありましたので、景品の受け渡し方法についてもご検討下さい。

㉗福引の景品紹介をパワーポイントで行う予定でしたが、景品の収集が遅れたため、実施できませんでしたので、映像やパワーポイントで紹介を行う際は、景品の画像だけ事前に収集して下さい。また、目玉商品などは、しおりや次第に掲載することで更なる抽選券の売り上げ増に繋がる可能性もありますので、景品の事前PRも兼ねてご検討下さい

【事業費】

㉘しおりの作成に関して、当初A3コピー用紙で両面印刷を計画していたが、裏写りがひどく厚手の色用紙に変更することになりましたので、計画時に試し刷り等の確認をされて下さい。

㉙審議後に来賓リストを見直し、白い雲の会への案内状、御礼状が追加となりました。来賓リストに関しては事前に執行部とも良く相談された上で作成し、予算計上されて下さい。

II. 事業名：【卒業式の実施】

1. 事業目的

(対外)

卒業生のこれまでの活動を、シニアクラブの先輩方に知っていただき、その活動の労をねぎらうと共に、今後のシニアクラブの先輩方とのひとつのコミュニケーションのきっかけとなることを目的とする。

(対内)

新たな一歩を踏み出す卒業生の門出を祝う。また今後のJC活動により一層励む決意を新たにしてもらう機会とする。

2. 実施日時・場所

2013年12月16日(月) 19時15分～22時

ホテルアレグリアガーデンズ天草 天草市本渡町広瀬996 TEL 0969-22-3161

3. 参加人員

(外部) シニアクラブ	25名		
	(内部) 理事・役員	24名	
	メンバー	22名	
	合計	71名	

4. 事業内容

- ①卒業式と例会を同日・同会場で行い、多くの現役メンバーで卒業生の門出を心を込めて祝う。
- ②開会前に卒業生の現役生活メモリアル映像を流し、その後卒業生の入場シーンを卒業生が指名するシニアクラブの先輩のアテンドにより華やかに演出する。(入場時の演出はシナリオに記載)
- ③しおりにこれまでの活動記録写真を掲載する。
- ④現役メンバーから卒業生への贈る言葉で直接感謝の気持ちを伝え、卒業生からは自分の想いを挨拶として頂く。
- ⑤全現役メンバーの写真付きメッセージを額にして卒業生へ贈り、感謝の気持ちを伝える。
- ⑥席次を卒業生、シニアクラブ先輩、現役メンバーを混ぜて組み合わせ作成する。
- ⑦卒業後もJC活動に励む現役メンバーを近くに感じて頂けるよう、全現役メンバーの写真付きメッセージを額にして卒業生へ贈る。
- ⑧現役メンバーが卒業生7名の絆を感じることができるセレモニーを行う。

5. 成果

6. 引継事項

II. 事業名：【普通救命講習資格取得と再受講の推進】

1. 事業目的

救命行為を要する緊急な場面においても即座に行動が出来るよう、所属する全メンバーが応急手当に関する正しい知識と技術を習得していただく。

2. 実施日時・場所

第1回講習会：2013年 5月12日 日曜日 9：00～12：00

第2回講習会：2013年10月30日 水曜日 19：00～22：00

第1回・第2回講習会：天草広域連合 中央消防署

3. 参加人員

【第1回講習会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	2名	
メンバー	1名	
<hr/>		
合計	3名	

【第2回講習会】

(外部) 関係諸団体	0名	
(内部) 理事・役員	2名	
メンバー	3名	
<hr/>		
合計	5名	

4. 事業内容

①普通救命講習Ⅰの取得推進を行う。未取得、再受講メンバーの受講可能な日を事前に調査し、開催日を設定する。

5. 成果

①未取得者、再受講対象者42名を残したものの、新たに取得した4名を始め8名が資格取得及び資格の更新ができた。

6. 引継事項

①本年の実施日については、新規取得者のメンバーを優先に設定しましたが、メンバーの受講希望日を事前に聞き取り調査をし、年2回程の実施を検討されたほうがいいと思われます。天草広域連合消防本部では、毎月第2日曜の朝9時から定期講習会を開催されています。

②参加予定で、当日になって欠席したメンバーがいました。消防署は参加人数に応じて指導員の人数を設定されます。本年度は何名からの受講でも受け入れてくださいましたが、迷惑のかからないように、事前の出欠確認はしっかり行なって下さい。

③メンバー以外に、職場、家族等の一般の方も参加できるようご検討下さい。青年会議所活動の理解にも繋がりますし、何より救命講習の大切さを広めることとなります。

委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2012. 9. 3	JC会館	委員会名について 委員会構成について 年間事業計画について 新年賀詞交歓会について 拡大について	6名	2名	75%
2	2012. 9. 6	JC会館	委員会名について 委員会構成について 年間事業計画について 新年賀詞交歓会について 拡大について	4名	4名	50%
3	2012. 9. 14	JC 会館	年間事業計画について 新年賀詞交歓会について 拡大について	3名	5名	38%
4	2012. 9. 26	JC 会館	年間事業計画について 新年賀詞交歓会について 拡大について	3名	5名	38%
5	2012. 10. 10	天草プラザホテル	年間事業計画について 新年賀詞交歓会について 拡大について	3名	5名	38%
6	2012. 11. 20	JC 会館	新年賀詞交歓会について 例会について 拡大について	4名	4名	50%
7	2012. 11. 29	JC 会館	新年賀詞交歓会について 例会について 拡大について	4名	4名	50%
8	2012. 12. 10	JC 会館	例会について 企画について 居酒屋の青春について 拡大について	4名	4名	50%
9	2013. 2. 12	JC 会館	新年賀詞交歓会報告書作成につ いて 2 月度例会開催について	3名	5名	38%
10	2013. 2. 18	JC 会館	新年賀詞交歓会報告書作成につ いて	4名	4名	50%

			普通救命救急講習会について 3月度例会開催について			
1 1	2013. 3. 12	JC 会館	3月度例会開催について 普通救命救急講習会について 新年賀詞交歓会報告書について	3名	5名	38%
1 2	2013. 7. 22	JC 会館	7月度例会・定時総会開催につ いて 卒業式について	5名	4名	56%
1 3	2013. 9. 3	JC 会館	9月度例会・企画開催について 普通救命講習について 卒業式について	3名	7名	30%
1 4	2013. 9. 20	JC 会館	10月度例会・企画 普通救命講習について 12月度例会、卒業式について	3名	7名	30%
1 5	2013. 9. 30	JC 会館	10月度例会・企画（出向者報 告）開催について 普通救命講習（日程選定）につ いて 卒業式について	5名	5名	50%
1 6	2013. 10. 15	JC 会館	10月度例会・企画（出向者報 告）開催について 例会資料について（欠席者分） 普通救命講習（日程選定）につ いて 卒業式について	3名	8名	27%
1 7	2013. 11. 14	JC 会館	11月度例会・企画開催につい て（準備）	2名	10名	17%

委員長所見

エンジョイ例会委員会では、新年賀詞交歓会から例会・企画、卒業式まで一年間を通して活動を続けてきました。

新年賀詞交歓会ではたくさんのご来賓やJC関係者の方をお迎えすることができ、50周年を迎える天草本渡青年会議所の「おもてなし」を感じていただけたと思います。年当初から、「おもてなし」と

は何かを考えていましたが、その答えが例会にありました。例会時、メンバーの皆がどのような表情で参加しているのかいつも見回していましたが、その時オブザーバーとして出席頂いた6月度企画マネーアップセミナーの講師に目が留まりました。背筋をのばし、話し手に体を向け、表情豊かに目と耳と心で理事長挨拶を聞く姿。例会は月に1度メンバー皆が集い、笑顔の輪ができ、皆の心が一つになる日です。皆がそうできれば自然とメンバーは集うのではないかと、大切なことに気づかされた思いでした。

またシニアの先輩方を講師に迎えた企画では先輩方のJ Cに対する熱い想いや、これまでの人生で培ってこられたあたたかな人間性に触れることができ、私もこんな風に年を重ねたいと思う反面、今の私が未熟である事を痛感させられました。先輩方ともっと触れ合って、いろんな世代との調和ができれば新たなJ C活動に繋げていけるのではないかと感じました。

一年間を通して計画、資料作成に追われ、事業の際にはすでに息切れしつつあった私を叱咤激励しながら助けてくれた副理事長、副委員長をはじめメンバーの皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

担当副理事長所見

本年のエンジョイ例会委員会は、新年賀詞交歓会に始まり、例会の運営、普通救命講習会の開催、そして例会時の企画考案、卒業式の企画・実施と、例年に比べ多岐に渡った活動を行われました。

新年賀詞交歓会においては、準備段階時は不安な日々が続きましたが、事業当日は女性委員長ならではのきめ細やかな配慮や創意工夫を凝らした演出、また例年より歓談時間を長く確保でき、メンバー皆が「おもてなし」の心を持って多くの来賓やJ C関係者と新年の挨拶と交歓を図ることができたのではないかと思います。

例会の運営については、初めての取り組みとして、例会に関わる全ての運営を担当し、さらに今年度全ての例会企画の考案・実施と、大変多岐に渡った職務とはなりましたが、特に企画については例会の目的や委員会の活動方針に則って、様々な企画を実施することができ、参加頂いたメンバーからこういう企画が毎回あるのであれば例会には必ず来ますと言った声も聞けたことは、少なからず例会の意義・目的を再認識してもらえる運営ができたのではないかと思います。しかしながら、例会への参加促進に関しては、一年を通して積極的に取り組むことが出来なかったことは少し残念でしたし、担当としての力不足も痛感いたしました。

委員長、副委員長にとっては初めての委員会運営で、戸惑いや不安も抱えながらの一年間だったかと思いますが、まずは委員会メンバー、そして協力して頂いた多くの方々に感謝し、そして今年経験した多くのことを今後の成長に繋げていって頂くことを願い、担当副理事長所見とさせていただきます。

**2013 年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所
委員会年間事業報告書**

●委員会名：Fusion50th委員会

●担当副理事長名：段下 倫

●委員長氏名：田中大地

I. 事業名【各種大会への参加促進「Fusion to a meeting」の実施計画と運営】

1. 事業目的

(対外)

無し

(対内)

各種大会において、各地の仲間と集い相互の理解と親善を増進し、各地青年会議所会員と友情を育んでいただきます。

2. 実施日時・場所

実施日時

(1) 熊本ブロック大会 in ひとよし球磨 6月1日、2日

(2) 九州地区大会 in 佐賀 7月13日、14日、15日

実施場所

(1) 熊本ブロック大会 in ひとよし球磨 人吉市カルチャーパレス会議室
清流山水花人吉温泉あゆの里

(2) 九州地区大会 in 佐賀 佐賀城周辺

3. 参加人員

	人吉	佐賀
(外部) 関係諸団体	0名	0名
(内部) 理事・役員	18名	9名
メンバー	5名	5名
その他	0名	0名
合計	23名	14名

4. 事業内容

(1) 各地青年会議所会員と友情を育んでいただくためには、まず各種大会に参加することが大切です。そこで、参加促進と同様に、各種大会の日程と出欠確認を当委員会から頻繁に行い、会員全体への発信はもとより、日常の会話の中で個人個人へ語りかけを行い各種大会への参加につなげます。

(2) 各地青年会議所会員と友情を育んでいただくため、各種大会には多くのメンバーで参加し、大会全工程の時間を有効に活用して、名刺の交換や会話を積極的に行っていただきます。また、出向経験の多いメンバーへ協力を仰ぎ、当青年会議所の若手メンバーを積

極的に紹介していただきます。

(3) 大会参加案内は、ご家族（彼氏・彼女）同伴でも参加可能であることが解るように文面に記載すると共に、例会での参加PRや個人々人への語りかけの際も同伴可であることを発信します。また、満腹企画PRビラにも観光案内を載せて作成いたします。

(4) ブロック大会と九州地区大会の二つの大会を通して特に大会参加に対し貢献した一般メンバーNo.1へは、理事長特別賞として、全国大会に合わせた天草エアラインの天草ー大阪間往復航空チケットを授与します。また、一般メンバーNo.2へは、全国大会に合わせた天草エアラインの天草ー大阪間片道航空チケット、No.3へは全国大会交通費補助金（¥10000-）を授与します。

☆貢献度として、分科会・式典・懇親会・記念事業等の公式スケジュールに参加した回数が最も多い者とし、当LOM役員及びブロック役員・地区役員・日本役員は除く、当LOM一般会員とします。また、受賞者で全国大会への出席ができない場合、繰り上げて受賞とします。

(5) ブロック大会の大懇親会において、ブースを出店し天草の特産品でおもてなしを行うなかで各地青年会議所会員と友情を育んでいただきます。

5. 成 果

(1) ブロック大会へは23名のメンバーが参加、地区大会へは14名のメンバーに参加していただきました。特に、ブロック大会では、ブースでのおもてなしやキャラバン活動も重なり、各地青年会議所メンバーと大いに友情を育んでいただいたものと確信しています。

6. 引 継 事 項

【参加促進計画への引継ぎ】

(1) ブース出展の役割にメンバーへの参加促進効果を期待する場合は、出欠の有無に関わらず事前に役割を明確にした企画書等を作成し、役割に応じた段取りを行わせるなど、出欠確認の前段階で行動をとらせることが必要です。

(2) メンバー一人ひとりに語りかけを行い参加の承諾を頂くためには、時間と労力が必要になります。語りかけを早期から開始することと、複数名で手分けして行うと全メンバーへ行き届きます。

(3) 家族参加をされたメンバーの実数はゼロでありましたが、今後のご家族同伴で参加可能な配慮は必要であると考えます。案内や、日頃の対話の中でも「彼女さんも一緒に連れてきてはどうですか」などの、メンバー同士で親しみやすい関係が参加促進につながると考えます。

(4) 理事長特別賞については、もっと参加促進の効果に期待を持っていました。No.1においては、39,800円もの予算を充てており、メンバーの競争心をあおるようなPRが多く必要であったと考えます。対内の褒賞については、賛否有りますので慎重に協議し、実行に移せる場合はしっかりと褒賞の内容を周知して最大の効果をもたらすよう努力して下さい。

(5) 大会の参加案内は、専務より行って頂きましたが委員会の意向や準備物がある場合、しっかりと打合せ調整を行い実施して下さい。

【事業目的達成の検証への引継ぎ】

(6) メンバー全員への語りかけは、時間に余裕を持ち複数名で手分けして行い早い段階でチ

ェック表の記載を完了し、それを基に更なる語りかけを行うと大きな効果が期待できます。

- (7) 大会へ出向く時は、名刺の持参を呼び掛けて下さい。また、大会に不慣れなメンバーや若手メンバーを紹介できるように、出向経験の多いメンバーに協力をお願いし、誰が誰を紹介するのか担当を決めるなど事前に体制を整えて下さい。
- (8) 参加案内文にご家族同伴可であることの明記と併せて、例会や個人々人への語りかけを手法としておりましたが準備していた案内文を配信できませんでした。ご家族同伴が可能であることを、会として正式に発信する案内文で明記できていれば大会参加の判断材料になったと考えますし、結果、各地メンバーと友情を育むことができたと考えます。案内を誰が行うのか、案内文は誰が作成するのか、取りまとめは誰が行うのかをしっかりと事前に担当者を決めて準備するように心がけて下さい。
- (9) 各種大会へ出向き、各地のメンバーと友情を育んでいただくために、新たな手法として理事長特別賞を実施させて頂きました。全体への周知不足は否めませんが、受賞して全国大会へ参加することのできたメンバーは、貴重な経験をさせていただいたことに感激しておりました。しかし、二位と三位の受賞者の辞退により、四位、五位のメンバーへ打診しましたが仕事の都合により辞退されました。受賞の対象者は、役員を除いた一般メンバーとしたため、二大会を通して対象者が少ない結果となりました。今後このような特別賞を実施する場合、全メンバーに内容をしっかりと周知し、中間報告で現状を伝えるなどの工夫と、受賞対象者の枠を狭めないように検討する必要があります。
- (10) ブース出店に今回のような目的を持たせるならば、インパクトのあるもので来場者の心をはっきり掴むことが必要だと考えます。また、ブース出店時のメンバーの役割もローテーションさせ、各ポジションで来場者と接するとなお効果的だと考えます。

【実施上の問題点への引継ぎ】

- (11)しっかりと褒賞の周知を行い、受賞候補者が多数居るような状態にすることが大切です。もし、受賞該当者がやむなく辞退した時に次点の該当者が受賞できるようにして下さい。今回は、4位のメンバーへ次点受賞の申し出をしましたが、仕事の都合で辞退されました。また、受賞していて全国大会に行く予定であったが、寸前で行けなくなる場合もありますので、有効期限のあるチケットなどは無駄にならないように、出来るだけ確実な状態で購入するようにして下さい。

委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012年9月14日	事務局	顔合せ及び年間計画	2	0	100%
2	2012年10月10日	八代JC事務局	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
3	2012年10月18日	鳥栖	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
4	2012年10月31日	事務局	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
5	2012年11月6日	事務局	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
6	2012年11月14日	事務局	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
7	2012年12月10日	事務局	年間計画、各種大会の参加促進	2	0	100%
8	2013年1月10日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%

9	2013年2月4日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
10	2013年3月14日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
11	2013年3月19日	金乃入湯	各種大会の参加促進	2	0	100%
12	2013年3月20日	金乃入湯	各種大会の参加促進	2	0	100%
13	2013年5月23日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
14	2013年5月29日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
15	2013年8月2日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
16	2013年8月20日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
17	2013年9月13日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
18	2013年10月1日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%
19	2013年11月5日	事務局	各種大会の参加促進	2	0	100%

委員長所見

本年は、私一人だけの委員会を作って頂き、担当副理事長と共にブロック大会と地区大会への参加促進事業を実施させて頂きました。委員会が担当する事業として、各種大会の参加促進というたった1つの事業ではありましたが、創立50周年記念大会への集客効果を担う大切な位置づけでありました。ブロック大会では、多くのメンバーに参加頂き、天草本渡青年会議所が懇親会会場を乗取った感に溢れるほど各地メンバーと親善を図り、50周年記念大会に集客効果をもたらしました。

この1年間は、委員長として活動させて頂きましたが、委員会なのか、周年の実行委員会なのか、副理事長と二人で何日を共にしたのか、頭の整理が付かないほどに行動させて頂き、そして自由に活動させて頂いた忘れられない年になりました。

担当副理事長所見

各種大会への参加は、参加した人にしか解らない醍醐味がある。その醍醐味を「一人でも多くのメンバーに体感してもらいたい」という田中委員長の想いを行動で示す姿勢に、先ずは感謝と敬意を表させて頂きます。そして、田中委員長の想いを感じて、参加・協力してくれたメンバーがいたことが、ひとりで事業を計画し実施してくれた委員長をどれだけ後押ししてくれたことか。今回、初めて参加してくれたメンバーが「参加しないとわからない事ばかりですね」と言ってくれた時、田中委員長の努力が報われた瞬間だったと思います。ひとりきりの委員会活動は、実際に行なった田中委員長にしかわからない苦労が多々あったのではないかと思います。委員会メンバーに相談したくても、その対象となるメンバーがいない。そのことを考える度、可能な限り田中委員長と行動を伴にして、分かち合おうと可能な限り努めてきました。二人で頭を抱えて悩み、議論した日々は、私自身も忘れることがない時間でした。田中委員長と二人、今年得た経験をこれからのJCライフをかけて伝えることこそが、各種大会や事業参加の促進に繋がると信じて、これからもJCを語り、次世代へ引き継いでいきたいと私は思います。各種大会への参加は、必ずメンバーの可能性を広げてくれる機会になり得ます。だから、今年よりも一人でも多くのメンバーで、来年の各種大会に参加すること。そして、再来年は、それ以上のメンバーで参加する。これが、次世代に繋がる行動なのだから、皆で一緒に行動しよう。最後に、田中委員長と二人、無茶苦茶なお願いや協力を沢山のメンバーの皆さんにしてみました。皆さんの協力あつての事業であったことに感謝を申し上げます。

2013年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所 50周年実行委員会年間事業報告書

- 委員会名 : 50周年実行委員会
- 実行委員長名 : 段下 倫
- 副実行委員長名 : 田中大地
- 部会長名 : 金子友理子 船島健嗣 長山直仁 吉本雅弘 松岡大輔 平井太宗

■ 実行委員会 実行委員長：段下 倫
副実行委員長：田中大地

I. 事業名【創立50周年記念大会 運営計画】

1. 事業目的

(対外) なし

(対内)

50年の歩みを振り返り、新たな50年の起点となる創立50周年の記念大会を開催することを目的とする。

2. 実施日時・場所

運営内容	実施日時	実施場所
50周年実行委員会 運営会議	第1回～第14回	JC会館
50周年実行委員会 全体会議	第1回～第8回	(株)肥後銀行 コミュニティホール
50周年記念大会 エクスカーション	2013年7月7日	Aコース 五和町周辺 Bコース 本渡市街地周辺

3. 参加人員

	運営会議	全体会議	エクスカーション
(外部) 関係諸団体	0名	0名	20名
(内部) 理事・役員	152名	名	2名
メンバー	0名	名	1名
その他	0名	0名	0名
合計	152名	名	23名

4. 事業内容

各部会の職務及びメンバー個々の行動を明確にして、具体的なファンクション計画による緻密な記念大会の運営を図る。

(1) 創立50周年関連事業の構築精度を高めるため、諸会議（三役会、理事会）以外に、運営会議と全体会議を開催する。

(2) 議案上程スケジュールを作成し、各部会の円滑な事業構築の補助を行う。

- (3) 創立50周年記念大会の全体スケジュールを作成し、円滑な運営を行う。
- (4) 記念大会の円滑な運営に向けて、メンバーの行動予定を把握し、所属部会の枠を超えた協力体制に繋がる行動管理を行う。
- (5) 記念大会に駆けつけて下さる皆様方に、充実した滞在時間と天草の地域性を感じて頂けるエクスカージョンを実施する。

5. 成 果

- (1) 経験を積んだ会員の参画による運営会議を開催したことで、具体的かつ現実的な意見を協議することが出来ました。また、全体会議を通して、所属部会以外の情報を共有することで、客観的な意見を集約することが出来ました。
- (2) 事業計画の構築に向けた進捗や事業計画の変更を検討する際の確認資料として活用することが出来ました。
- (3) 記念大会の円滑な運営に向けて、事業実施バランスやスケジュール、ご来賓などの参加者スケジュールと比較する資料としても活用することが出来ました。
- (4) 各部会長に、プロセスシートを活用した部会スケジュールの調整を行ってもらったことで、会員の参加可能な時間帯を把握し、所属部会内外への的確な人員配置に繋げることが出来ました。
- (5) 記念大会に参加頂いた各地青年会議所の方々に、天草を知り感じて頂く機会にすることが出来ました。

6. 引 継 事 項

- (1) 諸会議以外に、運営会議と全体会議を実施したことで、事業精度も高まったと実感しているため、次周年の際にも設ける事を検討して下さい。その際には、事業構築のイメージを前年度より協議し、諸会議だけでなく、周年事業以外の事業とのバランスも重要視した会議開催の調整が必要です。
- (2) 周年事業の企画と実施に向けて予算や時間の効率を考慮して、周年関連事業以外との開催バランスも視野に入れた議案上程スケジュールの管理は不可欠です。
- (3) 本年の様に、記念大会として周年事業を開催する場合には、各ファンクションの開催に向けて、時間配分や人員配置などを詳細まで調整することが、事業を成功に導く運営準備には必要です。ギリギリでの調整は必要となりますが、広報活動の実施を踏まえると3ヶ月前には、全体スケジュールが固まっていないと不便が生じる場合がありますので、早期より部会間の情報を共有し調整を図って下さい。

(4) 会員の記念大会に関わるスケジュールは、直前にならないと確定しない方もいますが、大会日程が決定したら、速やかに参加可能な時間を調査し、数度に分けて調整を図ることで、詳細が決定していきますので、細かな調査と確認を行って下さい。

(5) 今回実施したエクスカージョンは、参加者に高評価をいただくことが出来ました。しかし、実施内容の決定が遅れたこともあり、参加動員に不足を感じたと反省しています。次回もエクスカージョンを実施する場合には、実施の検討から内容の確定までを早期に決定し、周年事業のひとつとして広報活動を行って下さい。

II. 事業名：【未来へ繋ぐ「あまくさ運動指針」の作成と発信】

1. 事業目的

(対 外)

運動指針を発表し、我々が今後どのようなまちづくりを展開していくのか、関係各位へ認知していただくことを目的とします。

(対 内)

明るい豊かな天草地域を実現するために、10年間継続的に実施する具体的なまちづくりの運動指針をメンバーがしっかりと理解し今後の運動活動に繋げていただくことを目的とします。

2. 実施日時・場所

実施日時：平成25年7月6日 土曜日 16:07～16:14

※記念式典プログラム内で発表（7分間）

実施場所：天草市民センター 大ホール

住 所：〒863-0033 熊本県天草市東町3番地

T E L：0969-22-4125

F A X：0969-22-5475

3. 参加人員

	実績
(外部) 来賓	32名
公益社団法人日本青年会議所役員	2名
公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会役員	13名
公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本BL協議会役員	16名
九州地区77会員会議所理事長	18名
一般社団法人名寄青年会議所理事長はじめ会員	17名
一般社団法人名寄青年会議所シニアクラブ	12名
各地青年会議所現役・OB	18名
天草本渡青年会議所シニアクラブ	42名
天草本渡青年会議所OB	1名

合計 171名

(内部) 役員	22名
メンバー	17名
(内委員会)	8名
事務局員	1名
	合計 40名

4. 事業内容

(対 外)

- (1) 創立50周年記念式典において力強く運動指針を発表し、私たち青年会議所が未来へ繋ぎ取り組むまちづくり運動の方向性を示します。具体的な発信方法として、会員と共に登壇した実行委員長が、ステージ中央で力強い発表を行います。

(対 内)

- (1) 天草市の協力により活用する市民アンケート及び高校生アンケートから、地域が求める理想の天草を見出すワークショップを開催して、中長期的な運動指針を作成します。
- (2) 当青年会議所の中長期的な未来を見据えた運動指針とするべく、創立50周年記念式典で対外発表します。
- (3) 発表後は、運動指針がいつも会員の目に触れるように、事務局に掲げます。

5. 成果

(対 外)

- (1) 発表のタイミングを閉会前のフィナーレに行なったことで、閉会後のお見送りで、多くの方々から印象深くインパクトある演出で、意気込みを感じたとの感想を頂きました。

(対 内)

- (1) 行政の協力で得た資料を活用して、島民のまちづくりに関する情報を運動指針構築の参考にすることで、地域のニーズに沿った作成を行うと共に、会員に地域が考える課題を認識してもらうことが出来ました。
- (2) 地域の諸団体関係者や青年会議所関係者、シニアクラブの先輩方と多くの方々に参加頂く、創立50周年記念式典を発表の機会に選定したことは、会員の自覚と責任に対する自覚を持つてもらうことが出来ました。
- (3) あまくさ運動指針の原文を掲示することで、青年会議所の運動目的を自覚する一助に繋げることが出来ました。

6. 引継事項

- (1) 運動の方向性を定める指針を改定・策定する際には、自分達の意向を反映した意識調査の

実施も検討して下さい。その際には、改定・策定の趣旨や目的を対内で浸透させ、実行に向けた雰囲気を作り上げるためにも、当該年度で意識調査を実施するのではなく、前々年度での実施検討を行い、前年度に実施・集計を行い協議することが必要だと考えます。

- (2) 55周年での改定、60周年での新たな策定を検討する際には、実動に移せない指針とならないように、策定の協議から発表までのスケジュールをイメージして取り組んで下さい。

Ⅲ. 事業名：【記念大会キャラバンの実施計画と運営】

1. 事業目的

(対 外)

各地青年会議所会員さらには天草地域関係各位より多くの参加者をお迎えすることを目的とします。

(対 内)

各地青年会議所会員と天草地域関係各位との親交を深め、社団法人天草本渡青年会議所創立50周年へ向けて意識高揚を図ると共に、一人でも多くの方々にお越し頂けるPRを実施することを目的とします。

2. 実施日時・場所

実施日時

PR活動		
●天草本渡青年会議所 新年賀詞交歓会		備考
1月11日	新年賀詞交歓会会場（横断幕の掲示と実行委員長PR）	
●天草本渡青年会議所 シニアクラブ総会		
2月6日	厄入り厄晴れ会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	
●公益社団法人日本青年会議所会頭公式訪問		
2月3日	会頭公式訪問会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	山鹿市
●九州地区協議会会長公式訪問		
3月5日	会長公式訪問会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	八代市
●熊本ブロック協議会会長公式訪問		
2月15日	（牛深・天草地区）例会会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	牛深町
2月18日	（荒尾・山鹿・玉名地区）例会会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	荒尾市
2月12日	（熊本・宇城地区）例会会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	熊本市
2月22日	（阿蘇・菊池・大津地区）例会会場（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	菊池市
2月20日	（八代・人吉・水俣地区例会会場）（統一グッズ着用と横断幕の掲示）	人吉市
キャラバン		
●天草本渡ライオンズクラブ・本渡ロータリークラブ・天草中央ロータリークラブ		
4月17日	4C合同ゴルフコンペ懇親会会場（キャラバン）	
●天草地区商工会青年部連絡協議会 通常総会		
4月25日	通常総会会場（キャラバン）	
●九州地区協議会 役員会議		
6月26日	九州地区協議会 役員会会場（キャラバン）	八代市
●熊本ブロック協議会 会員会議所会議		
6月29日	熊本ブロック協議会 会員会議所会議会場（キャラバン）	熊本市
●熊本ブロック会員大会		
6月1日	人吉大会大懇親会会場（キャラバン）	人吉市
●熊本ブロック内各地青年会議所12LOM		
5月～6月	例会及び事業実施会場（キャラバン）	
7月～8月	例会及び事業実施会場（お礼回り） 熊本ブロック協議会 会員会議所会議会場	牛深町

実施場所

【PR活動（横断幕の掲示）】

- 天草本渡青年会議所 新年賀詞交歓会実施会場
会場：天草シーサイドホテル
- 天草本渡青年会議所 シニアクラブ総会 厄入り厄晴れの会実施会場
会場：天草シーサイドホテル
- 公益社団法人日本青年会議所会頭公式訪問実施会場
会場：一般社団法人山鹿青年会議所例会実施会場（八千代座）
- 九州地区協議会会長公式訪問実施会場
会場：社団法人八代青年会議所例会実施会場（八代ホワイトパレス）
- 熊本ブロック協議会会長公式訪問実施会場

- 会場：①牛深海彩館（牛深・天草地区）
 : ②ホテルヴェルデ（荒尾・山鹿・玉名地区）
 : ③崇城大学市民ホール（熊本・宇城地区）
 : ④植木温泉 荒木観光ホテル（阿蘇・菊池・大津地区）
 : ⑤清流山水花 人吉温泉 あゆの里（八代・人吉・水俣地区例会会場）

【キャラバン】

- 4C合同ゴルフコンペ実施会場
会場：4Cゴルフコンペ懇親会会場（福伸 はなれ利久）
- 天草地区商工会青年部連絡協議会通常総会会場
会場：ホテルアレグリアガーデンズ天草
- 九州地区協議会役員会議実施会場
会場：佐賀市民会館
- 熊本ブロック協議会会員会議所会議実施会場
会場：崇城大学市民ホール
- 熊本ブロック会員大会実施会場
会場：清流山水花 人吉温泉 あゆの里
- 熊本ブロック内各地青年会議所 例会及び事業実施会場
 - 阿蘇 阿蘇青年会議所 事務局（理事会）
 - 東熊本 大津町町民交流施設 オークスプラザ（例会）
 - 菊池 フラワービル Space（理事会）
 - 山鹿 菊池川流域交流会館 しびんちゃ館（例会）
 - 玉名 玉名市民会館（例会）
 - 荒尾 ホテルブランカ（例会）
 - 宇城 宇土シティモール駐車場（例会）
 - 熊本 ホテルニューオータニ熊本（例会）
 - 八代 八代市総合体育館（例会）
 - 人吉 ぽっぽ館（例会）
 - 水俣 水俣青年会議所 事務局（理事会）
 - 牛深 牛深商工会議所（例会）

3. 参加人員

（外部）関係諸団体 天草本渡青年会議所シニアクラブ	155名
日本青年会議所役員	29名
九州地区協議会会員	4000名
熊本ブロック内会員	504名
地域住民・関係諸団体	不特定多数
（内部）理事・役員	24名
メンバー	39名
その他	0名
合計	4751名

4. 事業内容

- (1) 50周年横断幕を活用し、関係諸団体に伺い多数の人々にPRします。
- (2) 正装時は、統一グッズ（ネクタイ、ピンバッチ）の着用を義務付することで、対
内の意識統一と対外へのPRにつなげます。
- (3) 青年会議所の各種会議や各事業開催会場にお伺いし、創立50周年のキャラバンを行い参加促進につなげます。
- (4) 対外対象者と接する時は、全メンバーが営業マンとなり、出向先や事業、懇親会等で直接営業していただきます。会話の中に必ず「7月6日7日は、泊りで50周年に来て下さい」と入れていただけるように常日頃より当委員会からメンバーの皆様に周知いたします。
- (5) 創立50周年の記念大会へ参加していただくためのPRとして、熊本ブロック会員大会の大懇親会会場で「各種大会への参加促進事業」においてブースを出展します。ブースでは、天草の魅力を存分に発信するための食の魅力として世界初完全養殖の天草天空マグロを1人当たり2～3切れの少なめに振る舞い、天草に行ったらふく食べたい心理誘導を行います。また、宿泊予約、イルカウォッチング予約等の受け付けも行います。

5. 成果

(対 外)

- (1) 50周年横断幕を常に掲示することで、皆様に一目で50周年のキャラバンであることを把握頂けました。横断幕は、より多くの参加者をお迎えする為に有効なツールであり、50周年記念大会への参加者増に一躍を担いました。
- (2) 正装時の統一グッズ着用は、常に対外の目に付くツールであり、その姿を目にただけでPR効果を得ました。我々の統一した姿を見て「周年に対する想いが伝わる」と言って「必ず伺います」と約束頂ける場面もありました。
- (3) 九州地区協議会、熊本ブロック協議会、県内12LOMへキャラバンを行いました。PR活動も合わせると、2順目となり回数を重ねる度に発信内容と想いが濃いキャラバンを行うことができ、参加促進に繋げることができました。
- (4) 対外対象者の方々と接する時は、50周年記念大会に泊りでお越し頂きたいことを、メンバー各々が伝えて頂いたと思います。結果、多くの皆様にご来島頂き宿泊してもらうことができました。しかし、委員会からの周知をもっと徹底して行えば、更なる効果が期待できたと思いますので引継に記載いたします。
- (5) ブロック大会でのブース出店については、「各種大会の参加促進事業報告」にて詳しく記載させていただきますが、ブロック大会時のキャラバンについては、50周年記念大会に足を運んで頂きたいと願う意気込みを十分に感じて頂けました。

(対 内)

- (1) 正装時の統一グッズ（ネクタイ・ピンバッチ）着用は、キャラバンや例会、記念大会に至るまで、そのネクタイを締める度に周年を迎える喜びを増幅させ意識高揚を図ることができました。
- (2) ブロック大会の懇親会会場でのキャラバンは、余興を取り入れて会場の皆様の視線を一点に集めて存分にPRを行うことができました。

6. 引継事項

- (1) 今回のキャラバンの内容としまして、まず横断幕と昇り旗を掲げ会場に入り、理事長に約2分間、実行委員長から約3分間の合計5分程度のPRを行いました。理事長からは、50周年を迎えるにあたっての熱い想いと、皆様に必ずお越しいただきたい旨を伝えていただきました。実行委員長からは、記念大会のスケジュールと内容、テーマ・スローガンについて伝えていただきました。キャラバンは、とにかく先方へ足を運び熱く語り想いを伝えることが、相手の心を動かし参加促進に一番の効果を発揮したと考えますので、対象者が決まっている場合の参加促進としてキャラバンを実施することが非常に重要です。しかし、今回は記念大会のスケジュールと内容について、未確定な部分もあり明確な発信ができませんでした。記念大会の内容が確定し、パンフレットをお渡しできる状態でキャラバンを行うと、さらなる効果が期待できますので、大会内容を少なくとも3か月前に審議し実行に繋げるとよいと考えます。
- (2) PRバッチについて、前年度に1000個作成したものを、利用し配布いたしました。前年度は、天草本渡青年会議所シニアクラブ、名寄青年会議所会員、牛深青年会議所会員、ほか他LOM会員等及び天草本渡青年会議所会員へ合計200個程度配布済みでした。約800個のバッチを受け継ぎ、キャラバンの際に熊本ブロック内全メンバーへ配布いたしました。また、ピンバッチが壊れたため再度配布したものや、対内対外問わず正装時の付け忘れの方に配布したもの、日本青年会議所役員への配布、九州地区協議会役員への配布等を行い、現在残数が60個となっております。制作数1000個は、妥当な数であったと考えますので、計画時点で配布先、配布対象者をしっかり検討し制作してください。

【参加促進計画への引継ぎ】

- (3) ブース出展の役割にメンバーへの参加促進効果を期待する場合は、出欠の有無に関わらず事前に役割を明確にした企画書等を作成し、役割に応じた段取りを行わせるなど、出欠確認の前段階で行動をとらせることが必要です。

【事業目的達成の検証への引継ぎ】

- (4) 引き継ぎ事項(1)にも記載しておりますが、キャラバンを実施する目的において、その大会の内容を詳しく伝えることが重要です。今回は、キャラバンを記念大会開催日の約2か月前から行いましたが、その場合少なくとも3か月前には記念大会の内容が確定していた方がこのましいと思います。

【実施上の問題点への引継ぎ】

- (5) 横断幕を置き忘れ翌日のキャラバンに横断幕を掲示出来なかったことについて、キャラバン終了後の熊本駅駐車場において、荷物を積み込む際に車の屋根に横断幕を仮置きしたことを忘れそのまま発進し落下したものです。翌朝、熊本駅より落し物のご連絡を頂きました。置き忘れ等の無いように、必ず備品リストを携行し、持ち運びの際は毎回備品リストによるチェックを怠らないようにして下さい。また、ちょっとしたミスに有効なのが、指をさして声だし確認を行うことです。車に積み込んだら指をさし「横断幕良し!」、「ピンバッチ良し!」と指さし呼称を行いましょう。
- (6) 統一グッズ作成について、事業目的に達成した点に記載した通り、対内外共に統一グッズを着用することで得られた効果がありましたので、予算と何を作成するかをしっかりと検討して作成してください。
- (7) ネクタイの納品が遅延したことについて、業者間との納品期日を明確にし、間に合わない場合の対応など、業者との打ち合わせを密に行うこと、契約書が交わされない場合は、その打合せ内容を文書化し委員会と業者双方で保管し確認を取れる状態にしておくことが必要です。いずれにしても、兎に角、明確な納品期日を業者と打合せ確定することに尽きます。
- (8) 全員参画のキャラバンとすることができなかったことについて、3点の引継ぎをご確認ください。
- ①天草区内での開催で参画しやすい商工会青年部に対するキャラバン日程を委員会が失念しており、当日発信となったことが挙げられます。この解決策としては日程の把握調整を複数のメンバーで確認しあうことや、担当者を複数名置くことで解決につながると思われれます。
 - ②参加困難な日程があったことについては、先方の予定に合わせなければならず難しいことではありますが、解決策として5月と6月に行ったキャラバンを、もっと長期間のスパンで日程調整をして実施すればより良い日時選出ができると思います。
 - ③メンバーに対して委員会はもっと声を大にしてメンバーへ周知を心がけることが大切です。「一緒にキャラバンへ行こう」と必死に語りかけアピールしなければ、忙しい日々になかなか時間を作ってはいただけません。今回は、一人での委員会でありましたが、とにかく、委員会メンバー複数名でLOMメンバー全員へ一人ひとり直接連絡を取り日程調整をおこなうことが必要です。
- (9) キャラバンに多くのメンバーが参画できるように、先方と早い段階から日程の調整をする必要がありますが、概ねキャラバン実施日の案内が1ヶ月前に発信できるように、先方との調整はキャラバン実施日から概ね3ヶ月前より行うとより良い日程調整ができると思います。また、実施時期や回数についても、目的が記念大会実施日の周知に特化したものにする時期や回数にこだわらずにキャラバンを実施できると思いますのでご検討願います。
- (10) キャラバンへ向う日程の調整は、記念事業の審議日程、ポスター等の作製日程等を考慮して計画する必要がありますが、こちらの準備物が揃ってから、なお且つ、先方の会員が多く集まる日との調整や、先方のご都合に合わせた調整は非常に難しいものです。この調整をうまく図るには、記念事業等の内容の確定と配布準備物の作製を、より早く完了させるほか

ありません。JC 関係以外へのキャラバンとして4団体に伺いましたが、ポスター・チラシが揃っていてしっかり内容を伝えることができれば参加促進にとっても効果的であると考えます。また、そのようなキャラバンを実施することが前提ですが、天草地域の一般市民向けに街頭キャラバンを実施すると更なる効果が期待できます。

回数	開催日	諸会議名	開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2012. 8. 21	第 1 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
2	2012. 9. 18	第 1 回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
3	2012. 9. 27	第 2 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
4	2012. 10. 24	第 3 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
5	2012. 10. 29	実行委員会	J C 会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
6	2012. 11. 22	第 4 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
7	2012. 11. 28	第 2 回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
8	2012. 12. 10	実行委員会	J C 会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
9	2012. 12. 25	第 5 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	12名	2名	%
10	2013. 1. 16	第 6 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
11	2013. 1. 30	第 3 回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
12	2013. 1. 31	実行委員会	J C 会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
13	2013. 2. 4	実行委員会	J C 会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
14	2013. 2. 19	第 7 回 運営会議	J C 会館	50周年関連事業の協議	12名	2名	%

15	2013. 2. 27.	第4回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
16	2013. 3. 6	実行委員会	J C会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
17	2013. 3. 14.	実行委員会	J C会館	50周年関連事業の協議	2名	0名	100%
18	2013. 3. 19 ～ 2013. 3. 2.	事業議案 作成合宿	金の入湯	50周年事業議案の作成 全体スケジュールの協議	名	名	%
19	2013. 3. 21	第8回 運営会議	J C会館	50周年関連事業の協議	11名	3名	%
20	2013. 3. 28	第5回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
21	2013. 4. 16	第9回 運営会議	J C会館	50周年関連事業の協議	10名	4名	%
22	2013. 4. 26	第6回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
23	2013. 5. 7	実行委員会	J C会館	50周年関連事業の協議 エクスカージョンの検討	2名	0名	100%
24	2013. 5. 21	第10回 運営会議	J C会館	50周年関連事業の協議	10名	4名	%
25	2013. 5. 27	第7回 全体会議	肥後銀行 天草支店	50周年関連事業の協議	名	名	%
26	2013. 5. 29	実行委員会	J C会館	全体スケジュールの調整 メンバー行動予定の調整 エクスカージョンの検討	2名	0名	100%
27	2013. 5. 30	実行委員会	J C会館	全体スケジュールの調整 メンバー行動予定の調整 エクスカージョンの検討	2名	0名	100%
28	2013. 6. 18	第11回 運営会議	J C会館	全体スケジュールの調整 メンバー行動予定の調整 各分会状況の共有	13名	1名	%
29	2013. 6. 27	第8回 全体会議	肥後銀行 天草支店	全体スケジュールの確認 メンバー行動予定の確認 各分会の開催	名	名	%
30	2013. 6. 28	実行委員会	J C会館	記念大会実施準備	2名	0名	100%
31	2013. 6. 29	実行委員会	J C会館	記念大会実施準備	2名	0名	100%
32	2013. 7. 1	実行委員会	J C会館	記念大会実施準備	2名	0名	100%
33	2013. 7. 2	実行委員会	J C会館	記念大会実施準備	2名	0名	100%
34	2013. 7. 3	実行委員会	J C会館	記念大会実施準備	2名	0名	100%
35	2013. 7. 7	エクスカージョン	各所	エクスカージョンの実施	23名	0名	%
36	2013. 8. 1	実行委員会	J C会館	事業報告書の作成	2名	0名	100%
37	2013. 8. 16	第12回 運営会議	J C会館	事業報告書の協議	9名	5名	%

38	2013. 9. 13	実行委員会	J C会館	事業報告書の作成	2名	0名	100%
39	2013. 9. 17	第13回 運営会議	J C会館	事業報告書の協議	8名	6名	%
40	2013. 10. 1	実行委員会	J C会館	事業報告書の作成	2名	0名	100%
41	2013. 10. 18	第14回 運営会議	J C会館	事業報告書の協議	8名	6名	%
42	2013. 10. 21	実行委員会	J C会館	事業報告書の作成	2名	0名	100%

■総務部会 部会長：金子友理子

副部会長：久木山智哉 野崎亜季子 井上 雅之

IV. 事業名：【創立50周年記念大会 広報インフォメーション計画】

1. 事業目的

(対 外)

創立50周年記念大会を地域へ周知すると共に、記念大会参加者へ向けた解りやすく、歓迎の意をこめたインフォメーション窓口の運営を目的とする。

(対 内)

創立50周年記念大会を発信・周知することによる、青年会議所運動・活動への意識高揚と、記念大会参加者へ向けた歓迎と感謝の意をかたちにし、行動することで、天草本渡青年会議所らしいおもてなしの心を育てることを目的とする。

2. 実施日時・場所

※実施日時

①【記念大会までの広報計画】

1. 横断幕・のぼり旗設置：平成25年5月～7月

※JC会館前のみ：平成25年5月～10月

2. TV放送：実施なし

3. ラジオ放送：実施なし

4. 天草ケーブルネットワーク

・市民チャンネルお知らせコーナー：平成25年6月7日（金）～7月7日（日）

1日8回以上～約20回まで放送

・「天草 日々の話題」等キャスター出演時の宣伝：平成25年6月～7月

・無料告知枠：平成25年6月～7月

5. 記念大会専用ホームページ及びFACEBOOKページ：平成25年2月～10月

6. プレスリリース発信：平成25年6月27日（木）

②記念大会当日を含むインフォメーション計画

1. 記念大会案内文・依頼文・お礼文発送

・案内文および依頼文発送：平成25年5月上旬

・お礼文発送：平成25年8月18日発送

2. 来賓・来訪各種手配

・宿泊・観光・2次会会場等手配受付：平成25年5月～6月

・宿泊・観光・2次会会場等手配案内：平成25年7月5日・6日・7日

3. 記念大会リーフレット配布

・九州地区協議会役員会議時：平成25年6月26日（水）

・記念式典・記念事業受付時：平成25年7月5日（金）～7日（日）

4. 記念大会案内看板・ウェルカムボード設置：平成25年7月5日（金）～7日（日）

※実施場所

①記念大会までの広報計画

1. 横断幕設置：天草工業高等学校前 横断幕・のぼり旗設置：JC会館前

2. TV放送：実施なし

3. ラジオ放送：実施なし

4. 天草ケーブルネットワーク ※エリア世帯数約7,000世帯

住所：天草市港町9-1 / TEL：0969-22-1311

5. 記念大会専用ホームページ：

天草本渡青年会議所内ホームページ及びFacebook ページ

※ホームページアドレス→ <http://www.jcamakusa.com/goodjc.html>

6. プレスリリース発信

天草市役所内 記者クラブ 16社

②記念大会当日を含むインフォメーション計画

1. 記念大会リーフレット配布

天草市市民センター 記念式典・記念事業受付時

住所：熊本県天草市東町3番地 / TEL：0969-22-4125

2. 記念大会案内看板設置：別紙 記念大会案内看板設置計画

ウェルカムボード設置：天草市市民センター 入口

住所：熊本県天草市東町3番地 / TEL：0969-22-4125

3. 参加人員

※記念式典

	実績
(詳細) 来賓	32名
公益社団法人日本青年会議所役員	2名
公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会役員	13名
公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本BL協議会役員	16名
九州地区77会員会議所理事長	18名
一般社団法人名寄青年会議所会員	17名
一般社団法人名寄青年会議所シニアクラブ	12名
各地青年会議所現役・OB	18名

天草本渡青年会議所シニアクラブ	42名
天草本渡青年会議所OB	1名
合 計	171名

(内部) 役 員	22名
メンバー	17名
(内、当部会)	9名
その他(事務局員)	1名
合 計	40名

※大懇親会 誕生祭

実績

(外部) 公益社団法人日本青年会議所 会頭 九州地区 77 L O M 理事長	
公益社団法人日本青年会議所九州地区 役員	2名
公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本ブロック役員	12名
熊本ブロック 12 L O M メンバー	139名
一般社団法人名寄青年会議所メンバー	17名
一般社団法人名寄青年会議所メンバーシニアクラブ 会員	12名
シニアクラブ会員	45名
関係各種団体	9名
メンバーの家族	16名
合 計	306名

(詳細) 役 員	24名
メンバー	29名
(内、当部会)	11名
その他(事務局員)	1名
合 計	54名

※記念事業パート I

(外部) ①一般来場者 (事前申込者)	423名
(当日来場者)	107名
②その他	
内訳(青年会議所関係)	19名
(天草本渡青年会議所シニアクラブ会員)	18名
(来賓)	12名
(協賛各社)	30名
一般社団法人名寄青年会議所 会員	18名
合 計	627名

(内部) 役員	21名
メンバー	19名
(内、当部会)	9名
事務局員	1名
大懇親会準備	7名
合 計	57名

4. 事業内容

- (1) 各種広報ツールを使い、記念大会を地域に向けて発信する。また、記念大会への期待が高まるホームページ作成と、当日配布用のリーフレット作成を行い、参加者に向けた記念大会の周知を図る。また、記念大会当日は参加者の各種手配・受付の窓口となり、参加しやすい環境を作る。

①記念大会までの広報計画

1. 横断幕・のぼり旗設置：天草工業高等学校前・JC会館前
天草本渡青年会議所が創立50周年を迎える地域への感謝を込めた内容と、記念事業の告知を兼ねた横断幕を作成し、多くの人の目に留まる場所とJC会館前に長期間設置する。
2. TV放送：RKKテレビ 「キャッチテレビ」「夕方いちばん」
開催に至る背景から記念大会の魅力まで、天草本渡青年会議所の記念大会に掛ける想いを発信する。
3. ラジオ放送：熊本シティエフエム（FM791）
「オトコミHi!Yo!」（番組ブログ→<http://blog.fm791.jp/otokomi/>)
理事長および実行委員長を中心に出演者を構成し、開催に至る背景から記念大会の魅力まで、天草本渡青年会議所の記念大会に掛ける想いを楽しく簡潔に発信する。
RKKラジオ
「とんでるワイド大田黒浩一のきょうも元気!」「小松士郎のラジオのたまご」
開催に至る背景から記念大会の魅力まで、天草本渡青年会議所の記念大会に掛ける想いを発信する。
4. 天草ケーブルネットワーク
 - ・市民チャンネルお知らせコーナー静止画2画面
1画面を50周年記念大会の告知、2画面を記念事業の告知とし、2つを連続して放映することで記念大会を強くアピールする。
 - ・天草ケーブルネットワーク番組「天草 日々の話題」等キャスター出演時の視覚宣伝天草ケーブルネットワーク様にご協力いただき、キャスターデスクに50周年宣伝グッズを設置していただき、広く天草地域に記念大会を周知する。
 - ・無料告知枠（30秒～1分程度）
全メンバーに出演募集を行い、開催に至る背景から記念大会の魅力まで、天草本渡青年会議所の記念大会に掛ける想いを楽しく簡潔に発信する。

5. 記念大会専用ホームページ：

天草本渡青年会議所内ホームページ及びFACEBOOKページ

各部会からの情報を集約し、記念大会の告知を行う。QRコードを各広報ツールに配置し、HPの閲覧につなげると共に、FACEBOOKページにおいては部会から直接告知を行っていただき、開催地近郊だけでなく、広い地域へのPRにつなげる。また、記念大会終了後は、記念誌データのダウンロードをできるようにする。

6. プレスリリース発信

報道関係者へ記念大会のお知らせを行い、各社広報媒体を使った事前告知と当日の取材・記念大会後の記事掲載を依頼する。

②記念大会当日を含むインフォメーション計画

1. 記念大会案内文・依頼文・お礼文発送

各部会と協力し案内状一式を作成し、記念大会への期待を高めていただく。また、記念大会の前後に天草を楽しめる案内もプラスし、記念大会へ行くのが楽しみになるような案内を行う。そして、記念大会終了後に来訪者へ感謝の意を伝えるお礼状をお送りする。

2. 来賓・来訪各種手配

天草へ来訪されることで手配が発生する宿泊や食事・2次会会場などについて、事前に案内を行い、事前手配を行う。各種予約状況や連絡先等、会場や駐車場案内について資料を作成し、お問合せ・要望に対面した場合の対応方法についてメンバーに周知し、記念大会当日はすぐに対応できる環境づくりを行う。

3. 記念大会リーフレット作成・配布

各部会と協力し、記念大会全般が把握できるリーフレットを作成する。リーフレットは記念式典受付時・記念事業受付時に配布する。

4. 記念大会案内看板設置

各部会が企画するファンクション会場と駐車場へ来場者がスムーズに移動できるよう、必要ヶ所を選定し案内看板を設置する。また、記念事業・記念式典会場に天草の自然素材を使ったウェルカムボードを設置し来場者をお出迎えする。

5. 成 果

(対 外)

①様々な広報媒体を活用した創立50周年の発信により、多くの地域の方から青年会議所の話題に触れて頂き、節目となる本年の青年会議所活動や記念大会に目を向けて頂く事ができた。

②記念大会当日は横断幕やのぼり旗、ウェルカムボードなどを活用したインフォメーションと、最初にご挨拶を交わす受付業務を始めとする移動手段、2次会会場、宿泊案内などの窓口運営を通して、感謝の意を込めて来場者を歓迎することができた。

(対 内)

①事業発信のための原稿作成やPR映像の製作、メンバー各々の発信を通して、少しずつ記念大会への期待感と意識を高めることができた。

②記念大会当日は、歓迎と感謝の意を持って参加者をお迎えすることができ、天草に来なければ体感できないものを感じて頂けた。また、自分の親しい友人をお迎えするという気持ちを忘れずに行動できたことにより、天草本渡青年会議所らしいおもてなしとはどういったことかを、たくさんのメンバーが経験し、おもてなしの心を育てることができた。

5. 引継事項

【記念大会までの広報計画】

①横断幕などの屋外掲示物について、費用対効果および交流人口を考慮し様々な場所に相談に行った結果、天草工業高校前を選びました。屋外への掲示物には、県の許可が必要となり、設置している間は人が立たなければならないので人員が必要です。よく検討の上場所を決めて下さい。また、工業高校前への掲示物の設置は見る人が多いことは間違いないので、他の掲示申込み状況を確認しながら設置場所の確認を事前に行った方が良いでしょう。

②今回、計画書していたTV放送・ラジオ放送による告知はすべて無料でできるものでした。今回は活用できませんでしたが、天草島外の方にも発信できる広報媒体ですので活用について、ご検討下さい。ただし、無料＝放映日時等を指定できないという部分もありますので、相談はできるだけ早く行い、広報内容をお渡しする・撮影することは、開催前1か月以上余裕をもってスケジュールを立てて下さい。

③天草ケーブルネットワークは今後放送エリアも増える予定であり、天草の情報を知りたいという方にとっては、一番の広報媒体ではないか考えます。静止画像告知以外にも多様な宣伝方法がありますので、事業内容と予算に合わせ、早めにご相談ください。また、無料枠での宣伝はご厚意で撮影及び放映をして頂きますので、スタッフの方々への感謝の気持ちを持って準備・打合せを行って下さい。

④HPやFACEBOOKについて、更新回数の効率を上げることにより、もっと多くの方に興味を持って頂くこともできたと思います。FACEBOOKではカウントダウンやメンバーの顔を出したことで多くの人に興味を持って頂くことが出来ましたので、掲載内容の確認は必要ですが、報告や告知以外にもできるだけ多くのメンバーで常に更新を心掛ける工夫を行って下さい。

⑤プレスリリース発信について、地域への感謝を込めた対外事業のメインとなる事業告知が、講師とのコンプライアンスの関係上、取材依頼できず活用できませんでした。記事掲載の確約は取れませんが、日ごろから交流を行うとこで、新聞やテレビに掲載しやすい広報記事の書き方などアドバイスを頂きますので、対外事業を行う際には、相談してみると良いと思いました。また、天草市役所内記者クラブにお持ちするときは、A4サイズ・ホッチキス止めとし、封筒などは必要ありませんでしたので、ご参考下さい。

【記念大会当日を含むインフォメーション計画】

⑥案内文について、事業構築と合せ、内容が伝わりやすく、参加者の期待を高めるような案内文の作成を心掛けて下さい。

- ⑦案内文発送について、同封する物の進捗状況も合わせなければ発送作業に移れません。すべての案内物のスケジュールを確認し、記念大会 1 ヶ月半～2 か月前には招待者の手元に届くようスケジュールを立てて下さい。また、手配りについては必ず期限内にお渡しするようにして下さい。
- ⑧特に事務局に団体の長がおられない場合、案内文を確認されていないケースもありますので、出欠確認の連絡を取る場合は、ご案内状が届いているかの確認を聞いた後で、出欠の確認を行うと良いと思います。
- ⑨宿泊手配を行う際は、宿泊施設とよく相談し、宿泊金額・キャンセル料などをしっかりと明記するようにして下さい。宿泊予約を頂いた後の変更が多く、要望に添えない場合もありますが、極力宿泊施設にご迷惑をかけないように、臨機応変に対応して下さい。また、部屋割り（シングル or ツイン or 和室の相部屋、喫煙 or 禁煙、朝食の有無）を詳細まで明記して、効率の良い手配を行って下さい。
- ⑩宿泊手配を行う場合は、受付担当を 1 カ所に決めておいた方が重複せず、良いかと思います。また、特に天草へ初めてこられる方への宿泊案内は、来訪予定日の 2 週間前にはご連絡をできると親切かかと思っています。
- ⑪当日来訪者が希望されるアテンド内容（飲食関係・移動手段等）の連絡先を準備しておく、ご案内がスムーズです。

【予算上の問題点】

- ⑫来賓案内文・式典祝辞依頼文の送付切手について、案内文送付対象者が増加したこと、案内状の総重量を考慮していなかったため、80 円で送付可能な重さを超えてしまい、1 通当たりの送料が増加してしまったので、計画時に使用する用紙等を入れて、重量も確認しておく、と差異が減ると思います。
- ⑬お世話になった方に周年に来て頂き、おもてなしをしたいという気持ちが強く、計画時の予定者より多くの方をお呼びすることとなったので、会計上差異が発生した。メンバー等に J C 関係者で個人的に招待したい方がいないか事前に確認をすると、差異を抑えることができるとと思いますので、計画時に確認をするようにして下さい。

【その他】

- ⑭発送作業について、対外参加者募集を募る記念事業以外の部分を総務部会で担当させて頂きました。案内状を受取る方、事業担当部会の作業負担を考えると、発送作業担当を別に設け、1 箇所にとめることは対外的にも対内的にも良かったと考えます。各部会の作業量のバランスと役割の明確化が一番重要ではないかと考えますので、発送作業担当を設ける場合は下記の内容を参考にして下さい。
 1. 名簿の収集を事業計画の審議前には完了し、出来る限り多くのメンバーで住所確認等を行うこと。
 2. 事業内容によって変更が大きいので、案内状の簡易版書式を担当部会から発信し、それに沿って各部会から必要事項を提出してもらう。
 3. 各部会の案内のための必要事項が出揃ったら、正式な案内状レイアウトを作成する。（審議対象資料）
 4. 当日の出欠確認・返信期日や入金期日を過ぎた後の連絡・取り扱いを、案内者に対して、事業担

当部会と発送作業担当部会のどちらが受け持つかを明確にしておく。

5. 事業当日の受付方法は事業担当部会で決定し、アテンドとの調整を図る。
6. 最低でも案内状作成前、出欠締切り期日、事業前には必ず時間を設け、上記1～5の内容について各部会間の調整を密にする。

⑮大会誘致補助金について、スケジュールは下記のとおりでした。実績報告書は事業開催後、可能な限り早い時期に行うことが望ましいですが、事業費の領収書が必要ですので、次回補助金申請を活用する際は参考にされて下さい。また、計画段階で入金方法（本会計または周年特別会計）の取り扱いや、どの事業で補助金を活用し、収支を計上するかなどを、しっかりと協議し申請を行って下さい。

日時	内容
4月	市役所担当課に申請内容相談
6月28日	申請書提出（期限：大会当日1週間前までが望ましい）
7月5・6・7日	50周年記念大会
7月～10月	事業報告作成・精算作業
10月17日	報告書・事業費領収書を添付し、市役所担当課へ実績報告書申請提出
10月30日	認定通知が届いた後、請求書を提出
10月31日	補助金入金

V. 事業名：【一般社団法人名寄青年会議所アテンド計画】

1. 事業目的

(対 外)

一般社団法人名寄青年会議所との友好JC締結20周年を迎えるこの機会に、20周年の友好JCの歴史に感謝すると共に、より深くお互いを理解することで更なる友情を深め、友好の絆を受け継いでいくことを目的とします。また、名寄青年会議所メンバーに至福の時を過ごしていただき、天草を大好きになってもらうことを目的とします。

(対 内)

一般社団法人名寄青年会議所との友好JC締結20周年を迎えるこの機会に、20周年の友好JCの歴史に感謝すると共に、より深くお互いを理解することで更なる友情を深め、友好の絆を受け継いでいくことを目的とします。また、初めて天草に来訪される名寄青年会議所メンバーに、心からのおもてなしを実践することを目的とします。

2. 実施日時・場所

※実施日時

①名寄青年会議所アテンド計画

平成25年7月4日(木)～7月7日(日)

②なよろ前夜祭【20年の歩みに感謝!～これまでの友情を振り返り、これからの友情を語り合おう!～】

平成25年7月5日(金) 21:30～23:15 (21:15受付)

③友好JC締結20周年セレモニー

平成25年7月6日(土) 15:57～16:09

※創立50周年記念式典において開催

※実施場所

①名寄青年会議所アテンド計画

九州圏内及び天草島内全域

②なよろ前夜祭【20年の歩みに感謝!～これまでの友情を振り返り、これからの友情を語り合おう!～】

会 場：天草地魚料理 いけすやまもと

住 所：熊本県天草市南新町10-11

T E L：0969-23-2103

F A X：0969-23-3559

③友好JC締結20周年セレモニー

場 所：天草市民センター 大ホール

住 所：熊本県天草市東町3番地

T E L：0969-22-4125

F A X：0969-22-5475

3. 参加人員

	実績
(外部) 一般社団法人名寄青年会議所 会員	16名
一般社団法人名寄青年会議所 特別会員	10名
(内、特別会員1993年以降)	(10名)
名寄青年会議所 会員・特別会員の家族	4名
一般社団法人天草本渡青年会議所 特別会員(前夜祭)	16名
天草本渡青年会議所 特別会員の家族(前夜祭)	0名
天草本渡青年会議所 会員の家族(前夜祭)	1名
合 計	47名

(内部) 役 員	24名
メンバー	28名
(内、当部会)	10名
その他(事務局員)	1名
合 計	53名

【アテンド】

役 員	24名
メンバー	28名
(内、当部会)	10名
合 計	52名

【なよろ前夜祭】

役 員	17名
メンバー	8名
(内、当部会)	7名
合 計	25名

【20周年記念セレモニー】

役 員	41名
メンバー	23名
(内、当部会)	17名
その他(事務局員)	10名
合 計	41名

4. 事業内容

- (1) 記念式典において友好JC締結20周年記念セレモニーを開催すると共に、前夜祭において名寄青年会議所メンバーを歓迎し、20年間の感謝と交流を深める企画を行う。また、記念大会でのアテンドを通して、初めて訪れる天草を満喫してもらうと共に、来訪への感謝を伝える設えと、メンバー同士の交流を図る。

①名寄青年会議所アテンド計画

(※参考資料：アテンドスケジュール参照)

1. 名寄青年会議所の皆様には滞在中ネームプレートを身につけていただく。
2. 事前にメンバー紹介リーフレットを配布し、お互いにメンバー情報を把握しておく。
3. 天草の魅力を堪能できるスケジュールを組立て、心のこもったアテンドを実践する。
4. 全メンバーが名寄青年会議所メンバーと触れ合う機会がもてるよう、事前にアテンドスケジュールを周知し、少しの時間でもおもてなしと交流に参加していただく。
5. 記念品を天草で採れる貝殻と天草陶石を組み合わせで作成し、なよろ前夜祭で撮影する集合写真・記念大会を通しての交流写真CDと共にお渡しする。

②なよろ前夜祭

【20年の歩みに感謝！～これまでの友情を振り返り、これからの友情を語り合おう～】

なよろ前夜祭 式次第

	項目	担当	TIME
1	開会宣言	船島副理事長	21:30
2	実行委員長挨拶	段下実行委員長	21:33
3	理事長挨拶	梅野理事長	21:38
4	乾杯	天草本渡シニアクラブ 代表世話人 明瀬実先輩	21:43
5	フリースタイム (歓談)	20年の歴史を振り返る	21:45
		天草本渡シニアクラブ 榎本先輩・名寄シニアクラブ 谷先輩	
		天草・名寄特産品紹介	
		参加メンバー・家族紹介	
6	記念品贈呈	段下実行委員長から梅野理事長へ	22:40
7	集合写真撮影	記録記念誌部会	22:55
8	若い我ら	参加者全員	23:04
9	一本締め	天草本渡シニアクラブ 戸澤先輩	23:09
10	閉会宣言	吉本部会長	23:13

1. 大懇親会部会と連携し、部会の枠を超えた担当役割を決定し円滑な運営を実施する。
2. 20年間の交流の歴史について、ダイジェスト映像とともに出席歴代理事長の中から数組に、理事長当時のエピソードや今まで続けてきた交流の形についてインタビューを行う。
3. 参加メンバーの自己紹介や家族紹介を行う。
4. 初めて天草を訪れる名寄メンバーに天草の特産品に触れてもらう。また、名寄特産品も準備し参加者に両地域の味覚を楽しんでいただく。

5. 集合写真を撮影する。名寄青年会議所メンバーへ記念品の一部としてお渡しする。

③友好JC締結20周年セレモニー

20年間続いた友好JCの歴史に感謝すると共に、友好の絆を受け継いでいくことを再確認するために創立50周年記念式典の中で「友好JC締結20周年セレモニー」を執り行う。また、感謝状と友情旗を「天草更紗」を用いて作成し、心を込めてお渡しする。

友好JC締結20周年セレモニー 式次第

	項目	担当	RAP
1	アナウンス	司会	01:00
2	映像	名寄・天草20年間の交流の歴史	02:00
3	登壇	小山理事長・植本先輩（ステージ脇より）	
4	登壇	名寄青年会議所全員登壇	01:00
5	感謝状贈呈	小山理事長から梅野理事長へ	02:00
6	未来への証	友情旗贈呈（天草本渡から名寄へ）	
		記念品贈呈（名寄シニアから天草本渡シニアへ）	04:00
		（植本先輩お礼）	01:30
		記念品贈呈（名寄から天草へ）	01:10
7	ご挨拶	名寄青年会議所 梅野理事長	02:00
8	記念撮影		01:30
9	降壇	全員	01:00
			TOTAL 17:10

5. 成 果

（対 外）

- ①20周年を向える友好JCの歴史を両青年会議所が振り返り、感謝する機会を設けたことで、まだ相手を知ることがなかったメンバーに友好JCとの絆に触れてもらい、共に時間を過ごすことで、より深くお互いを理解し更なる友情を深めることができた。
- ②名寄青年会議所メンバーから、「一度は天草に来てみたかった」、「今度はプライベートで来たい」などの声を頂き、昔からの友のようなメンバー同士の交流を図ることができ、天草の魅力を感じながら友との友情を育み、天草を大好きになってもらうことができた。

（対 内）

- ①20周年を向える友好JCの歴史を両青年会議所が振り返り、感謝する機会を設けたことで、まだ相手を知ることがなかったメンバーに友好JCとの絆に触れてもらい、共に時間を過ごすことで、より深くお互いを理解し更なる友情を深めることができた。
- ②計画段階より、初めて天草へ来る名寄メンバーに最高の思い出を作ってもらおう事を大前提に、様々なプランを検討することができました。また、当日は各々が記念大会成功へ向けた役割を持つ中、少しの時間でも名寄メンバーと交流の時間を作り出そうとするメンバーの姿から、心からのおもてなしを実践して頂けたと考えます。

- ⑨今回、記念事業の講師と友好JCである名寄青年会議所の来訪予定が重複し、立て続けの事業開催となりましたが、理事長不在のままの事業開催は、どちらの事業にとっても支障があります。極力予定が重複しないようスケジュールを立て、やむをえない場合は不在の場合の対応まで検討しておくようにして下さい。

【友好JC締結20周年セレモニー】

- ⑩今回は50周年記念式典の中でセレモニーを行ったため、多くの方に友好JCの魅力をお伝えすることができました。しかし、名寄青年会議所からのサプライズ記念品があり、式典開始本番までリハーサルを行う形になりました。先方が思いを込めて準備されることですので、失礼のないよう臨機応変に対応し、可能であればタイムスケジュールに余裕を持って組み立てておくと思いいます。
- ⑪計画時は歴代理事長に登壇して頂く予定でしたが、本番は名寄青年会議所からの来訪メンバーはご家族まで全員にステージ登壇して頂きました。名寄メンバー一人ひとりに感謝の気持ちを伝えること、記念撮影等を考えると全員登壇をして頂いて良かったと思います。時間配分も含め、次回開催の時にはご参考下さい。
- ⑫記念品の贈呈や参加者次第で進行内容が変わる可能性があります。シニアクラブや名寄青年会議所担当者とよく打合せを行い、可能な限り情報を集め、リハーサルに反映できるようにして下さい。また、ご挨拶を頂く場合は、前もってお時間を伝えていても、感動の想いから伝えたい言葉が増えたり、ご挨拶を頂く方が増えたりする可能性があります。それ以降の進行にも影響が出ますので、計画を立てる際は今回の所要時間を参考に ご検討下さい。

【予算上の問題点】

- ⑬招待状・お礼状については、お送りする内容や他で計画されている発送文章とよく調整を行い、重複等が無いように計画を立てて下さい。
- ⑭名寄青年会議所メンバーが購入されたお土産品が当初計画していたお土産品と重複し、内容を変更した為送料が変更となりました。臨機応変に対応できるよう、余裕を持って予算計上をされて下さい。
- ⑮貸切バス借用費について、来訪直前まで、名寄青年会議所メンバーの来訪人数・スケジュール次第で変更の可能性が大きいので、予算計上には余裕を持って計画しておいて下さい。
- ⑯お礼文や記念品関係について、今回は現役メンバーのみの予算計画をしていましたが、結果的に新入会員が増えたことと、来訪されたシニアメンバーへ、現役メンバーと同じように感謝の気持ちをお送りすべきだと考え、お渡しすることにしたため、経費が追加発生しました。計画時には確定しにくい数ですので、余裕を持った予算組みを検討されて下さい。

【その他】

- ⑰名寄青年会議所との友好関係は1993年以降の先輩方が中心ですが、それ以前にも南北交流等で関わりの深い先輩方がいらっしゃいます。現役・シニア合同での交流企画がある場合、代表世話

人、または、締結を結んだ年の理事長である樋本幸一郎先輩に、先輩方のアテンドの予定・シニアクラブへの案内文発送対象をどうするか等、事前にご相談して下さい。

VI. 事業名：【創立50周年記念大会 成功祈願祭の開催】

1. 事業目的

(対内)

記念大会の成功と大会期間中の安全を祈願し、青年としての理想に燃え、不屈の精神と地域の未来を想う魂（こころ）を持つメンバーの意識を、記念大会の開催に向けひとつに結束することを目的とします。

2. 実施日時・場所

※実施日時

開催日：平成25年7月4日 木曜日

時間：7:00～7:45

※実施場所

場所：本戸馬場八幡宮

住所：天草市八幡町21-25

TEL：0969-22-4270

3. 参加人員

	実績
(外部) 本戸馬場八幡宮 神主 木本圭子氏	1名
シニアクラブ 明瀬実代表世話人 他1名	2名
写真撮影 池崎写真館	1名
合計	4名
(内部) 役員	22名
メンバー	19名
(内、当部会)	10名
合計	41名

4. 事業内容

(1) 地域の未来を想う魂（こころ）を持って、記念大会の開催に向け日夜準備を行ってきたメンバー全員が、厳かな神を目の前に記念大会の成功を心から信じる気持ちを持つことで、記念大会の安全と成功に繋げる。

①成功祈願祭

2013年7月5日（金） 7時00分～7時20分 本戸馬場八幡宮

6時45分集合

- 一、開会
- 一、修祓(しゅばつ)
- 一、降神の儀(こうしん)
- 一、献饌の儀(けんせん)
- 一、祝詞奏上(のりとそうじょう)
- 一、玉串奉奠(たまぐしほうてん)
 - ①実行委員会会長
 - ②シニアクラブ代表世話人
 - ③実行委員会実行委員長
- 一、撤饌の儀(てっせん)
- 一、昇神の儀(しょうしん)
- 一、閉会

(2) 祈願祭を一旦閉じ、実行委員会会長・実行委員長から熱いお言葉をいただき、締めには実行委員長発声で、メンバーの心が一つになる気合入れを行ってもらい、短時間で気持ちを高める結団式を行います。

②結団式

2013年7月5日(金) 7時20分～7時40分 本戸馬場八幡宮

- 一、開式の辞
- 一、50周年実行委員会 会長挨拶
- 一、50周年実行委員会 実行委員長挨拶
- 一、各部会連絡事項
- 一、閉会の辞

③記念撮影

2013年7月5日(金) 7時40分～7時45分 本戸馬場八幡宮

5. 成 果

(対 内)

- ①厳かな雰囲気の中で、創立50周年記念大会の成功と大会期間中の安全を祈願することができた。
- ②祈願祭の片付けをメンバーが進んで行っている様子が見受けられ、その後の結団式もスムーズに整列をするなど、記念大会の始まりを強く意識してもらうことができ、開催に向けメンバーの気持ちの結束を見ることができた。
- ③結団式中に降り出した雨も気にすることなく、理事長や実行委員長の熱弁にメンバーが耳を傾ける様子から、青年として理想に燃える姿が見られ、これからの地域の未来へ向けて記念大会を成功させる決意を感じる事ができた。

6. 引継事項

【成功祈願祭】

- ①開催時間を早朝にしたことで、他の時間帯よりもスケジュールの都合が付きやすいメンバーが多く、普段参加が難しいメンバーにも参加いただけたので、次回も早朝開催を検討材料の一つとして下さい。
- ②顔を合わせる機会が少ないメンバーがいますので、こまめな声掛けができないときは電話連絡だけでなく、メンバーの仕事環境や状況に合わせて話す機会を定期的に作り出す必要があると考えます。
- ③今回準備したものを参考資料として添付しますので、参考にされて下さい。準備物の確認は神主とよく打合せを行って下さい。また、早朝開催による注意事項等（声の音量や利用させていただく場所など）があれば、事前にお聞きしておくともメンバーに事前に伝えやすくなります。

【結団式】

- ④祈願祭を行い、その直後、結団式を行ったことで、記念大会の始まりを強く意識できたので、この開催順が良かったと感じました。次回開催の際にご参考下さい。

【予算】

- ⑤ご神前へのお供え物は、神主様と計画時によく相談し予算を計上するようにして下さい。

【その他】

- ⑥現役メンバー以外に参加のご案内をかける場合は、執行部だけでも早めの集合を行い、お迎えする形をとるべきだと感じました。以後ご検討下さい。
- ⑦計画段階で、解団式を計画してはどうかという意見を頂いていましたが、最終日の終了予定が未確定だったため企画しませんでした。大会を終えて、終わりを実感できる解団式があってもよかったかと感じています。次回開催の折には計画時から結団式・解団式共に実施することもご検討下さい。
- ⑧友好JC来訪日程は計画段階では決まっていない可能性もあり、今回は友好JC来訪日程等により開催日変更の必要性が出ました。今回は修正議案を提出し開催日の変更を行いましたので、成功祈願祭の開催意義を踏まえながら臨機応変に対応できるよう参考にして下さい。

総務部会開催報告

回数	開催日	総務部会	開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012. 9. 19	総務部会	肥後銀行 天草支店	各種案内・受付窓口・渉外担当・パンフレット・成功祈願祭の企画	5名	9名	36%
2	2012. 10. 18	総務部会	J C 会館	祈願祭・広報内容・天草満喫プランの検討	4名	10名	29%

3	2012. 11. 28	総務部会	肥後銀行 天草支店	祈願祭・広報内容・天草満喫プランの 検討	5名	9名	36%
4	2012. 12. 21	総務部会	J C会館	祈願祭・宿泊施設リスト・案内看板設 置計画・広報計画・横断幕設置場所・ ラジオ・TV無料放映探し・案内文レ イアウト・アテンド計画・前夜祭企画・ 記念品検討	4名	10名	29%
5	2013. 1. 30	総務部会	肥後銀行 天草支店	祈願祭・宿泊施設リスト・案内看板設 置計画・広報計画・横断幕設置場所・ A C N・リーフレット作成・案内文レ イアウト・前夜祭企画・アテンド計画・ 記念品	5名	9名	36%
6	2013. 2. 27	総務部会	肥後銀行 天草支店	祈願祭・宿泊施設補助金・案内文・お 礼文・プレスリリース作成・テレビ告 知・ケーブル静止画デザイン・キャス ター宣伝グッズ・横断幕・記念大会H P・リーフレットデザイン・記念大会 手提げ袋・友好J C締結20周年記念 式シナリオ・歴代理事長案内文・アテ ンドスケジュール・メンバー紹介リー フレット・前夜祭会場レイアウト・企 画・記念品	4名	10名	29%
7	2013. 3. 28	総務部会	肥後銀行 天草支店	宿泊施設補助金・案内文・お礼文・プ レスリリース作成・テレビ告知・ケー ブル静止画デザイン&宣伝看板・横断 幕設置・記念大会HP・リーフレット ・記念大会手提げ袋・友好J C締結2 0周年記念式シナリオ・歴代理事長案 内・アテンドスケジュール・メンバー 紹介リーフレット・前夜祭会場レイア ウト・前夜祭企画・記念品・総務部会 全体スケジュール	5名	9名	36%
8	2013. 4. 19	総務作業	J C会館	対外案内文発送準備	5名	9名	36%
9	2013. 4. 25	総務作業	J C会館	対外案内文発送準備	5名	9名	36%
10	2013. 4. 26	総務部会	肥後銀行 天草支店	発送作業・担当分け	3名	11名	21%
11	2013. 5. 13	総務作業	J C会館	案内文発送作業 宿泊確認作業・記念品製作	5名	9名	36%
12	2013. 5. 23	総務作業	J C会館	案内文発送作業 宿泊確認作業・記念品製作	6名	8名	43%

13	2013. 5. 27	総務部会	肥後銀行 天草支店	記念大会プロセスシート・宿泊施設補助金・ケーブル静止画デザイン・プレスリリース・リーフレット・出欠状況確認・友好JC締結20周年記念式シナリオ・アテンドスケジュール・メンバー紹介リーフレット・前夜祭運営・記念品・総務部会全体スケジュール	7名	7名	50%
14	2013. 6. 21 ～ 2013. 6. 26	総務作業	JC会館	友好JC締結20周年映像 宿泊者ご案内送付 受付備品準備	8名	6名	57%
15	2013. 6. 27	総務部会	肥後銀行 天草支店	プロセスシート・記念大会スケジュール及び役割確認	7名	7名	50%
16	2013. 7. 10	総務部会	JC会館	当日出欠確認作業・支払い準備	5名	9名	36%
17	2013. 8. 17	総務作業	JC会館	お礼文発送作業	6名	8名	43%

■記録記念誌部会 部会長：船島健嗣

副部会長：山下亜希子 芥川琢哉

Ⅶ. 事業名：【天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成】

1. 事業目的

(対 外)

創立から50周年に至るまでの歩みを発信し、当青年会議所の運動・活動への理解を深めてもらうと共に、天草（まち）の明るい未来（Good Amakusa）を創造し活動している団体であることへの認識を深めて頂く。

(対 内)

創立から50周年に至るまでの歴史を振り返り、受け継ぐべき伝統や自分達の使命を再認識することで、不撓不屈の精神と天草（まち）の未来を想う魂（こころ）を醸成すると共に、今後の青年会議所運動・活動を展開していく上での、研修ツールのひとつとして活用して頂く。

2. 実施日時・場所

※実施日時

●	発刊日	:	2013年7月
●	配布日（手配り・各種団体及び関係者）	:	2013年7月6日（土）
●	配布日（手配り・メンバー）	:	2013年7月24日（水） ※7月度例会時 2013年7月下旬～8月中旬 ※7月度例会欠席者
●	発送日（郵送・シニア・OB）	:	2013年7月31日（水）
●	発送日（郵送・各種団体及び関係者）	:	2013年8月21日（水）

(実施場所)

●	発刊	:	(有)天草民報社 〒863-0049 天草市北原町1-39 TEL:0969-22-2391
●	配布	:	天草市民センター 創立50周年記念式典会場 〒863-0033 天草市東町3 TEL:0969-22-4125 (手配り:来賓・JC関係者・天草本渡青年会議所OB) 肥後銀行天草支店3階会議室 7月度例会会場 〒863-0037 天草市南新町6-1 TEL:0969-22-2151 (手配り:天草本渡青年会議所会員)
●	発送	:	一般社団法人天草本渡青年会議所事務局 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場2179-1 TEL:0969-23-0018 (郵送:各種団体及び関係者・天草本渡青年会議所OB)

3. 参加人員

(外部) 各種団体及び関係者	319名
天草本渡青年会議所OB	179名
(内、シニアクラブ会員)	153名
(内部) 理事・役員	24名
メンバー	40名

(内、当部会)	10名
事務局員	1名
合 計	563名

4. 事業内容

- (1) ビジュアル的な要素も考慮したレイアウトの構築を検討すると共に、カラー刷りで発刊する。
- (2) 先輩諸氏をはじめとする地域の方々や各種団体及び関係者への感謝と敬意の気持ちを、理事長よりの挨拶として発信する。
- (3) 50周年記念大会のテーマ・スローガン・シンボルマークの解説及び50周年記念大会（記念式典・記念事業・大懇親会）概要を掲載する。また、どのような想いで50周年大会を実施するのかを実行委員長よりの挨拶として発信する。
- (4) 当青年会議所の立ち上げから設立に至るまでの経緯と、チャーターメンバーの皆様がどのような想いでこの会を立ち上げられたかを掲載する。
- (5) 各事業年度の主な活動や事業はもとより、過去に実施してきた周年事業の概要や熊本ブロック会員大会の主管記録、さらに褒賞を受賞した事業の紹介や複数年に渡り継続して実施されてきた事業などを紹介する。
- (6) 2003年度から2012年度の歴代理事長に寄稿依頼を行い、当時の思い出や印象に残っているエピソードなどを掲載する。
- (7) 40周年記念事業で実施した「天草未来予想図」についての検証結果を掲載する。
- (8) ホームページ上において、記念誌を閲覧出来る環境作りを行う。

5. 成 果

(対 外)

- (1) 読み手が読み易いカラー刷りで発刊し、周年事業や熊本ブロック会員大会主管記録・褒賞受賞事業の紹介など過去の記念誌では無かった多種多様な誌面構成に仕上げたことで、当青年会議所の運動・活動に対して、さらには創立から50年間天草（まち）の明るい未来（Good Amakusa）を常に創造し活動してきた団体であったことを記念誌と云う情報発信ツールを活用して発信することができた。
- (2) 当青年会議所のホームページ上において記念誌の閲覧とデータのダウンロードができる環境を整えたことでWEB閲覧者に限定はされますが、当青年会議所の運動・活動をより広く発信することができた。

(対 内)

- (1)各事業年度の主な活動や事業はもとより、過去に実施してきた周年事業や熊本ブロック会員大会主管記録、褒賞受賞事業に関してなど簡潔にまとめた内容に構築した記念誌を発刊できたことで、今後の青年会議所運動・活動を展開していく上での研修ツールのひとつとして活用できるものとする事ができた。
- (2)歴代理事長のJCに対する考え方や活動内容を掲載したことで、自分達の受け継ぐべき伝統や使命を再認識することができたと共に、天草（まち）の未来を想う魂（こころ）を醸成することができた。

6. 引継事項

【準備】

- (1)今回の記念誌は50周年ということもあり事業費も潤沢であったことから全ページカラー刷りで発刊することが初めて実現できました。次周年（60周年時）においてもカラー刷りで発刊された方がより多くの方々が手に取って読んでもらい易い記念誌になるかと思いますが、周年の全体予算比率も考慮しながらカラー刷りで発刊するのか過去の記念誌同様2色刷りで発刊するのか慎重に検討されて下さい。
- (2)原稿作成にあたり今回は主に事務局に現存する様々な基礎資料を基に作成しましたが、企画・内容によっては直接当事者の先輩方に取材活動を行い原稿作成時のひとつの材料とするのも良いかと思えます。
- (3)祝辞依頼者への依頼文封入の際には、必ずタックシール宛名と依頼状の宛名の確認を複数のメンバーで行うようにして下さい。また今回は同封資料として理事長所信と記念大会概要説明文のみでしたが、JC関係者以外の方は当青年会議所の設立の経緯やこれまでの歴史が簡単に解る資料もあった方が執筆し易いとのことでしたので、そういった資料も準備して同封するようにして下さい。
- (4)九州地区協議会会長からの祝辞原稿が期限を過ぎても届かず、事務局グループに連絡してもなかなか返信頂けませんでしたので、そういった事態が起きた場合は早い時期から事務局グループでなく運営専務あるいは会長ご本人に連絡を入れるかたちをとった方が、返信頂ける確率が格段に高いです。
- (5)歴代理事長に寄稿依頼をされる場合には必ずご本人にお会いして直接依頼文をお渡しすることを徹底して下さい。また今回は1名の歴代理事長より寄稿依頼を諸事情によりお断りされる事態が発生しましたが、事前に当時の専務理事の先輩に代筆をして頂く確約をとっておりました。今後はこういう事態が起きることはないかと思えますが、万が一同様の事態が想定される場合には、事前に当時の三役構成メンバーのどなたかに代筆の依頼を行っておけば不測の事態にも対応しやすいです。
- (6)今回記念誌を作成するにあたり、基礎資料収集・史実確認に膨大な時間を費やしました。基礎資料となるコンテンツ（写真・映像・各資料）の整理・保管についてはその年々の担当役員及び担当委員会が確実に行って下さい。また前年度から準備委員会を立ち上げるな

ど、基礎資料収集がスムーズに行える環境を事前に整えておいて下さい。

【構成】

- (7) 発刊時期と入稿スケジュールの関係上「未来へ繋ぐ あまくさ運動指針」の内容や「天草宝島エクスカーションツアー」など創立50周年に関わる全ての事業を掲載することができませんでした。記念誌を記録資料のひとつとして捉えるなら、できれば全事業を掲載しておいた方が記録資料としての活用度も上がるのではないかと考えますので、周年事業構築の際には記念誌の発刊時期・最終原稿入稿日も念頭においてもらえるよう促して下さい。
- (8) 前周年からの10年間の活動報告について、歴代理事長の先輩方に「当時の思い出や印象に残っているエピソード」という大きなテーマの基に寄稿依頼を行った結果、その年がどのような年であったかが解り易くてよかったとの声も頂きましたが、依頼された側からするとテーマが漠然としていて原稿執筆がしづらかった方もおられました。次周年時にも同様の趣旨で歴代理事長に寄稿依頼をされる場合には、依頼された側が原稿執筆しやすいようテーマをもう少し詳細に設定して依頼することも検討されて下さい。
- (9) ページ構成については、原稿の量や制作者からのアドバイスを受けながら効果的なレイアウトに構築していく中でどうしても計画時のページ数から多少変更が生じてきますので、今回同様参考資料に留めておいた方が臨機応変な対応がし易いです。
- (10) 今回の記念誌構成は周年事業や熊本ブロック会員大会主管記録・褒賞受賞事業など地域貢献に関連した事業に重きをおいた内容に構築しましたが、メンバー向けに会員研修セミナーなど対内事業の紹介ページを設けることもご検討下さい。

【配布・発送】

- (11) 記念式典の受付時など他部会が配布を行う場合には、必ず事前に合同部会を開催して配布対象者の最終確認を行うか、または事前に配布対象者への式典配布物を作成しておいた方が不明な配布先を防ぐことができます。
- (12) 今回は記念式典時に配布したことでその後の会話の話題作りにも繋がり良かった面がありましたが、発刊時期については、当日配布・後日配布それぞれメリット・デメリットがありますので、記念誌の活用目的に合わせて設定して下さい。
- (13) 発刊部数にもよりますが、配布先対象として天草地域の企業や入会候補者の会社にも配布することも検討されて下さい。また配布対象でない式典参加者の方から記念誌を欲しいとの声が多くありましたので、そういった要望があった場合にはその場でお渡しできるよう受付担当者とも事前に打ち合わせを行うか、式典参加者全員に配布することも検討されて下さい。
- (14) OBの先輩で連絡先及び送付先を突き止めきれなかった方が数名おられました。事務局及びシニアクラブで送付先等が把握できない方に関しては、事前に配布対象から外して下さい。

(15) 記念誌配布先と御礼状など他部会の発送先と重複する場合には、事前に部会同士で調整し同封して発送されるようにして下さい。

【予算】

(16) 振込先については計画時に必ず確認するようにして下さい。また支払い金額が高額な場合は今回同様、振込で入金されるのが一番安全ですので、振り込み手数料は必ず予算計上するようにして下さい。

(17) 記念誌の重量については最終的なページ数で計画時の予測重量から多少変わってきますし、発送時の総重量についても、送付状以外の同封物も出てくる場合も考えられます。また配布先対象でない方からも欲しいとの要望があった場合には、後日郵送するなどの対応を取らなければならない場合もありますので、記念誌郵送料については余裕を持った予算額を計上されておくと、対応がしやすいです。但し、学校関係など事前に配布数が把握出来るところについては、事業計画時によく精査をした上で予算計上して下さい。

(18) 一部の依頼原稿や当部会からの原稿入稿が大幅に遅れたことで、超過業務手当等が発生いたしましたので、特に入稿スケジュールについては制作業者と綿密な打ち合わせを行い、余裕を持ったスケジュールを組み立て、無駄な予算を使わないようにして下さい。

(19) 制作業者側との予算表記に関しての打ち合わせ及び確認が不足していたことで、補正予算及び決算時に予算審議時から勘定科目を精査しなければならない事態が起きましたので、予算明細書の摘要表記についても業者側に最終確認をしてもらうようにして下さい。

【その他】

(20) 事務局備品の封筒を購入して発送する際は、封筒の残数確認を発送時期の最低1ヶ月前には行うようにして下さい。

(21) ホームページ上での公開は配布対象者以外の方や不特定多数の方にも記念誌を読んでもらえるチャンスが拡充し、当青年会議所の運動・活動のPRにも繋がりますので、次周年時においてもWEB上でも記念誌を閲覧できる環境作りを行って下さい。

(22) 今回600部発刊して40部程度を在庫として残すことができましたので新入会員候補者への勧誘ツールとして、または新入会員対象の研修時に活用されて下さい。但し、保存用として事務局員の机の中に5部保管いたします。また今後事業を展開していく中で新たな関係諸団体と協力や連携を仰がなければならない時もあるかと思っておりますので、その際に当青年会議所がどういった団体であるかを理解してもらうツールとして活用してもらうのも良いかと思っておりますが、限られた部数ですので配布される際は慎重にご検討下さい。

(23) 事業報告書を作成する際、特に事業目的対外に関しての検証がしにくかった現状がありましたので、例えば配布対象（対外）の方に記念誌に関するアンケートなどを実施すれば、検証し易くさらに次回記念誌の発刊時の参考材料にもすることが出来るかと思っておりますので

ご検討下さい。

(24) 記念誌表紙の表面加工については、最終的な表紙デザインによって計画時の加工法から変更した方が良い場合も想定されます。今回は加工法を変更したことでの料金の差異はありませんでしたが、制作業者によっては料金変動する場合もあるかと思しますので、表紙デザインについては事業計画審議時までには固めておいた方が良いでしょう。

VIII. 事業名：【創立50周年記念大会への軌跡の保存】

1. 事業目的

(対外) なし

(対内)

創立50周年記念大会及び実施に至るまでの活動の軌跡を次代へ継承していくと共に、当青年会議所内での情報資源の有効活用に繋げる。

2. 実施日時・場所

(実施日時)

●	創立50周年記念事業 キズナキャンプin竜洞山 2013年5月6日(月) 2013年6月8日(土)～6月9日(日) 2013年8月17日(土)
●	創立50周年記念事業 フラワーアートでまちづくり 2013年5月11日(土) 9時～12時30分 2013年5月19日(日) 9時～15時
●	創立50周年記念大会 成功祈願祭 2013年7月4日(木) 7時～7時45分

●	創立50周年記念大会 記念事業パートⅠ 基調講演会「夢と出会いが力に…」 2013年7月5日（金）16時30分～21時30分
●	創立50周年記念大会 なよろ前夜祭 20年の歩みに感謝！ 2013年7月5日（金）22時～0時
●	創立50周年記念大会 記念式典 一般社団法人天草本渡青年会議所 創立50周年記念式典 2013年7月6日（土）10時～16時45分
●	創立50周年記念大会 大懇親会「50周年誕生祭 ～潮風・南の風・未来の風」 2013年7月6日（土）17時～20時30分
●	創立50周年記念事業パートⅡ「復活！綱引き大会&餅投げ」 2013年8月10日（土）16時～21時
●	50周年実行委員会 全体会議 2012年9月～2013年6月
●	50周年実行委員会 各部会 2012年9月～2013年7月
●	おつかれさま～！打ち上げBBQ 2013年9月14日（土）
●	創立50周年記念大会の軌跡DVD 配布・発送 天草本渡青年会議所OB：2013年11月初旬 天草本渡青年会議所会員：2013年11月15日（金）※11月度例会時

（実施場所）

●	創立50周年記念事業 キズナキャンプin竜洞山 （株）吉永産業 天草支店3階会議室 〒863-0038 天草市南町3-1 竜洞山 みどりの村 〒863-0101 天草市新和町小宮地11312
●	創立50周年記念事業 フラワーアートでまちづくり 西の久保公園 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場 天草空港敷地内公園 〒863-2114 天草市五和町城河原1丁目2080-5
●	創立50周年記念大会 成功祈願祭 本戸馬場八幡宮 〒863-0047 天草市八幡町21-25
●	創立50周年記念大会 記念事業パートⅠ 基調講演会「夢と出会いが力に…」 天草市民センター大ホール 〒863-0033 天草市東町3番地
●	創立50周年記念大会 なよろ前夜祭 20年の歩みに感謝！ 天草地魚料理いけすやまもと 〒863-0031 天草市南新町10-11
●	創立50周年記念大会 記念式典 一般社団法人天草本渡青年会議所 創立50周年記念式典 天草市民センター大ホール 〒863-0033 天草市東町3番地
●	創立50周年記念大会 大懇親会「50周年誕生祭 ～潮風・南の風・未来の風」 本渡海水浴場 〒863-0001 天草市本渡町広瀬 茂木根
●	創立50周年記念事業パートⅡ「復活！綱引き大会&餅投げ」 中央銀天街アーケード内 〒863-0023 天草市中央新町
●	50周年実行委員会 全体会議

	株式会社肥後銀行天草支店 3階会議室 〒863-0031 天草市南新町6-1
●	50周年実行委員会 各部会 天草本渡青年会議所 事務局 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場2179-1
●	おつかれさま～！打ち上げBBQ 本渡海水浴場 〒863-0001 天草市本渡町広瀬 茂木根
●	創立50周年記念大会の軌跡DVD 発送 天草本渡青年会議所 事務局 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場2179-1
●	創立50周年記念大会の軌跡DVD 配布 天草宝島交流会館ポルト3階多目的ホール 〒863-0023 天草市中央新町15-7

3. 参加人員

(外部) 天草本渡青年会議所OB	9名
(内、シニアクラブ会員)	9名
(内部) 理事・役員	24名
メンバー	42名
(内、当部会)	10名
合計	563名

4. 事業内容

- (1) 創立50周年記念大会及び実施に至るまでの活動の様子を取材し、カテゴリ毎にデジタルコンテンツ化を行う。
- (2) 過去の8mm 映写機の映像や記念誌作成で集積した写真や資料についても積極的にデジタルコンテンツ化と整理を行う。
- (3) 創立50周年記念大会及び冠事業、実施に至るまでの会員の活動の様子や本大会実施において作成する記念式典のオープニング映像等の各種映像等を収録したダイジェスト版DVD「創立50周年記念大会の軌跡」を作成する。またBGMについてはフリー音源だけでなく「創立50周年記念大会テーマソングプレゼンテーション大会」において決定したテーマソングも活用する。
- (4) 創立50周年記念大会構築に関わる各種資料（基本資料・事業計画書・事業報告書等）のPDF化を行うとともにフラットファイルを活用し紙資料としても保存を行う。
- (5) デジタルアーカイブの構築及び運用促進に向けてのガイドラインを作成する。

5. 成果

(対内)

- (1) 創立50周年記念大会及び実施に至るまでの活動の軌跡をデジタルコンテンツ化してカテゴリ毎に整理できたことで、次代へと確実に継承していく環境作りを行うことができた。

- (2) 8mm映写機映像、過去のビデオ映像、記念誌作成時に集積した写真についてもデジタルコンテンツ化しカテゴリー毎に整理・保存できたことで、今後の活動及び次周年事業構築の参考材料として、さらには当青年会議所内での情報資源の有効活用に繋がる環境作りの一助とすることができた。
- (3) 当青年会議所内においてのネットワーク等を通じた情報の共有化を図るための指針をまとめたガイドラインを作成することが出来たことで、当青年会議所内での情報資源の有効活用に繋がる環境作りの第一歩とすることが出来た。

6. 引継事項

【記録・保存】

- (1) 記録担当者は、必ず最終リハーサルに参加しシナリオに沿ってシミュレーションを行うようにして下さい。
- (2) 創立50周年記念大会に関わる事業及び活動の記録はデジタルコンテンツ化しDVD記録メディアとシニア室パソコンの外付けハードディスク（50周年実行委員会記録記念誌部会フォルダ）にメディアファイルで整理・保存しておりますが、特にDVD記録メディアに関しては管理を徹底して下さい。
- (3) 事務局に保管してあるコンテンツ（ビデオ映像・8mm映写機映像・写真・紙資料等）が膨大な枚数と量であったため、全てのコンテンツをデジタルコンテンツ化して整理・保存することが出来ませんでしたので、次周年に向けて計画的にデジタルコンテンツ化と整理・保存を実施して下さい。また、各年のコンテンツ（写真・紙資料等）についても広報を担当される委員会、または専務理事及び事務局が責任を持って整理・保存を行って下さい。
- (4) 運営会議の議事録作成について本周年は曖昧であったため、議事録の保存を実施することが出来ませんでしたので、次周年時においても運営会議を含んだ組織構成になる場合には、議事録作成担当（担当部会または担当者）を明確に定めてもらい、議事録の保存が確実に出来る環境作りを行って下さい。
- (5) LOMの取材活動の担当である総務広報委員会と連携して取材活動を実施出来たことで、ほぼ記録漏れがありませんでしたので、例えば各部会に記録担当者を設けるなどすれば、よりいっそう記録漏れも防げ、多種多様な活動記録を残すことが出来るかと思いますが、本周年同様の組織形態の場合は周年事業の取材活動を担う部会内の責任感が薄れる可能性も否めません。LOMの取材活動を担う委員会が担当部会となった方が部会内の意識浸透も図り易いのではないかと考えますので、どの部会に取材活動を担って頂くかについても慎重に検討して下さい。

【DVD】

- (6) DVDの配布先対象が対外も含まれる場合にはコンプライアンス遵守を徹底して下さい。またコンプライアンスを遵守したDVDを企画・制作された方がWEB上（ホームページ）

ジ等)での公開や対外配布が容易になり、今回のような2パターン制作する労力も軽減されますし、対外の方々に映像を閲覧及び観賞してもらうことで当青年会議所のPRにも繋がります。

- (7) 本周年同様、著作権が発生するDVDを対内(メンバー)に配布する場合には、関係者以外との鑑賞及び貸与、映像データのWEB上へのアップロードの厳禁等、注意喚起を十分に行ってください。

【デジタルアーカイブ】

- (8) 当青年会議所内での将来的なデジタルアーカイブの構築及び運用促進に繋げるための第一歩としてガイドラインを作成しましたので、是非参考材料のひとつとして活用して頂き、次年度からも積極的に取り組んで下さい。

【予算】

- (9) 事業計画審議後に希望者が多く出てきた場合に備え、OB配布用DVD配布に掛かる予備の郵送代を計上していましたが、結果的には希望者もおらず予算執行する機会が無かった上、補正予算の対象となってしまいました。事前に希望調査を実施した場合には予備費で対応できる金額の範囲内であれば、予備の郵送代の予算計上はされない方がよいです。

- (10) 8mm 映写機映像変換については、保存状態や損傷の度合いによって追加料金が発生する場合がありますし、実際に変換してみないと状態の確認も出来ず修復料金も状態によって様々ですので、8mm 映写機映像変換を業者に委託される際は、予備費を十分に確保しておくようにして下さい。

【その他】

- (11) 今回8mm 映写機の映像をデジタル化しましたがDVD以外では活用して頂く機会が少なかったため、デジタル化した貴重な映像が多い場合には活用して頂けるよう積極的に依頼されて下さい。

記録記念誌部会開催報告

回数	開催日	諸会議名	開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012.9.3	記録記念誌部会	JC会館	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について	6名	3名	67%
2	2012.9.18	記録記念誌部会	肥後銀行 天草支店	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について	5名	4名	56%
3	2012.9.26	記録記念誌部会	JC会館	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について	4名	5名	44%
4	2012.10.10	記録記念誌部会	JC会館	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について 創立50周年への軌跡の保存について	5名	4名	56%
5	2012.10.31	記録記念誌部会	JC会館	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について	2名	7名	22%

				創立50周年への軌跡の保存について			
6	2012. 11. 28	記録記念誌 部会	肥後銀行 天草支店	天草本渡青年会議所「丸わかり記念誌」の作成について 創立50周年への軌跡の保存について	3名	6名	33%
7	2013. 1. 20	記録記念誌 部会	JC会館	歴代理事長原稿依頼文発送準備 創立50周年への軌跡の保存について	3名	6名	33%
8	2013. 1. 30	記録記念誌 部会	肥後銀行 天草支店	記念誌原稿担当役割について 歴代理事長への依頼担当者について 創立50周年への軌跡の保存について	4名	5名	44%
9	2013. 2. 27	記録記念誌 部会	肥後銀行 天草支店	記念誌祝辞依頼発送作業について 創立50周年への軌跡の保存について	3名	6名	33%
10	2013. 3. 11	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌祝辞依頼文発送作業	4名	5名	44%
11	2013. 5. 7	記録記念誌 部会	JC会館	寄稿依頼返信状況の確認 未来へ繋ぐ「あまくさ運動指針」について	4名	5名	44%
12	2013. 5. 27	記録記念誌 部会	肥後銀行 天草支店	記念誌原稿作成進捗状況の確認 取材活動担当役割について	3名	6名	33%
13	2013. 6. 19	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌校正作業 プロセスシートについて	3名	6名	33%
14	2013. 6. 20	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌校正作業	5名	4名	56%
15	2013. 7. 22	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌発送準備	6名	4名	60%
16	2013. 7. 29	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌発送準備及び発送 事業報告書に関するアンケートについて	2名	8名	20%
17	2013. 8. 7	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌発送準備 事業報告書に関するアンケートについて	2名	8名	20%
18	2013. 8. 18	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌発送準備 事業報告書に関するアンケートについて DVD構成について	2名	8名	20%
19	2013. 8. 19	記録記念誌 部会	JC会館	記念誌発送準備及び発送	6名	4名	60%
20	2013. 9. 12	記録記念誌 部会	JC会館	DVD構成について	5名	5名	50%
21	2013. 11. 14	記録記念誌 部会	JC会館	年間事業報告について	3名	7名	30%

副部長：前田知洋

Ⅷ. 事業名：【古き良き天草と未来の天草が融合した記念式典の開催】

1. 事業目的

(対 外)

天草とともに歩み続けた50年間の歴史とこれからの未来に歩む気概を対外に広く発信することで、当青年会議所のJC運動・活動を認識して頂くことを目的とする。

(対 内)

天草とともに歩み続けた50年間の歴史とこれからの未来に歩む気概と覚悟を対外に広く発信することで、感謝の気持ちをお伝えすることを目的とする

2. 実施日時・場所

実施日時：2013年7月6日土曜日

受付：14:00～

開会：14:30～

閉会：16:50

実施場所：天草市民センター大ホール

〒863-0033 熊本県天草市東町3番地

TEL 0969-22-4125 FAX 0969-22-5475

3. 参加人員

	実績
(外部) 来賓	32名
公益社団法人日本青年会議所役員	2名
公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会役員	13名
公益社団法人日本青年会議所九州地区熊本BL協議会役員	16名
九州地区77会員会議所理事長	18名
一般社団法人名寄青年会議所理事長はじめ会員	17名
一般社団法人名寄青年会議所シニアクラブ	12名
各地青年会議所現役・OB	18名
天草本渡青年会議所シニアクラブ	42名
天草本渡青年会議所OB	1名
	合計 171名
(内部) 役員	22名
メンバー	17名
(内委員会)	8名
事務局員	1名
	合計 40名

4. 事業内容

【記念式典タイムスケジュール】

■司会者：安田量寛 野崎亜季子

	TIME	LAP	項目
	14:00		受付開始
	14:10		入場開始
	14:25		着席アナウンス
	14:27	00:03	物故会員追悼
	14:30	00:02	オープニング映像
	14:32	00:08	オープニング演出
1	14:40	00:01	開会宣言
2	14:41	00:03	国歌斉唱
3	14:44	00:03	J C ソング斉唱
4	14:47	00:02	J C I クリード唱和
5	14:49	00:02	J C I Mission 並びに J C I Vision 唱和
6	14:51	00:02	J C 宣言朗読並びに綱領唱和
7	14:53	00:02	天草市市民憲章の唱和
8	14:55	00:07	来賓紹介
9	15:02	00:08	来訪 J C 紹介
	15:10	00:05	創立 50 周年記念映像
10	15:15	00:07	理事長挨拶
11	15:22	00:04	天草本渡青年会議所シニアクラブ代表世話人挨拶
12	15:24	00:12	来賓祝辞
13	15:36	00:01	祝電披露
14	15:37	00:05	スポンサー J C 感謝状贈呈
15	15:42	00:15	歴代理事長感謝状贈呈
16	15:57	00:10	友好 J C 締結 20 周年記念式
17	16:07	00:07	未来へ繋ぐ「あまくさ運動指針」発表
18	16:14	00:01	閉会宣言

【会場設営】

- ①ステージと会場の一体感を表現するため、J C I マークと L O M 名入のバックパネル、J C I マーク入りの司会者演台パネルを作成します。また、中央の演台は生花を設置して、ステージを飾ります。

【受付・アテンド】

- ②案内状の発送から取りまとめ、受付に至るまでの一連の流れを総務部会と連携し役割分担を行います。また、当日の来賓アテンド割り振りも連携して進め、J C 歴や J C 出向歴を考慮したアテンド配置も総務部会を行います。

【物故会員追悼】

- ③創立 41 年から現在までに亡くなられたシニアクラブ及び O B に敬意を表し追悼の意を捧げる

ため、物故会員の顔写真と氏名、卒業年度、享年をスクリーンに映し出し、影アナウンスで読み上げ黙禱を捧げます。

【オープニング映像・演出】

④過去の天草太鼓映像を放映して、LOMの伝統を体感して頂きます。映像の終盤には、ドライアイスと音や光による厳粛な空気感を味わって頂くことで、感動を予感させる演出を行います。

⑤天草太鼓推進会の協力を頂き会員も練習を積み重ね、荒々しくも躍動感のある太鼓演奏によるオープニング演出を行います。

■楽 曲：ハイヤ太鼓

楽曲選定理由：記念式典後の誕生祭で、明豊踊友会によるハイヤ踊りの演出に繋がることに加え、天草太鼓推進会としても本年復活した演目でもあることから、代表世話人の大塚貴洋氏と相談して決定しました。

【セレモニー】

⑥大舞台に慣れた経験豊かな会員によるセレモニーを行います。

【創立50周年記念映像】

⑦50年前から現在に至るまでの天草に関する画像や映像だけでなく、これまでの当青年会議所の歩みを振り返る画像や映像も収集して作成する。

⑧映像は自然豊かな天草と青年会議所の歴史や伝統を感じて頂く融合をコンセプトとして、絵巻物をイメージした画像背景を作成し、これまでの事業風景や歴代理事長の顔写真も活用して、映像と会場の臨場感を表します。

【理事長挨拶】

⑨記念映像との融合による登場演出を行うため、服装を和装で行ってまいります。

【来賓祝辞】

⑩4分×3名の御来賓に祝辞依頼を実施する。また、祝辞依頼先は、下記の3名に行ないます。

■熊本県知事 樺島郁夫氏

■天草市長 安田公寛氏

■公益社団法人日本青年会議所 九州地区協議会会長 岡田憲明君

【実施報告】

■天草市著う 安田公寛氏

■公益社団法人日本青年会議所 会頭 小畑宏介君〔ビデオレター〕

【祝電披露】

⑪多数のご祝辞を頂戴した場合には、執行部で厳選した一通を司会者が朗読し、残りは大ホール出入り口に掲示する。

【スポンサーJC感謝状贈呈】

- ⑫式次第のデータ資料に一般社団法人熊本青年会議所に関する画像を取り入れると共に、理事長に感謝状内容を作成して頂きます。

【歴代理事長感謝状贈呈】

- ⑬第 41 代から第 50 代理事長の年度別事業画像を映像化して、3 分間で紹介すると共に、映像に合わせた司会者のアナウンスにより、ステージに登壇頂きます。

- ⑭歴代理事長の残された功績に感謝と敬意を表した感謝状内容を理事長に作成して頂き、10 分間で感謝状を贈呈する。

- ⑮歴代理事長を代表して、第 41 代理事長の下田昇一郎先輩よりご挨拶を頂きます。

【未来へ繋ぐ「あまくさ運動指針」の発表】

- ⑯未来への覚悟と決意を発表するため、会員全員の登壇で迫力感を演出する中、ステージ中央で実行委員長に発表を行ってまいります。

5. 成 果

(対 外)

- ①天草太鼓推進会の演出や式典中の創立から 50 年間の映像によって、引き継がれている先輩たちの思いが感じられたことにより、当青年会議所の運動・活動を認識して頂いた。

(対 内)

- ①準備やリハーサルから本番に至るまで、みんなで関わり、本番の運動指針の発表を多くの参列者の前でできたことは、天草とともに歩み続けた 50 年間の歴史とこれからの未来に歩む気概と覚悟を対外に広く発信することはできた。

6. 引 継 事 項

【リハーサル】

- ①本番までは余裕をもってリハーサル日を設定して、変更に対応できるようにする。

- ②多くのメンバーが参加できる日程を選定して、式典の全体を把握して頂く。

- ③リハーサルがスムーズに進行するために、メンバー分の資料を用意してください。

【映像】

- ④画像提供依頼については、データの細かい受け渡し方法を指定した方が良いです。

- ⑤映像絵コンテや、詳細を何度も打ち合わせを行ったほうが良いです。

【演出】

- ⑥外部協力者とは、前日までにしっかり打ち合わせやリハーサルを行い、当日の打ち合わせは無くても良いくらいまで仕上げた方が良いです。

⑦ドライアイスを使用する場合は、最終確認を必ず行ってください。

【会場】

⑧開場時間のドアオープン、クローズを徹底した方が良いです。(まだ会場または舞台の準備が整っていない場合、見苦しくもあり、来場者に対してアテンドがしにくくなります。) よって、ドア付近には高齢者のためにパイプイス等の準備を行ってください。

⑨来賓が来場されるタイミングが重なる場合がありますので、アテンド担当の人数を多めにしてください。(今回は3名でしたが4～5名が適当)

⑩歴代理事長やOB・シニアがより多く出席して頂けるように、OB・シニア・歴代理事長全員分の座席札を用意することを勧めます。

⑪ブロック名・LOM名を印刷した下げ札を用意し、着席がスムーズに行くようにしてください。

【ステージ】

⑫演題や花代の出し入れも練習を行い、来場者の失礼にならないように、決して客席に向かって背を向けないようにする。

⑬司会者バックパネルは今後も使用を勧めます。

【受付】

⑭受付に貼る来賓受付・来訪JC受付・OB受付の表示などは、高い位置に貼るようにしてください。

⑮出席予定者人数にもよるが、今回のような周年を行う際は、①熊本ブロック協議会内来訪JC ②九州地区内来訪JC ③卒業されたJC関係者に分け、日本JC役員が出席予定の場合は来賓と同じ受付場所の方が良いと思います。

⑯受付と会場整理、ステージ担当スタッフがシュミレーションを行い、短時間に来場者情報が伝わるようにリハーサルを行ってください。

【総合】

⑰記念式典・大懇親会が同日開催の場合、部会の事前準備や部会間の調整を密に行い、セクションごとのリハーサルを実施することで、同日開催の部会に人員を取られることなくスムーズな運営ができます。定期的に部会間の調整や進捗具合の連絡を徹底的に行ってください。

【予算】

⑱天草市民センターなどを会場として、使用する場合は天草市民センター側から、一括見積もり・一括請求書なので、予算書を作成する場合は一括記載を行い、詳細を参考資料で添付し

た方が良いと思います。

記念式典部会

回数	開催日	諸会議名	開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2012. 8. 24	記念式典部会	ゆいはん	年間スケジュール・式典計画	11名	7名	64%
2	2012. 10. 6	記念式典部会	ゆいはん	年間スケジュール・式典計画	11名	5名	45%
3	2012. 10. 30	記念式典部会	J C会館	年間スケジュール・式典計画	11名	5名	45%
4	2012. 11. 24	記念式典部会	エムズ事務所	年間スケジュール・式典計画	11名	6名	55%
5	2012. 11. 29	記念式典部会	エムズ事務所	式典企画	11名	6名	55%
6	2012. 12. 6	記念式典部会	エムズ事務所	式典企画	11名	4名	36%
7	2012. 12. 16	記念式典部会	ゆいはん	式典企画	11名	6名	55%
8	2012. 12. 26	記念式典部会	J C会館	式典企画	11名	5名	45%
9	2013. 1. 10	記念式典部会	J C会館	式典企画	11名	5名	45%
10	2013. 1. 28	記念式典部会	J C会館	式典企画	11名	5名	45%
11	2013. 2. 4	記念式典部会	J C会館	式典企画	11名	8名	73%
12	2013. 2. 18	記念式典部会	J C会館	式典企画	11名	8名	73%
13	2013. 6. 4	記念式典部会	J C会館	式典準備・詳細打ち合わせ	11名	6名	55%
14	2013. 6. 5	記念式典部会	J C会館	式典準備・詳細打ち合わせ	11名	8名	73%
15	2013. 6. 12	記念式典部会	J C会館	式典準備・詳細打ち合わせ	11名	9名	82%
16	2013. 7. 4	記念式典部会	J C会館	式典準備・詳細打ち合わせ	11名	10名	91%
17	2013. 9. 10	記念式典部会	J C会館	記念式典報告	11名	7名	64%

■大懇親会部会 部会長：吉本雅弘

副部会長：池田正志

X. 事業名：【天草満載「創立50周年バースデー祝賀会」の開催】

1. 事業目的

(対 外)

これまで支えてきていただいた方々に感謝の気持ちを込めて、天草満載のおもてなしで天草の素晴らしさを感じていただくと共に、心地よいひとときを過ごし楽しんで頂きます。また、参加していただいた方々が互いに語り合いさらなる交流を図る機会を設けることを目的とする。

(対 内)

メンバーが一堂に介して祝賀会を行うことで、当青年会議所の素晴らしさを再認識していただくこと。また、今後のJC活動に向けて意識を高め、積極的な参画に繋げてもらうと共にメンバー同士の絆を育むことを目的とする。

2. 実施日時・場所

実施日時

【50周年 誕生祭】

○予定

開催日：2013年7月6日(土)

開催時間：17:15(受付)

18:00(開会)

20:15(閉会)

○実施

開催日：2013年7月6日(土)

開催時間：17:55(受付)

18:40(開会)

20:55(閉会)

実施場所

会 場：本渡茂木根海水浴場(旧イルカワールド横駐車場)

住 所：熊本県天草市本渡町広瀬

【雨天時】

会 場：本渡茂木根海水浴場(旧イルカワールド横駐車場)

レイアウトを変更。テントを使用し行う。

住 所：熊本県天草市本渡町広瀬

3. 参加人員

【参加員数報告 事業当日】

実績

(外部)	公益社団法人日本青年会議所 会頭	
	九州地区 77LOM理事長	
	公益社団法人日本青年会議所九州地区	2名
	役員	
	公益社団法人日本青年会議所九州地区熊	12名
	本ブロック 役員	
	熊本ブロック 12LOMメンバー	139名
	一般社団法人名寄青年会議所メンバー	17名
	一般社団法人名寄青年会議所メンバーシ	12名
	ニアクラブ会員	
	シニアクラブ会員	45名
	関係各種団体	9名
	メンバーの家族	16名

合 計 54名

(内部)	役員	24名
	メンバー	29名
	(内、部会)	9名
	事務局員	1名
	合 計	54名
	総 計	306名

4. 事業内容

【ウエルカムタイム】

(1) 地引網にて天草の伝統文化を感じていただき、獲れたてぴちぴちの魚介類をその場で食していただく。

【オープニング演出】

(2) 共に地域で活動をしている上天草の歴史と由緒ある郷土芸能を鑑賞していただく。

【ステージ演出】

(3) 上天草・本渡、天草各地域の郷土芸能でステージを演出し、明豊躍友会と天草南風凜風会で会場を盛り上げる。

(4) 50周年PRマークケーキを用いて参加者全員で天草本渡青年会議所の誕生年を祝う。

【食材・料理】

(5) 天草で未来の食材として取り組んでいるオリーブと天空マグロを食していただく。

(6) 目を引くような演出で食材を調理し、来ていただいた方々に見て楽しんでいただけるように料理を振舞う。

【その他】

(7) 会場を屋外で行い開放感溢れる天草らしさ漂う雰囲気の中で最高の懇親会を演出する。

(8) 参加していただいた方々が少しでも多くの時間を共有し、語り合い交流を図っていただくために歓談の時間をしっかりと作る。

(9) メンバーの奥様に協力を依頼し、天草でしか味わえない郷土料理をブースにて調理していただき振る舞ってもらう。

5. 成 果

(対 外)

①天草の郷土料理から最高級食材、また郷土芸能や地引網などの伝統文化を鑑賞していただき天草を満喫していただく事が出来た。さらに、浜辺で時の流れを感じていただく事で心地よいひと時を過ごしていただき歓談時間を多く設けたことで参加していただいた方々同士の交流を図る機会をつくる事が出来た。

(対 内)

- ①シニアクラブの先輩や各地LOMのメンバー大勢の方々に来ていただき交流を図ることで青年会議所の素晴らしさを感じていただく事が出来た。また、各ブースや役割を担当する中でメンバー同士の絆を育むことが出来た。

6. 引継事項

【予算について】

- ①屋外開催になりますと想定出来ない出来事が起こりかねます。予備費は多めにとり予算組みをしてください。
- ②業者・設営者それぞれに話し合いを進めていましたが、早い段階で業者と設営者との打ち合わせの機会を設けより綿密に話し合いを行い予算組みしてください。
- ③竹箸を箸袋（小山理事長のおもてなしの言葉を添えて）にお包みしお越しいただいた方々にお渡ししました。演出にも細部にこだわったおもてなしの配慮をしっかりと行い部会で協議してください。
- ④外部にてお借りするテーブルも事前に確認をして、テーブルクロスなどを使用する際はしっかりと事前に判断するようにしてください。
- ⑤保険料について当日はキャンセルが出たりするなど流動的になりますので見込みでの予算立てをお願いいたします。また、遅くても締切日を事業実施前々日までにしていただき申込みをお願いいたします。当日参加される方については保険対象外になることの告知をしっかりとしてください。
- ⑥バーベキューコンロを片づける際は火の元の確認をしっかりと行い撤去作業を行ってください。
- ⑦トラックのカギは複数の人間が扱くと紛失する可能性があります。トラックにつけばなしにするか一つの場所に置き管理するようにしてください。また、テーブルクロスを使用した場合にはシニアクラブの先輩のお店でクリーニングし返却をお願いします。
- ⑧海の近くで懇親会を行うと海に飛び込む方や海に投げ込む方も出てきます。飲酒をされている方などの配慮は十分に行い、海に飛び込ませないように注意を促してください。
- ⑨屋外にてテントを組む際には、早い段階で土嚢を作成し一つ一つのテントを張る際に土嚢の使用をし風で飛ばないようにしてください。
- ⑩土曜日開催する際は日曜日でもゴミ処理していただける業者がありますのでご利用ください。

⑪予算の関係上、業者に無理を言ってお願いした部分もあり、打ち合わせ内容が何度か変更になり内容の食い違いが発生しました。汲み取り料金やガソリン代などの費用はしっかりと打ち合わせをしてください。

⑫記念品のタオルを見て、懇親会費の支払いの判断をしていましたが、車に忘れる方、身に着けていない方がいらっしまったので不確定な部分もありタオルでの管理が大変でした。作成する際には本会計の事業費にて多めに発注をし、全て管理するようにすれば良かったと思います。

【準備】

⑬同じ備品を複数の場所で借りる際には目印なるものをつける、もしくは担当者をきっちり決めるなど管理を徹底するようにしてください。返却の際に大変困ります。

⑭トラックは荷物の量をしっかりと把握し、出来る限り数日間積んだままに出来るようにトラックの手配をしてください。備品の確認をしっかりと行いトラックの台数の確保をすれば片づけもスムーズに行えます。

【受付】

⑮受付での備品の最終確認を怠り、備品が届いてない状態で入場を受付してしまったので、備品の置き場所を一つに決めておく事や、備品担当係りを決め確認を行うようにしてください。

⑯締切日を設定してありましたが実際入金遅いLOMなどもありました。再度、各LOMや団体に呼びかけをしっかりと行い当日入金のない仕組み作りを行ってください。

⑰多数の人間が入り出る場所はカラーコーンなどを使い、人の流れを一つに絞り少人数で管理出来るように設営をお願いいたします。

⑱周年で懇親会を行う際には事業名に必ず大懇親会と言う表記をしてください。

⑲My箸を事前に案内し、持って来られていない方にはNBNの募金を行い、竹箸を提供させていただきましたが、周知不足が否めなかったため、何度も繰り返しアナウンスを行うようにしてください。

■NBN募金総額 59,438円

⑳地引網も受付と現場担当者との連携が取れておらず、参加者にご迷惑をかけてしまったので今後は引き受け基準もしっかりと決めておき、臨機応変に対応できるようにしてください。

㉑進入路、出口の整備がしっかりと行われておらず混雑を招く結果となりお待たせする人がいました。事前にタクシー会社や代行業者に連絡を入れ、常に車を待機させたり、タクシーの待機場所やルートをこちらで整備し対応をお願いします。

②事前に式典受付の際に日本JC役員・地区役員・来賓などの方々に入場許可証をお渡ししましたが、お忘れになる方もいらっしゃいました。事前に入場許可証を案内と一緒に送付するなど、お渡しする方法にも工夫をしてください。また、臨機応変に対応できる部分がおもてなしに繋がることもあります。出向歴の長いメンバーや来賓者をよく知っているメンバーを入口に一人配置するなどご検討下さい。

【スペシャルイベント地引網】

③地引網をする際には、当日魚の処分に困ったので参加者全員に配ったりするなどの処理を検討ください。また、今回はブリミーさんにご協力いただきましたが、魚をさばくのには人手がかかるのとスペースが必要になるのでご検討ください。

④当日の事業の終了時間の変更などに臨機応変に対応出来るタイムスケジュールを検討し、イベント（地引網とマグロ解体ショー）の時間帯が重ならないように対応してください。

【理事長登壇の馬】

⑤記念誌の表紙に合わせてシニアクラブの先輩の協力をいただき馬の作成を行いました。アイデアが良かったなどのお声もいただきました。次回も趣向を凝らした理事長登壇の演出をお願いします。

【懇親会時】

⑥料理の提供時間と会場のスタートの時間などは流動的になります。状況に応じて臨機応変に対応してください。

⑦常設トイレの使用時間とトイレの電気の使用時間の確認が必要でした。また、仮設トイレを使用する際は男女分けて使用するようにしてください。何度かこちらからご案内している注意事項が伝わっていないところがありました。注意事項は繰り返しアナウンスを行うようにお願いいたします。

⑧今回、喫煙場所を設けましたが屋外で喫煙する場合には必要ないと感じました。次回、屋外で行われる場合は喫煙場所については要検討してください。

⑨事前にブースの食材の調理や地引網などリハーサルを行ってしっかりと役割分担を行ってください。また、リハーサルをするのであれば予算についても検討してみてください。

⑩ステージから離れている方にはステージ演出が遠くて見えないケースもありました。会場中央にモニターを設置してステージを映してみるのも良いかと思えます。参考にしてください。

⑪雨天用・雨よけ用に建てたテントに照明が行き届いていなかったため、各テントに最低一つは照明をつけてください。

⑫お肉料理を提供する際、割り当て数を決めるもしくはこちらから決まった量をお配りするなど、事前に提供する量を決めておくこととブース前の混雑やメニューに偏らずバランスよく提供

できます。次回開催の際にご検討ください。

【託児所】

- ③③アレグリアにしっかりと用途の変更点などしっかりと伝え外部業者や外部団体ともコンセンサスをはかってください。
- ③④託児所での食事は懇親会のメニューをそのまま運び、保育士さん子どもたちに食べていただきました。懇親会でのメニューを使用しない場合は、別途弁当などの予算計上なども忘れず考慮してください。

【エンディング演出】

- ③⑤今回はメンバーの協力を得て、特別なプロジェクターを用いてステージやテントをスクリーン替わりにし映像を映し出す演出を行いました。「映像で終わる懇親会は珍しい。」「すごい。」「よかった。」などの声をたくさんいただきました。その時代にあった最高の演出があると思います。部会でしっかりと協議しおもてなしの心で感動の演出を作ってください。

【その他】

- ③⑥テーブルの上に食べ残しが多くみられましたので、日本の大会でも行っているように自分たちで食べたものを片付けるや食べ残しのないように OTONANOSENKA 運動にご協力を促すアナウンスを繰り返し行うスタイルなども今後ご検討ください。
- ③⑦備品や借入物に破損・汚損が見られました。会場に設営している備品などレイアウトを勝手に変更するなど使用目的以外のことで使わないようにお願いします。
- ③⑧席次表は今回使用しませんでした。次回行う際には必要かどうか部会にてしっかりと協議してください。また、個人名で全ての席を用意するのではなく各テーブルに「来賓」や「LOM名」などの括りでテーブル分けをすると当日の人員変更などにも対応できますのでご検討ください。
- ③⑨奥様会（なでしこ会）には次回もぜひ協力依頼をしてほしい。
- ④⑩今後、懇親会を行う際には屋内か屋外が部会でしっかりと協議して行ってください。
- ④⑪食器は給食センターにて学校が廃校になり未使用の食器を使いました。食器を洗うために人と時間と場所を要します。部会にて協議の上、次回の参考にしてください。
- ④⑫名寄青年会議所よりブース出展をいただいたおかげで食材が足り予算も余剰金が出ました。今後も名寄さんがブースを出していただけることが想定されますので、事前に打ち合わせを行い、メニュー構成を考える際に参考にしてください。
- ④⑬次回開催の際には歴代事務局員・現事務局員をゲストとして招待していただくようにお声かけをお願いします。

- ④④記念品タオルを入場許可証として、また会場の一体感を作り出す目的でタオルを作成しましたが、タオルをもっていない方で入場料を払っている方などもいたため、管理が大変でした。次回開催の際にはネームプレートのような入場許可証を作成してください。
- ④⑤部会や一部の人間だけのリハーサルではなく、全体の流れのリハーサルやメニュー料理の調理のリハーサルなどが必要でした。リハーサルを行えるだけの食材の予算も組んでおくようにご検討ください。また、設営・ウエイトレス・料理ブース・ステージなどの部会ごとの打ち合わせも行ってください。
- ④⑥全てのメンバーに全ての事業に参加していただくためには式典と懇親会での間の時間が短く感じました。式典を最終日にするか、時間の間隔を2時間以上開けるようにしたほうが良いと感じました。
- ④⑦式典会場から懇親会会場への移動については移動手段のない方も多数いました。徒歩で対応できない場合はピストン専用のバスなども必要ではないかと思えます。ご検討ください。
- ④⑧今回の会場は搬入通路が狭く予定外の車もあったため、外部団体、業者の運搬がスムーズに行えなかったところがありました。運搬業者搬入マニュアルを作成し役割分担を行いスムーズな運営をお願いします。
- ④⑨今回は飲み物だけを先に提供し、懇親会開会後に料理を提供するように準備していました。その場合は軽食程度のものを準備し提供すればよりおもてなしの部分で喜んでいただけたのではないかと感じましたので料理を提供するタイミングをしっかりと決めておいてください。
- ④⑩食材の量については全体での料理は余分に残ることなく提供できました。しかし、肉料理に偏り、地引網で獲れた魚や魚料理・刺身・ご飯類が少し残りました。
- ④⑪今回は、天草南風凜風会および上天草合津獅子舞に源泉徴収税を予算計上しお支払いいたしました。今後依頼をする際には必要がないとの事でした。予算を組む際には外部団体に源泉徴収税の必要の有無の確認をお願いいたします。

大懇親会部会開催報告

回数	開催日	諸会議名	開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2012. 10. 18	大懇親会部会	J C 会館	大懇親会について	4 名	6 名	40%
2	2012. 11. 12	大懇親会部会	肉まる亭	大懇親会開催場所について	4 名	6 名	40%
3	2012. 12. 10	大懇親会部会	J C 会館	大懇親会について	3 名	7 名	30%
4	2013. 1. 29	大懇親会部会	J C 会館	大懇親会について	4 名	6 名	40%
5	2013. 2. 12	大懇親会部会	J C 会館	大懇親会について	3 名	7 名	30%
6	2013. 2. 23	大懇親会部会	肉まる亭	大懇親会について	4 名	6 名	40%
7	2013. 3. 8	大懇親会部会	J C 会館	大懇親会について	3 名	7 名	30%
8	2013. 3. 23	大懇親会部会	J C 会館	奥様会について	4 名	7 名	36%

9	2013. 4. 3	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
10	2013. 4. 4	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	2名	9名	18%
11	2013. 4. 28	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
12	2013. 4. 29	大懇親会部会	やまもと	大懇親会について	4名	7名	36%
13	2013. 5. 13	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
14	2013. 5. 30	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
15	2013. 6. 19	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
16	2013. 6. 22	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	3名	8名	27%
17	2013. 7. 1	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	4名	7名	36%
18	2013. 7. 2	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	5名	6名	45%
19	2013. 7. 3	大懇親会部会	J C会館	大懇親会について	4名	7名	36%
20	2013. 7. 8	大懇親会部会	J C会館	大懇親会片づけ	2名	9名	18%
21	2013. 8. 28	大懇親会部会	J C会館	事業報告書について	5名	6名	45%
22	2013. 9. 22	大懇親会部会	J C会館	事業報告書について	3名	8名	27%
23	2013. 10. 1	大懇親会部会	J C会館	事業報告書について	4名	7名	36%

■ 記念事業部会 部会長：松岡大輔
副部会長：尾崎友彦

XI. 事業名：【天草の未来が夢と希望で満ち溢れる記念事業の開催パートⅠ】

1. 事業目的

(対 外)

郷土天草の島民ひとり一人が活気あるまちを創る為に天草の未来に夢と希望を持って新たな一歩を踏み出していこうとする気持ちを持ってもらう事を目的とする。

(対 内)

メンバーひとり一人が50年活動してきた郷土天草に感謝し、これからも青少年の育成、そして地域の発展に率先して取り組んでいくのは我々天草本渡青年年会議所だという強い使命感と未来を想う魂(こころ)も持って行動していただく事を目的とする。

2. 実施日時・場所

実施日時

【創立50周年記念大会 記念事業 基調講演会

「夢と出会いが力に…」～チームワークとコミュニケーション～】

2013年7月5日(金) 18時00分 開場(事前申込者)

18時30分 開場(当日来場者)

19時00分開始 21時06分終了

実施場所

天草市民センター大ホール

〒863-0033 熊本県天草市東町3番地

TEL 0969-22-4125 FAX 0969-22-5475

3. 参加人員

(外部) ①一般来場者	(事前申込者)	423名
	(当日来場者)	107名
②その他 内訳	(青年会議所関係)	19名
	(天草本渡青年会議所シニアクラブ会員)	18名
	(来賓)	12名
	(協賛各社)	30名
	(一般社団法人名寄青年会議所 会員)	18名
	合 計	627名

(内部)	理事・役員	19名
	メンバー	21名
	事務局員	1名
	大懇親会準備	7名
	合 計	48名

4. 事業内容

【目的達成の為の手法説明】

①講演内容は「目標達成へのプロセス」や「人材の育成や活用の極意」などを踏まえて講演い

ただき、会場内の聴衆の方々を一步踏み出そうとする前向きな気持ちへと導く。

- ②講演中の演出で映像と音楽を交えながら会場内を感動と熱気で聴衆の心を掴み、夢を達成することの素晴らしさを感じてもらう。
- ③講演終了後に5分程度時間を設け、入場者全員に今考える「夢」「希望」「目標」を想像していただく。
- ④想像した「夢」などを数名壇上に登り発表して頂く。発表者には記念品（サイン入りマスクとボール）をプレゼントする。
- ⑤講演会終了後はロビーにて全員で来場者へ挨拶し、50年の感謝とこれからの気概を伝える。
- ⑥無記名にて当日アンケートを記入していただき青年会議所のPRを行うと共に、この講演会で感じた事や想像した夢や希望を記載してもらい、目的達成の検証を行う。

【運営の手法】

- ①天草島民の目に付きやすい告知を行い、写真やフレーズで興味付けを行う。
- ②郷土への感謝の目的から入場料は無料に設定するが、往復ハガキにて事前申込を行う。申込人数1枚あたり2名までとし、氏名・性別・住所・電話番号等を記載してもらい、抽選にて入場者を選定する。入場ハガキ又は抽選もれハガキを全ての参加希望者に返信ハガキにて返信する。
- ③開場時間を分けて、事前申込時間と当日申込時間（空席有りの場合）することで、会場内を満席にして、たくさんの島民に聴衆していただく。
- ④会場に入らないほどの入場者が来場した場合は、展示ホールを開放し、スクリーンでの聴衆を行う。

5. 成 果

（対 外）

- ①当日アンケートの「新たな一步を踏み出そうという気持ちを感じる事が出来ましたか」の問いで「十分感じる事出来た」と答えた方が86%、「まあまあ感じる事が出来た」と答えた方が13%と合わせて99%の方が感じていただけました。

（対 内）

- ①郷土天草への感謝を形にするために参加費無料の講演会を開催し、ポスター・チラシ配布の告知段階からたくさんの島民の方々に「ありがとう」や「よく呼んでくれたね」などお声掛けを頂いたと数多くのメンバーより話を聞きました。地域の発展に取り組んでいく事を体感してもらい、強い使命感と未来を想う魂（こころ）を感じていただけたと考えます。

6. 引継事項

【予算面】

- ①事業費を協賛金で確保しようとするならば、先輩方にご相談の方が良い。現役を応援したいと考えていらっしゃる先輩方が数多くいらっしゃる。また、不公平にならないように一斉に収集のご案内を行い、個別に相談に伺えば良いと思う。但し、予定以上の協賛金が集まった場合の扱い方を事前に協議しておく必要があると思います。
- ②討議・協議・審議と議案を協議していく中に予算変更は必ずあります。その都度修正していかなければ、審議後に気付くと修正予算や補正予算を行わなければならないので十分に注意して下さい。
- ③天草市民センターを借用する際に会場使用料や冷房使用料は準備時間の使用料は必要なく来場者が入ってから使用料の支払いとなりました。また備品使用料を個別に計画していたが、請求の際は大会場器具等使用料と一括請求となり、予算の適用欄変更となり補正予算をする事となった。また、講師入場曲のイントロが長かったために会場の音響担当者に修正していただくこととなった。事前に訪問し、担当者に確認をした上で予算作成をされた方が間違いは少ないと思います。
- ④講師との会食が講演日直前に開催可能となり、宿泊先に1泊2食付から1泊朝食付に変更し料金に差異が生じ、別途食事代を計上しました。また、記念品代の予算計上を失念していたために補正予算で対応することとなりました。講師に正確に希望を伝え、綿密な打ち合わせと予算立ての見直しを行う事が重要です。
- ⑤入場曲をレンタルCDで流したが、CDが旧譜の為に安価になり差異が生じました。次回、使用する際は事前に確認をしていた方が良いと思います。
- ⑥協賛金収集を行ったが、協賛金の金額は十分に検討して判断して下さい。企業によっては「1口¥5,000は高い」と言われた。また、協賛金という名目ではなく、広告協力金という名目で領収書を発行してほしいという企業が数社ありましたので、参考にして下さい。依頼に伺った担当者が講演内容や重要事項を正確に認識しておらず、再訪問する機会があったので、訪問するには代表としていくという自覚を持ち、キチンと事業に対する思いを伝えなければ収集は難しいのでメンバーへの落とし込みを十分に行って下さい

【準備面】

- ①往復ハガキによる募集方法は、予算面・運営面で非常に有効な手法と考えます。予算面においては来場希望者が各々往復ハガキを購入し申し込まれるので、返信用の印刷代のみの予算で行う事が出来ました。運営面においては全ての申込者に返信ハガキを郵送しましたので、時間を掛けずにこちらの意図を文面に記載したものが手元に確実に届くので問い合わせなどは少なかったと考えます。しかし、「返信ハガキが届かない」という苦情が1点来ましたが、こちらの見解は「ご自身で書かれた住所に返信したので希望の住所に届いていると思います」と答えました。最終的にはNO・氏名を確認して入場していただくよう計画していました。けれども、応募する側からすると往復ハガキは手間が掛かるので参加意欲が低下するみたい

です。応募が殺到する程の講演会ならば再度使用する事もお勧めしますが、FAXやHP等を使ったWEB申し込みなど様々な手法がありますのでご検討下さい。

- ②事業を開催するにあたりリハーサルは必ず必要です。今回は記念式典と同日開催を計画しましたが、各々の準備・考えがありますので、それぞれでリハーサルを計画した方が良いと思います。
- ③協賛企業への依頼文・御礼文の枚数や入場ハガキの印刷代の失念など印刷関連で印刷代に差異が発生したことが多かった。計画時に綿密な計画を立てれば差異が発生することは少ないのでご検討下さい。
- ④参加促進の第一はポスター・チラシと考えます。告知内容として、講演会の希少さが伝われば、参加促進はより図れると思いますので、時間をたくさん使って検討して下さい
- ⑤講演会の告知と天草本渡青年会議所の50年を知って頂く事を考え、新聞折り込みを行っても良かったかと思えます。次回、ご検討下さい。

【運営面】

- ①移動手段に空路を使用する場合は欠航の可能性を十分に考えて予算立てをした方が良い。また、講師が多忙の場合は直前まで出発地や目的地、交通手段などに変更があるので、不足にならない予算立てと綿密な打ち合わせが必要となります。
- ②島民への感謝の気持ちを形にしたい想いと講師側からの依頼より今回参加費無料で企画致しましたが、事前に申し込みを頂いた方で60名の当日欠席者がいました。予算の面や当日欠席数を考慮して参加費を徴収する事もご検討下さい。
- ③契約書を交わす際は出来るだけ多くのメンバーに目を通していただき、不備やおかしな点が無い事を十分に確認してから捺印するよう心掛けて下さい。また、契約書や旅券など重要な書類を郵送する際は簡易書留を使用した方が保証があり安心と考えますのでご検討下さい。
- ④メンバー控室や臨時託児所を準備しましたが、使用時間が計画時より短時間となったために冷房使用料に差異が生じたり、託児所利用者が計画時より少なく保育士の数を削減した為に派遣料に差異が生じたりしました。しかし、どちらも必要な予算ではあるので綿密に計画を詰め差異が出ないようにするのが望ましいと思います。
- ⑤計画時は大ホール・展示ホールが満席で立ち見もある可能性があると考え、当日配布冊子を1,000枚で計上していたが、事前申込の時点で満席にならなかったため100部減らし900部で作成したため差異が発生しました。計画を立てるという事は理想を描くという事です。事業が理想通りに進むことは大変素晴らしい事ですので、理想に近づくように最大限の努力をして下さい。

- ⑥シニアクラブの先輩方から締切日を設けていたが、前日・当日になって空席の問い合わせが相次ぎ、開演直前まで対応に追われました。島民と同じ立ち位置で考えて事業を組み立てましたが、多少のトラブルもありましたので、十分に検討して参加依頼を行って下さい。また、受付を設置するならば、シニアクラブの列を一例設けるとスムーズになるかと思しますのでご検討下さい。
- ⑦講演会では携帯電話やカメラでの撮影を規制することは義務ですので、司会や警備担当者としてしっかり打ち合わせを行い、繰り返し案内して下さい。気分を害したり、契約違反になったりしますので十分に気を付けて下さい。
- ⑧サインボールプレゼントに想定以上の希望者が募り、時間が掛かり進行に支障をきたしました。最大限の予想をした上で計画をし、いかなる事態も円滑に運営するように心がけて下さい。

XII. 事業名：【天草の未来が夢と希望で満ち溢れる記念事業の開催パートⅡ】

1. 事業目的

(対 外)

地域の方々に天草本渡青年会議所の歴史と50周年を知っていただくと共に50年の感謝を伝え、地域の活性と交流を促進する事を目的とする。

(対 内)

いつの時代も率先して地域を盛り上げてきた先輩方の偉大さと50年の歴史を感じ、これからもまちを引っ張っていくという使命感を持たせ、地域への感謝の気持ちを持ってもらう事を目的とする。

2. 実施日時・場所

実施日時

2013年8月10日(土)	18時00分	参加者集合 受付開始
	18時30分	開会式
	18時45分	綱引き競技開始
	20時10分	綱引き大会終了
	20時15分	表彰式
	20時30分	餅投げ
	20時50分	終了 片付けへ
	21時50分	全行程終了

実施場所

本渡中央銀天街 アーケード内

Aコート(木山薬局～夢屋まつおか)

Bコート(阿波屋～まるいストアー)

大会本部・表彰式・餅投げ会場(スマイルパーク)

3. 参加人員

(外部) ①綱引参加チーム(一般男子の部10名)	12チーム	80名
(男女混合の部10名)	12チーム	100名
(小学生の部(男女混合))	12チーム	28名
餅投げ参加者		多数
歴代理事長		16名
本渡中央商店街 振興組合メンバー(司会者含む)		3名

(内部)

理事・役員	24名
メンバー	13名
合計	37名

4. 事業内容

①ポスターや事業当日のアナウンスの言葉の中などに40年前に行っていた綱引大会を彷彿させ

る言葉や画像を用いて地域の方々に天草本渡青年会議所の歴史を感じて頂く。

- ②50周年記念事業としての綱引大会で賞金や賞品、餅投げを行い地域の方々に感謝を伝えると共に、本年が天草本渡青年会議所が50周年だという事を周知する。
- ③綱引参加チームを職場や団体などの10名毎に設ける事で、各チーム内の交流が促進される。また、フェアプレイ精神をアナウンスの言葉等に用いてチーム同士の交流の促進も図る。
- ④40年前の資料を元に事業を構築し、メンバーリハーサルなどを行いながら当時の先輩方の思いを肌で感じてもらう。その気持ちを持って事業当日へ向かう事で事業への熱気が更に高まる。
- ⑤餅投げには歴代理事長に出席してもらう事で、理事長それぞれの地域への思いと感謝を餅に込めて投げて頂く。その様を見て現役の更なる躍進へと繋げる。

5. 成 果

(対 外)

- ①40年前のポスターデザインを使用して告知ポスターを作製したので、地域住民の方々から懐かしいという声を多数いただき、天草本渡の歴史を感じていただく事が出来た。また、新聞折り込みを行ったので、不特定多数の方にこのチラシもお見せすることが出来、たくさんの方々に50周年を認知していただいたと考えます。
- ②チャーターメンバーである宮部先輩にもお越しいただき、50年前の立ち上げの想いと50年間の感謝の言葉を餅投げ前に挨拶していただき、地域住民の皆さま方に感謝を伝えた。また、理事長・部会長の挨拶や説明の際も必ず「50年間の感謝」という言葉を発し、綱引き参加者や観覧者、餅投げ参加者に「ありがとうございました」の想いを伝える事が出来た。
- ③残念ながら表彰式・餅投げに参加されなかった綱引きチームもあったが、銀天街周辺で懇親会を行っているチームが多数あり、また表彰式参加チームも、その後懇親会を行うなど、地域活性と交流の一助になったのではないかと考えます。

(対 内)

- ①40年前、先輩方が行っていた綱引き大会の写真と同じように、参加者だけでなく、たくさんのメンバーの笑顔が見られ、まちを盛り上げる、まちを引っ張っていくという使命感を感じていただけたのではないかと考えます。また、感謝の気持ちを伝えた餅投げ時も積極的且つ楽しそうに行うメンバーの姿を見た時は、この事業を通してまちづくり、ひとつづくりの魅力を感じていただけたのではないかと考えます。

6. 引 継 事 項

【予算面】

- ①参加費を徴収する場合、チーム数により収入に差異が生じます。今回は参加費が少額だった為大きな問題にはなりませんでした。参加費で事業の大部分の運営を行う場合は計画時

のチームエントリーをしなければ運営に支障をきたしますので、参加費徴収及び参加募集の際は十分に検討して予算立てをして下さい。

- ②借用関係や依頼関係で初めて行う事業はなかなか趣旨が伝わりにくい部分があります。今回は訪問・手渡しで依頼や御礼を行いましたので、補正予算を組む事となりました。計画時にそこまでイメージした計画を立てる事ができれば問題ありませんのでご検討下さい。
- ③国際交流会館ポルト3Fを計画時は準備から参加者控室として9時間の予定をしていたが、参加者は控室を使用せず、準備時の3時間のみ使用となった為に差異が発生しました。しかし、遠方からの参加チームや着替え等を考慮すれば控室は必要と思いますので、今後もご検討下さい。
- ④参加人数及びメンバーの参加数が計画時より減少した為に保険料に差異が発生しました。保険料は必ず差異は発生しますし、綱引き大会などには怪我の恐れがありますので必ず計上していただきたいと思います。そして、保険内容について参加チームに説明する資料や場所を考慮していただきたいと思います。今回、餅投げを行いました。餅投げの参加者には保険の適用が出来ませんでした。その旨をポスター・チラシに記載しましたが、事業概要が決定した際に保険会社としっかり協議し、進めていただきたいと思います。
- ⑤協力依頼文・御礼文の印刷代を失念していた為に差異が発生したり、救急箱の確認不足の為に必要な薬品を購入したり、拡声器の電池を購入して差異が発生した。計画時にしっかりと確認・把握して予算立てをして下さい。
- ⑥リハーサルにおいて、アーケードの路面はテープが剥がれやすい事を学び布テープを購入して差異が発生しました。リハーサルを行ったので事業には準備をして臨めたのですが、本来ならば計画時にここまで把握している事が理想と思いますのでご検討ください。

【準備面】

- ⑦今回は綱引き用綱を各学校から借用する為に借用先を複数の学校で計画しましたが、審議後に譲渡していただく事になり、備品借用先を変更しました。信号器や巻尺は各学校複数保有していますので、借用先も一箇所になりますのでご検討下さい。頂いた綱は事務局で保管しますのでご自由にお使い下さい。
- ⑧今回、会場として使用した本渡中央銀天街の振興組合の方とは昨年度より協議をしてきましたが、夜市開催などの話は今年度に入ってから4月より具体化してきましたので、事業計画も協議を1回多く行いました。次年度以降、同じ会場を使用する場合は年度を考慮したスケジュールを立てて下さい。

【運営面】

- ⑨綱引きのルールで勝敗が同数の場合のルールをメンバー間で正確に理解しておらず運営に支障をきたしました。幾つものシミュレーションを行い、誰もが分かるルールの再考をお願いします。また、コート内のラインを作成する際に布テープを使用しました。粘着力は強かつ

たのですが、どうしても競技者が足を擦る場合に外れてしまいました。試合に影響のない両端に張るなどラインの作成は検討する必要があると思います。

- ⑩ 本年は「50年の歴史と感謝」を目的に事業構築してきましたが、次年度以降開催するならば目的が全く変わってきます。地域活性と交流を目的にした事業構築が必要となります。開催場所から考え、賞金の在り方、告知の方法など様々な事を1から考えて構築していただきたいと考えます。
- ⑪ 司会者との打合わせはリハーサル同様必ず必要です。対外の司会者を起用する際は十分な打合わせを行って下さい。
- ⑫ 待機場所を確保しないとメンバーがバラバラになるチームがあります。喫煙所や休憩所も確保出来れば、運営を上手にコントロール出来ると思いますのでご検討下さい。
- ⑬ 会場毎の実況アナウンスは非常に盛り上がりますので、開催する際は是非ご検討頂きたいですが、銀天街の音響を借用する際は、リハーサル時に確認をして下さい。ワイヤレスマイクが離れすぎると音が悪くなりますので対策を講じないといけません。
- ⑭ 臨時駐車場として借用した立正佼成会は 21:30 以降門を閉鎖されますので、借用される際は事前にメンバー・参加者への周知を行って下さい。
- ⑮ 小学生の部の参加促進に苦労しました。本年はナイター陸上大会と重なるなどの事情もありました。まずは他団体の日程を確認した上での事業構築を行うと共に、参加促進の新たな対策や手法が必要不可欠ですのでご検討下さい。夏休み開催となれば、より時間が掛かりますので、夏休みに入る前に参加促進を掛ける必要があります。
- ⑯ 今回は島外のチームが多く参加していただきました。チームの代表者及び代表者の市町名を記載した名簿を添付していますので、次回の告知及び参加促進の際にご活用下さい。
- ⑰ 今回は参加者数は把握していますが、観客数等は把握していません。今後、継続して綱引き事業を行うならば、活性化の賑わいを数字として残していく為に観客数をカウントする役割を設ける事を検討して下さい。
- ⑱ 餅投げを行う際は餅に目が行ってしまい、事故や怪我が起きる可能性があります。今回も子どもと大人を分ける段取りをしていましたが、投げ手への説明が不足し、安全確保する前に餅投げを始めてしまいました。十分な説明と安全対策を確立して開催して下さい。
- ⑲ 今回、餅投げを開催するにあたり、たくさんの協賛を頂きましたが、来場者から考えて、餅ち代の予算が少なすぎました。次回開催するにはもっと予算を確保した方が良いと思います。

。

記念事業部会開催報告

回数	開催日	諸会議名	開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012. 8. 11	記念事業部会	カフェストラ黒船	記念事業パートⅠについて	3名	6名	33%
2	2012. 9. 14	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠについて	3名	6名	33%
3	2012. 10. 15	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠについて	4名	5名	44%
4	2012. 11. 28	記念事業部会	肥後銀行 3F	記念事業パートⅠについて	4名	5名	44%
5	2012. 12. 19	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠについて	3名	6名	33%
6	2013. 1. 21	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠについて	3名	6名	33%
7	2013. 1. 30	記念事業部会	肥後銀行 3F	記念事業パートⅠについて	3名	6名	33%
8	2013. 2. 14	講演会視察	鹿児島県志布志市	佐々木監督講演会の傾聴	1名	8名	11%
9	2013. 2. 27	記念事業部会	肥後銀行 3F	記念事業パートⅠについて	3名	7名	30%
10	2013. 3. 11	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠについて	3名	7名	30%
11	2013. 3. 28	記念事業部会	肥後銀行 3F	記念事業パートⅠ・Ⅱについて	4名	6名	40%
12	2013. 4. 18	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠ・Ⅱについて	3名	7名	30%
13	2013. 4. 26	記念事業部会	肥後銀行 3F	ポスター・チラシについて	3名	7名	30%
14	2013. 5. 7	記念事業部会	J C会館	ポスター掲示について	3名	7名	30%
15	2013. 5. 27	記念事業部会	肥後銀行 3F	募集ハガキについて	4名	6名	40%
16	2013. 6. 13	協賛金会議	J C会館	協賛金について	3名	7名	30%
17	2013. 6. 27	記念事業部会	肥後銀行 3F	ハガキ返信作業	6名	4名	60%
18	2013. 7. 2	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅠ・Ⅱについて	5名	5名	50%
19	2013. 7. 3	記念事業部会	天草市民センター	リハーサル	7名	3名	70%
20	2013. 7. 4	記念事業部会	J C会館	事前準備	8名	2名	80%
21	2013. 7. 10	記念事業部会	J C会館	御礼文及びポスターについて	3名	7名	30%
22	2013. 7. 23	記念事業部会	J C会館	記念事業パートⅡについて	4名	6名	30%
23	2013. 8. 5	記念事業部会	J C会館	備品借用いについて	3名	7名	30%
24	2013. 8. 7	記念事業部会	中央銀天街	リハーサル	5名	5名	50%
25	2013. 8. 9	記念事業部会	J C会館	事前準備	3名	7名	30%
26	2013. 10. 4	記念事業部会	J C会館	記念事業Ⅰ報告について	4名	6名	40%
27	2013. 11. 7	記念事業部会	J C会館	記念事業Ⅱ報告について	4名	6名	40%

■ 財務部会 部会長：平井太宗

副部会長：長井正行

XII. 事業名：【法人格移行に伴う会計基準に沿った財務審査会議の実施】

1. 事業目的

(対内)

一般社団法人としての新たなスタートに伴い、50周年事業に携わる全ての部会のスムーズな事業の企画、運営の実施を目的とする。

2. 実施日時・場所

2012年10月24日（水） 19:30～20:00
11月22日（木） 19:30～20:00
12月25日（火） 19:00～19:45
2013年 1月16日（水） 19:00～20:00
2月19日（火） 19:00～20:00

J C 事務局

3月19日（火）
5月21日（火）
8月16日（金）
9月17日（火）
10月19日（土）

WEB上

3. 参加人員

（外部）関係諸団体	0名
（内部）理事・役員	19名
メンバー	6名
その他	0名
合計	25名

4. 事業内容

- ①運営会議への上程議案に対して、毎回財務審査会議を実施し、一般社団法人格の会計基準に沿った適正な会計処理が行われているかチェックを行なう。また、新たな会計基準の情報収集に努める共に、各部会へ迅速な情報発信を行なう。さらに、昨今の個人情報保護法にもあるコンプライアンス順守に基づいたチェックも厳正に行う。

5. 成果

- ①50周年事業の予算、決算のチェックを事前に行なっておくことで、運営会議の中で財政面を協議する時間が節約され、他の点での話し合いに時間がとれる。

6. 引継事項

- ①財務審査会議は、運営会議と同日の開催としていましたが、出席者の出欠状況に応じた開催方法を検討してください。面と向かった話し合いが一番有効ですが、出席者の都合が合わない際にはWEB会議を行ないました。
- ②周年事業に充てることのできる総額を早めに把握して下さい。事業計画時に把握が不十分だったため、各部会からの事業予算の要求に適切な指示ができず、結果として総額以上の予算となり、本会計から補填する形となった。
- ③公益事業（継続事業）かどうか、各部会の事業区分の判断を県政情報文書課担当者のアドバイスのもと、慎重に行なってください。計画時に担当者との十分な打ち合わせが出来ていなかったため、事業終了後に、継続事業の予定だった事業が公益事業と認められない状況にな

った。電話だけではなく、事業計画書をメールで送ったり、担当者と実際に会って確認をしたほうがいい。

財務部会開催報告

回数	開催日	財務部会	開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012. 10. 24	財務審査会議	J C会館	第3回運営会議上程議案の確認	5名	2名	71%
2	2012. 11. 22	財務審査会議	J C会館	第4回運営会議上程議案の確認	4名	3名	57%
3	2012. 12. 25	財務審査会議	J C会館	第5回運営会議上程議案の確認	4名	6名	40%
4	2013. 1. 16	財務審査会議	J C会館	第6回運営会議上程議案の確認	6名	19名	24%
5	2013. 2. 19	財務審査会議	J C会館	第7回運営会議上程議案の確認	8名	13名	38%
6	2013. 3. 19	財務審査会議	WEB会議	第8回運営会議上程議案の確認	名	名	%
7	2013. 5. 21	財務審査会議	WEB会議	第11回運営会議上程議案の確認	名	名	%
8	2013. 8. 16	財務審査会議	WEB会議	第12回運営会議上程議案の確認	名	名	%
9	2013. 9. 17	財務審査会議	WEB会議	第13回運営会議上程議案の確認	名	名	%
10	2013. 10. 19	財務審査会議	WEB会議	第14回運営会議上程議案の確認	名	名	%

総務部会長所見

総務部会を担当させて頂くにあたり、各部会の思いが詰まった事業・50周年を迎える歴史、来場者へのおもてなしの心、50年間に一度の、この役割を担当しなければならない経験をさせて頂く事ができました。総務部会で担当させて頂いた、1つ目に成功祈願祭。事業当日は、数時間前まで顔を合わせていたメンバーと、祈願祭に来た時のメンバーの表情は違って見え、全員が連日の準備で寝不足続きの中、ご神前の前ではすがすがしい表情で座っている様子を見たとき、大きな事故もなくこの日を迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱいでした。記念撮影の顔も素敵な笑顔ばかりで記念に残る一枚になりました。2つ目に、広報インフォメーションでは、50周年事業を如何に対象者へお届けするか、どういう風に来場者をお迎えし、おもてなしするかを一番に考えてきました。この全部会の情報を把握してはできない部会だったからこそ、部会メンバーにも今後活かせる経験をして頂けたのではないかと思います。慣れない作業でも初めて経験する一つ一つの役割に前向きに向き合い、共に作り上げる時間を共有してくれた部会メンバーに心から感謝し、今後の活躍に期待しています。また、外部関係者の方々にも、活動を進める中で多くのアドバイスや協力を頂き、私たち青年会議所は、今までのつながりの中で活動を支えて頂いているのだと、改めて感じる機会がたくさんありました。3つ目に、名寄青年会議所のアテンドについて、今回、梅野理事長を始めたくさんの方々にご尽力頂き、たくさんのメンバーが天草へ来訪して頂きました。それにより、天草本渡青年会議所メンバーの多くが、友好J Cの仲間と1歩近づくことができたのではないかと感じています。一人でも多く、1日でも長く天草へ行こう、友好J Cの50周年を一緒に汗を流しながら祝おうという、名寄青年会議所メンバーの熱い気持ちを、メンバーの皆さんにはずっと忘れないでほしい。私も今年頂いた気持ちにお返しできるよう、これからもお互いの地域へ何か持ち帰ることができないかを学びながら、楽しんで交流を続けて行きたいと思います。2015年、名寄青年会議所60周年に、たくさんのメンバーで北の国へ行けることを願います。最後に、私が経験させて頂いたものは50年間の歴史の一部ではありますが、先輩方から見せて頂いた天草本渡青年会議所らしいおもてなしと、今回の記念大会

を通して学んだ地域とのつながりを、仲間と共有していけるよう、次の世代の心と身体に残していけるよう、自分自身これからも取組んで行きたいと思います。すばらしい経験をありがとうございました。

記録記念誌部会長所見

一般的には50年間の記念誌を作成するには最低2年間の準備期間が必要と言われますが、記念誌の企画・作成の職務を担当させて頂き、そのことをあらためて実感いたしました。膨大な数の資料一つひとつを確認し、史実のつき合わせや原稿執筆といった地味で大変な作業の日々が続きました。また記念誌の作成に携われることのメリットである、創始の精神や50年間という長い歴史の中で様々な運動・活動を行ってきたことやどういう経緯で事業が組み立てられ、どういう想いで活動されていたのかなど、多くのことを学べるチャンスだということ部会メンバー全員に浸透させることができず、さらには様々なトラブルも重なったことで、一時期は当日配布をあきらめることも頭に過ぎりましたが、最後は多くのメンバーの協力もあって、無事に発刊に辿り着いた時は非常に感慨深いものがありました。今回の記念誌構成はこれまでの記念誌では無かった企画を盛り込んだことで、当初の想いであった「丸わかり記念誌」に近づけることができたのではないかと思います。最終的に今回の事業目的を達成するには、今後この記念誌を様々な場面で有効活用して頂くことですので、是非宜しくお願い致します。記録と保存については、約1年間に渡って創立50周年記念大会や関連事業、そしてメンバーの活動の様子など取材を行ってききましたが、取材活動というのは大変地味であり、また他部会の職務と比べても達成感や充実感を感じにくい部分もあって、部会内での職務に対してのやる気を浸透させることに大変苦労しました。しかしながら、結団式においてシニアクラブ代表世話人明瀬先輩からの挨拶の中で「たとえ駐車場係でも理事長や実行委員長の責務と同じですので、地味な職務であろうとどれも大事であるので精一杯頑張ってください」との言葉もあって、創立50周年記念大会中は部会メンバーそれぞれが責任感を持って取り組んでもらえること出来たのではないかと思います。当部会だけでは手が回らない部分にはLOMとしての取材活動の職務を持たれている総務広報委員会の多大なる協力を頂けたことで、周年に関わるもの全てを記録として残すことができたと共に、次代へ確実に繋げることが出来るのではないかと確信しております。またデジタルアーカイブのガイドライン作成についてはどこまでの指針とするべきか日々苦心しましたが、次年度からでもすぐに有効活用してもらえるものが出来上がったのではないかと思います。しかしながら、単年度での構築・運用促進には無理がありますので、会の課題として一年一年少しずつでもよいので、実現に近づけてもらうことを切に願います。

記念式典部会長所見

今回の記念式典は、創立50周年という節目の式典でありました。その為、しっかりと式典を行いながらも、古き良き天草と未来の天草をどう表現するかと考えていました。部会長としての課題は、一つでした。それは、始まってしまえば進行を滞りなく進める事でした。どんなに素晴らしい挨拶や映像があっても、進行を妨げるトラブルが起これば、それが台無しになってしまうと考えていたからです。特にパワーポイントや映像のPCを使って行う作業には気を遣いました。そんな中、一番大事なところで映像編集の最終確認を怠り理事長はじめ実行委員長に迷惑をかけてしまうということがありました。また、式典が良かったとお褒めの言葉を頂いたことには、オープニングを飾っていただいた天草太鼓推進会の皆様はじ

め、すべてのメンバーに感謝するばかりです。今式典・今大会を通じて、また改めて故郷を見つめ直すことができ、そして天草本渡青年会議所の素晴らしさを感じました。部会長としての学びを、しっかりと今後の活動に活かして参りたいと思います。数あるご意見、ご協力のすべてに感謝申し上げます。

大懇親会部会長所見

私は天草が大好きです。これまでの50年間、この地域で活動させていただいた天草島民の皆さま方への感謝の気持ち。これまで50年間という偉大なる歴史を築きあげてこられた先輩方への感謝の気持ち。そして、天草本渡青年会議所の50歳の誕生日をみんなで祝いたい気持ち。さらには、日本の宝島天草の素晴らしさを一人でも多く人に知っていただきたいと考えた大懇親会。当初、屋内に会場を設け行う予定でしたが、部会で協議を重ねていく中でより天草を五感で感じていただくためには屋外で行う事が良いのではとの思いから屋外開催を決定いたしました。50周年の大懇親会を外でするなんて聞いたことがない。シニアクラブの先輩の中には、「外でするなら参加しないよ。」と言われるなど開催前からいろいろな意見をいただきました。そして、最後の最後まで物議を醸し出した大懇親会も、当日は雨が降ったり止んだり不安定な天候で開催場所も予定していた砂浜ではなく雨天用の駐車場に。場所も変更になり、部会が考えていたレイアウトではない開催になりましたが、全てが終わった時にはやはり屋外で大懇親会をして良かったと思えました。当初予定していた砂浜のレイアウトであればより感動的な演出が出来たと思いましたが、全てのプログラムが無事終わることができ、参加していただいた全ての方々が「みんな楽しそうにしていたよ。」「すごく楽しかったよ。」「良かったよ。」とのお声をいただいた時にはこれまであったいろいろな出来事が喜びに変わりました。大懇親会に参加していただいたご家族やたくさん子どもたちに喜んでいただいた地引網や、潮風を肌で感じ、波の音を聞きながら夕陽が沈む、ゆったりとした時の流れを満喫出来るのも屋外でしか味わうことの出来ない天草ならではの最高の演出でした。また、屋外で行うことでより多くの人手が必要となりましたが、たくさんメンバー一人ひとりがリーダーとなり協力をいただき、事業を通じて多くのメンバー同士での交流を育むことが出来たことも大きな成果になったのではないかと感じます。最後に、この事業を行う上で周年事業の経験をしていないまだまだ未熟な自分をいろいろな場面で最後まで支えていただきました部会メンバーや他の部会メンバー。そして、メンバーのご家族の皆さま。撤去作業にお手伝いご協力いただきました各地LOMのメンバー・名寄JC・牛深JCの皆さま・シニアクラブの先輩方。貴重なお時間を作っていただきお越しいただきました全ての皆さま方に心より感謝申し上げます。また、天草本渡青年会議所50周年という半世紀に一度しかない素晴らしい瞬間に、歴史的節目に現役として携われたこと、この歴史の1ページを刻む記念の年に部会長という貴重な経験をさせていただきましたことに心の底から溢れんばかりの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

記念事業部会長所見

50周年記念大会の記念事業においては多額の予算を扱わせていただき、期待と不安が葛藤する日々を過ごさせていただきました。試行錯誤の繰り返しで揺るぎない信念が生まれ、事業成功への道が見えてきましたが、予算面や講師の日程調整がスムーズに行かず、メンバーへ心配と気苦労を掛けさせてしまいました。ただ、その中で先輩方からの叱咤激励や島民の方々の歓迎の声、そしてメンバーの絶大な協力が励みとなり、一つ一つ壁を乗り越えることに不安から楽しみに気持ちが変わっていききました。講演会当日はたくさん島民にご来場いただき、講師の佐々木監督からは直前リハーサルで予想以上の演出を提案してもらい、心震える思いで舞台袖から見つめていました。この講演会で一番感

じて欲しかった「新たな一歩」が来場者に伝わり、予想以上の発表者やアンケートの集計結果は感極まるものがありました。講演会終了後や後日お会いした来場者から「とても良かった」「感動した」の声を聞いた時は担当者としてこれほど嬉しく感じた事が無いぐらい非常に嬉しかったです。また、もう1つの記念事業の綱引き大会は、まだ私が生まれる前の40年前の1972年から10年間開催されました。もちろん当時を知っている訳ではないので、父親と同世代の先輩方を訪れ、当時の話や無くなった経緯などを聞きながら事業を構築してきました。当時の開催場所である中央銀天街。そちらでも懐かしいという言葉をいただきながらJCの先輩方や協力していただける方々と一歩一歩事業開催に向けて進めてきました。その中で想像以上の協力をいただいた各商店街やメンバーには感謝と感激の思いで一杯です。事業当日、参加チームの汗と笑顔、運営するメンバーの懸命さと笑顔、観戦している市民の歓声と笑顔、餅とお菓子投げの子ども達の笑顔、こんなに笑顔が溢れた事業が出来た事に嬉しさと誇らしさを感じました。50年の歴史と先輩方の偉大さがあるからこそ、この事業の成功と誇らしさがあるのだと強く感じました。次年度以降、開催するならば事業構築の背景・目的は変わってきますが、地域活性や交流促進を図るには素晴らしい事業に進化する要素は十分にありますので、しっかり検討していただきたいと考えます。本年、たくさんの感謝と笑顔に触れさせていただき、この貴重な経験をさせていただいたことに感謝すると共に、最後まで側に居てくれた部会員メンバー、そして想いを貫き通させてくれた理事長、実行委員長をはじめ全メンバーに感謝します。ありがとうございました。

財務部会長所見

50周年事業という記念すべき事業、また一般社団法人として天草本渡青年会議所がスタートする年に、財政担当という重要な役割を経験させて頂きました。いつも意識していた事は、この財政の部分に関しては自分たち部会が責任を持ってチェックをし、実行委員長や副実行委員長、そして他の担当部会メンバーが、周年事業に向けた色々な協議に安心して取り組んでもらう環境作りでした。しかし、私も副部会長も共に財政に関わる役割が初めてだった上、一般社団法人としての必要な活動条件や新たに作成しなければならない書類に頭を悩ませる中で、財務審査会議が実施できない月や、メンバーからの質問や確認に迅速に対応できないことがありました。ただ、上、荒木両相談役のアドバイスも受けながら、徐々に書類の見方や会議のやり方など、柔軟に対応することができたのではないかと思います。今まで財務は裏方の役割のようなイメージを持っていましたが、一つの事業を運営する上で、とても大切で責任のある役割だということを実感しました。財政という専門的な勉強と経験をさせて頂き、ありがとうございました。

副実行委員長所見

創立50周年実行委員会を組織するにあたり、前年度よりしっかりと計画を立て7月の記念大会に向けて取り組んでまいりました。未知の世界に在った50周年の一大イベントを、日に日に現実のものとして構築し、これまでに培ったノウハウを活かし、皆でその日を迎えることができました。特に、実行委員会の中核で力を発揮したメンバーは、膨大な資料の作成と、身を粉にしてあらゆる事象に対応しながら突き進んでまいりました。そして、立派に記念大会を終えることができたことは、先輩方の支えと、メンバー個々の能力の高さと意地と根性によるものと改めて確信することができました。節目の一年間は終わりますが、未来へ向けて一般社団法人天草本渡青年会議所として皆の力を一つにして青年らしく行動していきます。

実行委員長所見

創立50周年の記念すべき一年に、実行委員長の大役を担わせて頂きましたことを感謝申し上げます。昨年の50周年準備委員会（Union of JAYCEE委員会）からの約三年に及ぶかわりが持てたことは、私自身の人生における貴重な経験となりました。50年に一度きりの創立50周年記念大会は、地域の

方々のお役に立ち、シニアクラブの先輩方の想いを継承し、会員一人ひとりの仲間にとって、学びや気づき、喜びや感動を実感できる機会となり得たのでしょうか。一年間を終えた今、改めてそのことを考えています。私たち青年会議所に、何が出来るのか。私たち青年会議所は、何をしなければならないのか。私たちJAYCEEが、何をやるのか。私たちは、創立50周年記念大会で、未来へ繋ぐあまくさ運動指針「人口革命」を発表しました。これは、急速に進む人口減少に、真剣に向き合い、人で溢れかえる天草の未来を創造する覚悟の宣言と捉えて頂きたい。果てなき、無謀な挑戦かもしれませんが。だからこそ、青年会議所の一員として受け継いだ「夢を諦めないこと」「想いを夢に描くこと」「夢に挑戦する行動」を仲間と共に歩み続け、いつの日か必ず実現しようと強く願う指針なのです。どうか、これからの天草本渡青年会議所に期待してもらえるように、本気で人口増加に立ち向かって行こう。今年一年、本当に多くの方々に助けられ続けた一年でした。そんな一年を振り返るというならば「楽しくて、幸せな一年をみんなありがとう」ただただ、感謝しかありません。

2013年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所 委員会年間事業報告書

- 委員会名：なんさまかたれな委員会
- 担当副理事長名：吉本雅弘
- 委員長氏名：池田正志
- 副委員長氏名：石井美恵
- 委員氏名：村田勝貴、久保孝雄、村上輝眞、渡邊弘樹、赤城志学、宮崎正臣、安田量寛、平井浩二

I. 事業名 【会員拡大事業の推進】

1. 事業目的

(対外)

なし

(対内)

当青年会議所の未来の発展に繋げていくため、新たな仲間を増やすことを目的とし、ひとりでも多くの会員で50周年を迎えるべく、一丸となって会員拡大に取り組む。

2. 実施日時・場所

○通年

- 新年賀詞交歓会 天草シーサイドホテル 1月11日 18時30分～
- 会員拡大説明会 肥後銀行天草支店3階大会議室 2月26日 19時～
- 候補者説明会 肥後銀行天草支店3階大会議室 4月 5日 19時～

3. 参加人員

【通年】

(外部) 入会候補者	74名
シニアクラブ	49名
(内部) 役員	24名
メンバー	42名
事務局員	1名
内部小計	67名
合計	190名

【賀詞交歓会】

(外部) 来賓	14名
来訪JC	30名
シニアクラブ	36名
オブザーバー	2名
外部小計	82名
(内部) 役員	22名
メンバー	12名

事務局員	1名
内部小計	35名
合計	132名

【会員拡大説明会】

(内部) 役員	18名
メンバー	8名
内部小計	26名
合計	35名

【候補者説明会】

(外部) 入会候補者	23名
講師	1名
牛深青年会議所	3名
外部小計	27名
(内部) 役員	22名
メンバー	10名
事務局員	1名
内部小計	33名
合計	60名

【理事長を囲む会】

(外部) 外部小計	0名
(内部) 役員	3名
メンバー	6名
内部小計	9名
合計	9名

4. 事業内容

【参加推進方法】

(対 外)

- ①シニアクラブ訪問を行い、直接先輩にお会いして候補者がいれば紹介していただけるようお願いする。
- ②企業訪問・シニアクラブ訪問の中で候補者説明会への参加を呼びかける。

(対 内)

- ③各委員会の副委員長に拡大部長になっていただき、月に一度拡大会議を開催する。
- ④例会の会員拡大アワーにて、報告者を委員会内で当番を決め、訪問状況・勧誘状況・入会状況・目標までの人数を報告し、現況把握と会員の意識向上を図る。

【企業訪問ならびにシニアクラブ訪問】

- ①拡大企業訪問は前年度から引き継ぎ、月に1～2回を目安に行う。シニアクラブ訪問は、シニアの子どもさんやお孫さんの入会促進の他、知り合いや友人などその他候補者の情報収集の機会とする。また、シニアクラブ訪問の際は失礼のなきように訪問前には電話などでアポイントを取る。

【入会候補者および対外】

②候補者説明会を行い、入会促進を図る。講師として小田原青年会議所OBの上田博和氏をお呼びし、青年会議所の魅力について熱く語っていただく。説明会終了後に講師、候補者を交えた懇親会を行い、交流を図る。

③対外向けの各種事業を行う際、手作りの入会案内のチラシを配布する。

④50周年事業前の半年間は入会を随時受け付け、7月以降は新入会員の同期同月入会の絆を作り出しやすくするために奇数月を入会受付月と設定する。

⑤総務広報委員会と連携を図り、ウェブの駅を活用して会員募集を行う。さらにソーシャルネットワークを活用し、入会候補者に対して事業や例会への参加の呼びかけを行う。

⑥飲食店や小売店を営んでいるシニアクラブの先輩およびメンバーのお店にチラシを掲示していただく。

⑦入会候補者へ事業、例会、会員相互の交流には入会候補者にオブザーバーとしての参加の呼びかけを行う。

⑧2013年度卒業予定者7名には、卒業するにあたり1名の候補者を紹介していただく。

⑨天草で誰もが知っていて、かつ、当青年会議所の理事長を務められ、日本青年会議所の副会頭まで経験された、JCに対して熱い想いをお持ちの先輩だと考える安田市長に入会冊子の中にお言葉をいただく。

【対内】

⑩企業訪問ならびにシニアクラブ訪問の担当委員会の当番月を設定し、担当委員会には1ヶ月前に各副委員長に呼びかけ、訪問日時の打ち合わせを行う。

⑪新たな情報を得るために未開拓の企業へローラー訪問を行う。その際には事業案内のチラシを持参し、事業への参加を促す。

⑫各委員会次第に会員拡大についての議題を付け加えていただく。

⑬各委員会の副委員長に拡大部長になっていただき、月に一度拡大会議を開催し、近況報告を共有できる場を作る。

⑭当委員会並びに推薦人、配属された委員会の委員長には新入会員の入会後のフォローを行っていただくため、電話や委員会メールなど活用し連絡を密にとっていただく。また、何か問題や相談を受けた際には、当委員会にもご報告いただき執行部とともに解決に向けたバックアップを行う。

⑮花見の打ち合わせ会議に、新入会員のみではなく、アカデミーメンバー、副理事長にも参加していただく。

⑯年に数回、新入会員だけを集めて理事長を囲む会を開催する。

5. 成 果

(対外)

なし

(対内)

①50周年記念事業までに3名、以降3名の計6名の新入会員を増やすことで未来の発展に繋げることができた。

②候補者説明会を行ったことにより、JCの魅力を再認識していただき、会員への意識向上の機会を図ることができた。

6. 引 継 事 項

①企業訪問やシニアクラブへの訪問は当青年会議所への入会促進、活動を知っていただくよい機会なのでご継続ください。そして、各種事業や例会へのオブザーブ参加の呼びかけを行ってください。

また、シニアクラブを飛び込み訪問されるのであれば、失礼にならないよう事前にアポイントを取って訪問するようにしてください。

②講師をお招きして講演をされる際は、ホームページへの掲載や、企業訪問での参加促進など、早めの周知と呼びかけをお願いします。

③本年は対外向けの各種事業の際、チラシを配布することを失念しておりましたが、当青年会議所の PR になるので事業終了後に入会案内のチラシを来場者に配布をご検討ください。

④50周年事業前の半年間は入会を随時受け付け、7月以降は新入会員の同期同月入会の絆を作り出しやすくするために奇数月を入会受付月と設定すると本年は手法に掲げていましたが、候補者が入会の意志を示しているのであれば、奇数月などこちらの都合で決めるのではなく、候補者の意志が固まった際にはクロージングを早急に行ってください。

⑤ソーシャルネットワークを活用したことで一部の方に周知することができたので入会案内はもちろんです。入会候補者に対してホームページやソーシャルネットワークを活用して事業や例会へのオプザーブ参加を呼びかけてください。

⑥入会案内チラシを作成されるのであれば、飲食店や小売店を営んでいるシニアクラブの先輩およびメンバーの店にチラシを掲示していただくことで不特定多数に幅広く PR ができるので、掲示していただくようお願いをさせていただきます。

⑦2013年度卒業生7名から1名ずつ候補者を上げていただきました。そのうち1名は入会に繋げることができました。残りの6名はリストに残りましたので今後の拡大活動に生かしてください。また、2014年度卒業予定者からも1名ずつ候補者を上げていただき、リストに反映されてください。

⑧訪問先によってはメンバーの知人友人、仕事での付き合いで接しやすいというメンバーがいる可能性もありますので企業訪問ならびにシニアクラブ訪問をされる際は前日までに訪問予定を一斉メールで告知をさせていただきます。

⑨未開拓企業へのローラー訪問をされる際は、営業や現場など外で仕事をされている方も多くいらっしゃいます。夕方5時以降の訪問もご検討ください。

⑩会員拡大に対しての意識付け、情報共有のために各委員会次第に会員拡大についての議題を付け加えていただくよう、各委員会への周知徹底をお願いします。

⑪各委員会に1名、拡大担当者を決めることで拡大担当委員会とより連携を図ることができると考えますので今後も情報共有をさせていただきます。

⑫新入会員に対しては、拡大担当委員会と配属された委員会の委員長は電話連絡や直接顔を合わせ、入会後のフォローを行ってください。また、問題や相談を受けた際には、執行部とともに解決に向けたバックアップを行ってください。

⑬理事長を囲む会を1度開催しました。理事長の入会から現在に至るまでの体験談を語っていただき、参加した新入会員にJCの魅力が伝えることができました。次年度以降も継続していただけることを望みます。

⑭スライドレールフォルダーが事務局に残っています。入会案内冊子などを作成される際にご利用ください。

⑮今回、拡大訪問に入会案内冊子、入会案内チラシ、あしなみ、上田先輩の講演会のチラシ、フラワーアートの案内文、佐々木監督の講演会、綱引きの案内、LOM内広報誌をツールとして使用しました。その中で最も候補者から評判がよかったものがLOM内広報誌でした。活動内容が非常にわかりやすいと評判でした。入会案内冊子、あしなみ、事業への案内文はもちろんのこと、LOM内広報誌も拡大訪問のツールとして次年度以降もご検討ください。

II. 事業名【明豊躍友会の活動支援】

1. 事業目的

(対外)

なし

(対内)

天草の郷土芸能、伝統文化を学び継承しつつ、今後の明豊躍友会のさらなる発展と飛躍の一助となるための体制を整え、併せてメンバー間の交流を図ることを目的とする。

2. 実施日時・場所

○通年

○6月1日(土) 11時00分 花しょうぶまつり(雨天のため中止)

○7月6日(土) 19時50分 50周年記念大会 大懇親会

○7月28日(日) 13時00分 踊りの競演

○9月14日(土) 13時00分 グリーンフェスタ

○10月27日(日) 11時40分 梅寿荘文化祭

3. 参加人員

【50周年記念大会 大懇親会】

(外部) 凜風会 6名

外部小計 6名

(内部) 役員 5名

メンバー 8名

内部小計 13名

合計 19名

【踊りの競演】

(外部) 凜風会 6名

メンバー家族	8名
外部小計	14名
(内部) 役員	9名
メンバー	9名
内部小計	18名
合計	32名

【グリーンフェスタ】

(外部) 凜風会	4名
メンバー家族	2名
外部小計	6名
(内部) 役員	5名
メンバー	6名
内部小計	11名
合計	17名

【梅寿荘文化祭】

(内部) 役員	2名
メンバー	3名
内部小計	5名
合計	5名

4. 事業内容

【参加推進方法】

(対 内)

①特に新入会員およびアカデミーメンバーには率先して参加していただけるように、一人ひとりに直接呼びかけを行う。

【活動支援】

①メンバー全員に踊りのDVDを配布する。

②凜風会の練習に参加させていただきご指導を受け、当青年会議所独自で演奏・披露できるように地方の育成を行う。

③練習に初めて参加するメンバーに対しては、当委員会及び当委員会の各パートのリーダーもしくはサブリーダーが個別でフォローを行う。

④出演依頼があった場合、当委員会が窓口となり開催日を確認し、踊り手、歌い手、三味線、太鼓で当日参加できる人数を確認し、十分に各パート人数を確保できるようであれば依頼を受ける。

⑤各団体、祭りなどを企画する団体に交渉し、参加、披露できる場を設ける。

⑥踊り手、歌い手、三味線、太鼓のいずれかの希望をメンバー全員にアンケートを取り、各パート人数のバランスが取れるように配置する。

5. 成果

(対 外)

なし

(対 内)

- ①藤間公苑先生から手先の使い方や足さばき、櫛（かい）の使い方など細部に渡る踊りの指導、天草南風凜風会では太鼓の叩き方、三味線の弾き方、歌い手の声の出し方の指導を受けたことにより、天草の伝統文化を学ぶことができた。
- ②踊り手、地方の育成をし、これまでになかった出演依頼が2件あり参加でき、踊りにおいても地方においても外部からの依頼に対応できた。
- ③メンバー、メンバーの家族と練習をし、イベントに出演したことにより交流を図ることができた。

6. 引継事項

【参加推進について】

- ①新入会員やアカデミーメンバーを主とするメンバー構成にするための参加を呼び掛ける際には、電話やメールでの連絡以外にも直接メンバーにお会いし、踊りや地方の楽しさを伝え参加していただくような取組みをお願いします。また、メールマガジンやソーシャルネットワークを活用し、活動報告を配信するなど興味を持ってもらえるような工夫をされてください。

【運営上】

- ②手踊り、手ぬぐい踊り、櫛踊りの踊り方DVDを作成いたしました。今年度は3パターンの踊りの練習を行い、披露をしましたが明豊躍友会の最も基礎となる部分です。映像を見て踊りを覚えていただけるようご活用ください。マスターの映像データは事務局のパソコンの外付けハードディスクに保存しております。また、地方の練習DVDも各パート別に撮影していただくことで個別に練習も出来るようになるのでDVD作成の検討をしてみてください。

- ③凜風会の練習に参加をさせていただく際には、少なくとも1週間前までには出欠の取りまとめを行い、多くのメンバーで参加できるように呼びかけをお願いします。

- ④練習や出演はもちろん、急な出演依頼などのメンバーへのスケジュールの調整などが大変難しいです。出来る限りそれぞれのパートのリーダーを配置して、初めて練習に参加されるメンバーや経験の浅いメンバーへのフォローをお願いします。

- ⑤本年度、新たな試みとして外部から出演依頼を受ける体制で活動を行いました。メンバーの参加率の低迷や急な依頼に対応出来ず、練習不足を露呈してしまう結果となりました。これを踏まえ、今年一年間の活動を通して当初の計画通り、従来の交流委員会として行って来た踊りの競演の参加に加え、花しょうぶ祭りの参加のみとし、一定期間集中して活動を行うことが今後の明豊躍友会として良いと委員会として判断をいたしました。今後の活動の参考にしてください。

- ⑥本年度、参加交渉に出向き出演の準備練習を行った花しょうぶまつりには天候不良のため参加が叶いませんでした。次年度もぜひ花しょうぶ祭りに参加をしていただくような取組みをお願いいたします。また、天草本渡青年会議所のホームページやソーシャルネットワークを活用し、活動内容の結果を披露できる場を設けてください。

- ⑦アンケートにて、踊り手、歌い手、三味線、太鼓の希望を取りまとめた資料を添付しておりますので次

年度以降の活動に活用してください。

⑧委員会での参加促進が不足し、本年度の明豊躍友会の活動に新入会員を巻き込み参加していただく事が出来ませんでした。是非、次年度以降も代々受け継がれてきた交流委員会の想いとして語り継がれてきた「新入会員の登竜門・明豊躍友会」現役メンバー間の交流を主とした伝統芸能の継承のための場としての会の存続を期待します。そのためには、アカデミーメンバーには、委員会訪問を行い、練習、イベントへの参加促進を行い、委員会に参加していなかったメンバーに対しては直接会って呼びかけを行ってください。また、新入会員には入会が決まったらすぐに連絡を取り直接会って明豊躍友会への入会の案内を行い、練習、イベントへの参加促進を行ってください。

【予算について】

⑨ポルトの3階多目的ホールを練習会場にされる場合は、別途照明費がかかります。予算計上を忘れずに行ってください。また、エアコンを使用される場合は1時間あたり400円がかかります。他の会場よりも価格設定が高くされているので、予算計上を忘れずに行ってください。

⑩練習時の飲料水代を予算計上されたら、必ず購入して練習参加者に配布してください。

⑪出演メンバーの負担にならないよう、法被のクリーニング代を予算計上してください。

【その他の問題点】

⑫毎回凧風会の会長に来ていただき、調弦をしていただきました。凧風会との練習時に毎回三味線の調弦方法も練習に取り入れ、メンバーでできるようにしてください。

⑬練習場所の予約は早めに行ってください。また、櫓の練習をする場合は天井の高い場所を確保してください。

⑭講師や凧風会が練習に来ていただく日程が決まったら1ヶ月前に案内を流し、1ヶ月ごとのスケジュールの発行、ホームページで配信するなど工夫していただき、できるだけ多くのメンバーで参加できるように呼び掛けを行ってください。また練習前の音響や楽器の準備から参加するメンバーに携わっていただき、すぐに練習に取りかかれるようにしてください。

⑮会場の設備、音響設備の確認不足で、当日十分なパフォーマンスができなかったこともあり、練習会場は天井の高いところを押さえ、音響設備は会場の担当者に確認を行ってください。

⑯法被や備品を委員会でひとつにまとめて管理し、貸出時に返却リストを作成し管理するなどご検討ください。イベントごとに使用したメンバーから確実に回収を行ってください。備品リスト、返却リストを作成しましたのでご活用ください。また、法被には番号を縫い付けるなど工夫してください。

⑰天草ケーブルテレビより練習中に取材があり、当青年会議所のよいPRとなりました。同じように取材があったときには受けてください。

⑱9月の五橋祭り、11月17日、メンバーの会社（ブライダルマックス様）からオファーがありました

が、委員会メンバーでも人員を確保できずお断りをしました。通年で依頼を受けるとメンバーの確保や練習の日程調整が厳しくなります。

⑱本年度、明豊躍友会に参加されたメンバーからは、指導する方がいれば練習に行く。練習を重ねていくうちに気持ちが高まり、本番のステージで気持ちが最高潮に達した。三味線の音が出るようになって楽しい。などという声をいただきました。次年度も引き続き、踊りの講師の指導を仰ぎ、地方においては凧風会と連携を取り、練習を行ってください。

⑳当初、5か年計画を立て今年一年間、新たな取り組みとして、地方を立ち上げ、外部からの協力依頼に対応する形でこれからの明豊躍友会としての方向性を見出しながら活動を行ってきました。そこで気づいたのは、更なる飛躍のために本当に大事なものが「JC明豊躍友会として「上手くないなりに一生懸命取り組む姿をみていただく事の素晴らしさ」だということです。もう一度原点回帰し、これまで先輩方が築きあげてきたものを紡いでいく素晴らしさを大事していかななくてはならないと委員会として考えます。

㉑1年間の出演イベントを決定し、年間のスケジュールを決めてください。また、メンバーの意識を高めるために年初に立ち上げる必要があると考えます。

㉒委員会訪問を行い、勧誘や新入会員入会時に会の趣旨説明をしっかりと行ってください。

㉓踊りの競演と花しょうぶまつりに参加するのを基本に、天草のイベントや依頼があった場合への参加の有無はその年々で検討していいのではないかと思います。また当青年会議所は踊りの競演実行委員会の副会長になりますので、もし出演しない方向にするのであれば、実行委員会において事前に説明などをしてください。

㉔計画当初に出した「明豊躍友会の道しるべ」を更新し、「明豊躍友会の新・道しるべ」を作成いたしました。今後、活動支援するにあたり、参考にされてください。

Ⅲ. 事業名 【天草ハイヤへの参加】

1. 事業目的

天草ハイヤへ参加し、地域を盛り上げると共に会員間及びその家族と交流を図り親睦を深める。また当青年会議所を地域の方々にPRする。

2. 実施日時・場所

○練習会 2013年7月29日(月)牛深商工会議所3F会議室

○道中総踊り 2013年8月3日(土)国道324号線市役所前～天草信用金庫本店

3. 参加人員

【練習会】

(外部)メンバー家族 10名

牛深青年会議所 8名

外部小計 8名

(内部) 役員	9名
メンバー	3名
内部小計	12名
合計	20名

【道中総踊り】

(外部) メンバー家族	10名
牛深青年会議所	12名
一般参加者	14名
外部小計	36名
(内部) 役員	22名
メンバー	8名
内部小計	30名
合計	66名

4. 事業内容

○天草ハイヤ道中総踊りへの参加

5. 成果

①牛深青年会議所、メンバー家族、一般参加者との交流を図ることができた。

②道中総踊りに参加したことにより、当青年会議所のPRを行うことができた。

6. 引継事項

①ハイヤ祭り実行委員会に払う参加料は、道中総踊りに参加する全員から徴収して、公平性を保ってください。事前懇親会に出ないメンバーからも木札代だけでなく、道中総踊り参加メンバー全員の頭数で割ること検討して下さい。また、参加料の10,000円を本会計から捻出することも、執行部と相談して下さい。

②アルコール飲料は、これまでの各事業や50周年記念大会で御樽やご厚志として頂いていたものを使用しましたので、登録料からアルコール飲料の購入をしておりません。次年度以降は、状況を確認し必要であれば予算計上をして下さい。

③山車を作製される際は、年当初より本会計から予算を組んで、早めに作製に取り掛かり、委員会をはじめ、メンバー全員で作製するようにしてください。

④山車を出す場合は、子どもの参加を募り、踊りだけで参加される場合は子どもの参加を呼びかけない、昔のスタイルに戻すことも検討ください。

⑤当日の集合場所等は事前に告知を行い周知徹底してください。

⑥案内メールやFAXは十分ゆとりを持って発信してください。

⑦牛深、メンバー向けの練習を必ず設けて下さい。また、一般参加者がいる場合にも、事前練習や当日練習の場を設けてください。

⑧直前に練習がなかったので、まつりに参加する士気の盛り上がりに向けたため、練習回数を増やすことを検討ください。また、道中総踊りの練習参加者が少なくなっていることもあり、練習案内を早めに出して取りまとめを行うか、予算のかからない練習場所を検討してください。今年度のように明豊躍友会の練習と一緒にこなうなどの工夫をしてください。

⑨新しく法被を作る場合、早めの案内と取りまとめを行い、発注をしてください。

⑩青果市場とスマイルの閉鎖閉店にともない、事前懇親会の場所や道中総踊りへの参加の在り方を検討してください。事前懇親会は交流としては必要だと思いますが、酔っ払ってただダラダラ踊るだけでは出る意味がないと思いますし、毎年真剣に賞を狙って出てくる丸尾會などは決して事前に酒を飲んで出ることはないと聞いたことがあります。参加するのであれば、賞を狙えるくらい踊りの精度をあげて臨むということも検討してください。

IV. 事業名 【会員相互の交流】

1. 事業目的

会員同士の交流を目的とするとともに、会員の資質向上を目的とする。

2. 実施日時・場所

- 市民駅伝 1月20日(日) 8:00 西の久保公園
- 花見 3月31日(日) 12:00 鬼の城公園
- 大忘年会 12月1日(日) 18:30 いけす料理とらや

3. 参加人員

【市民駅伝】

(外部)	0名
外部小計	0名
(内部) 役員	7名
メンバー	4名
内部小計	6名
合計	11名

【花見】

(外部) 一般参加者	2名
メンバー家族	6名
外部小計	8名
(内部) 役員	7名
メンバー	7名
内部小計	14名
合計	22名

【大忘年会】

(外部) 牛深青年会議所	7名
メンバー家族	7名

外部小計	14名
(内部) 役員	16名
メンバー	7名
内部小計	23名
合計	41名

4. 事業内容

- 市民駅伝への参加
- 新入会員企画 花見
- 大忘年会の企画・運営

5. 成果

①市民駅伝に参加したことにより、メンバー間の交流を図ることができ、司会から50周年のことを放送していただき、当青年会議所のPRを図ることができた。

②花見を通じて、メンバー、メンバー家族との交流を図ることができた。

③大忘年会を開催したことにより、メンバー間、牛深青年会議所、メンバーの家族と交流を図ることができた。

6. 引継事項

- ①駅伝の参加者は早めに確定させ、当日ケガのないよう、練習を行い本番に臨んでください。
- ②花見の企画・運営は新入会員だけで行うのではなく、執行部や交流委員会にも打ち合わせに入っていたいでください。
- ③大忘年会は会場との打ち合わせを綿密に行い、1か月前には案内を出してください。また、法被の受け渡しなど次年度交流委員会からの進行についても事前に打ち合わせをしてください。

IV. 事業名 【牛深青年会議所との交流】

1. 事業目的

牛深ハイヤなどを通して牛深青年会議所との交流をさらに深める。

2. 実施日時・場所

- 通年
- 牛深ハイヤ前夜祭 4月20日(土) 17:00~20:00 牛深
- 牛深ハイヤ 4月21日(日) 11:00~15:00 牛深ハイヤ通り

3. 参加人員

【牛深ハイヤ前夜祭】

(外部) 牛深青年会議所 12名

外部小計	12名
(内部) 役員	6名
メンバー	0名
内部小計	6名
合計	18名

【牛深ハイヤ】

(外部) 牛深青年会議所	14名
メンバー家族	3名
外部小計	17名
(内部) 役員	13名
メンバー	5名
内部小計	18名
合計	35名

4. 事業内容

○牛深ハイヤへの参加

5. 成果

①牛深ハイヤに参加したことにより、牛深青年会議所メンバーとの交流を図ることができた。

6. 引継事項

①前夜祭の事前懇親会の席でアルコールの飲み方で牛深青年会議所へご迷惑をおかけする形となりました。祭りの場なのでアルコールはつきものですが、適正飲酒を心がけてください。

②20名以上集まれば、牛深ハイヤ実行委員会よりバスを出していただけます。当日は会場の駐車場も少ないこともあるので出来る限りバスでの乗り合わせで行くようにお願いします。

委員会開催報告

回数	開催日	なんさまかたれな委員会	開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	8月30日		黒船	年間事業計画について	4名	6名	40%
2	10月18日		JC会館	年間事業計画について	3名	7名	30%
3	11月12日		肉まる亭	会員拡大事業の推進について	3名	7名	40%
4	12月10日		JC会館	会員拡大事業の推進について	3名	7名	30%
5	1月29日		JC会館	明豊躍友会活動支援について	4名	6名	40%
6	2月12日		JC会館	会員拡大事業の推進について	3名	7名	30%
7	2月23日		肉まる亭	会員拡大事業の推進について	4名	6名	40%
8	3月8日		JC会館	会員拡大事業の推進について	3名	7名	30%
9	3月23日		JC会館	明豊躍友会活動支援について	4名	7名	40%

10	4月3日		JC会館	候補者説明会準備	3名	8名	30%
11	4月4日		JC会館	候補者説明会準備	2名	9名	20%
12	4月28日		JC会館	明豊躍友会活動支援について	2名	8名	20%
13	4月29日		やまもと	会員拡大事業について	5名	5名	50%
14	5月13日		JC会館	明豊躍友会活動支援について	2名	8名	20%
15	5月30日		JC会館	天草ハイヤについて	3名	7名	30%
16	6月19日		JC会館	天草ハイヤについて	3名	7名	30%
17	6月22日		JC会館	天草ハイヤについて	2名	8名	20%
18	8月28日		JC会館	明豊躍友会活動支援について	4名	6名	40%
19	9月22日		JC会館	明豊躍友会事業報告書について	2名	8名	20%
20	10月1日		JC会館	明豊躍友会事業報告書について	3名	7名	30%
21	10月14日		JC会館	明豊躍友会事業報告書について	2名	8名	20%
22	10月31日		JC会館	会員拡大事業報告について	3名	7名	30%
23	11月12日		JC会館	明豊躍友会事業報告書について	1名	9名	10%

委員長所見

メンバー同士が交流を図るには、まずは仲間が集まること。それを天草弁で言うと「なんさまかたれな」この思いから委員会名を委員会全員で名づけ、拡大事業と交流事業を展開実施いたしました。交流事業においては、1月の市民駅伝への参加を皮切りに、毎年新入会員で企画する花見の段取り、牛深青年会議所との交流の一環、牛深ハイヤへの参加、大忘年会の企画運営。どれをとっても十分な参加推進ができたかと言われると疑問符がつきますが、交流を担当する委員長として貴重な経験をさせていただくことができました。明豊躍友会の活動支援においては、これまでは踊りの競演、道中総踊りに参加することを目的に会員交流の一環として活動して来ましたが、今年は新たに地方を取り入れ、雨天により中止となったが花しょうぶ祭りへの参加、外部からの2件の依頼に対応でき、天草本渡青年会議所を外部にPRできたと確信しております。これまでにない試みで、参加促進など大変ではありましたが、メンバーとの交流はもちろん、踊りの指導をいただいた藤間先生、地方の指導をいただいた凜風会の皆様との交流もしっかりと図ることができました。会員拡大事業においては、前年から引き継いだ有力候補者への訪問、企業やシニアクラブへの訪問を行い、十分な訪問はできなかったけれど、新たな候補者を13名挙げることができました。また、上田先輩をお招きして講演をいただくために、宮崎に講演で来られていた上田先輩に会いに行ったこと。前日をお願いして同行していただいた野嶋直前、吉本副理事長には大変感謝しております。また、上田先輩には天草にお越しいただき、熱意のある講演をしていただいたこと。多くのメンバーの心に響いたことは間違いないと確信しております。明豊躍友会の活動支援、会員拡大事業の推進、この2本の議案を上程、審議をいただき活動してまいりましたが、いずれも十分な参加推進、掲げた手法の遂行ができたとは言えませんが、一緒に真剣になって考えてくださった委員会メンバー、執行部の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。議案作成がうまくいかず、担当副理事長にもきつく当たりご迷惑をかけ、何度も逃げ出そうと考えましたが、委員会開催の案内を流し必ず参加してくれるメンバーたちのことを思うと、逃げたらダメだ。頑張ろう。という気持ちになりました。会員拡大事業の推進で審議承認されたときに流した喜びと悔しさの涙を忘れず、また議案書と真剣に向き合うことを忘れずに今後のJC生活に生かしていきたいと思えます。1年間支えてくれた委員会メンバー、担当副理事長に感謝しております。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

担当副理事長所見

本年は、ここ近年にない会員拡大と交流とを一つにした委員会での事業を展開実施いたしました。さらに、50周年記念大会もあり毎年交流委員会が事業として行ってきた名寄青年会議所との交流事業はありましたが、毎年行われる交流委員会とはより一味違う一年間の活動になったのではないのでしょうか。交流系事業では市民駅伝の参加・花見の段取り・牛深ハイヤへの参加・明豊躍友会での踊りの競演ならびに外部イベントへの踊りや地方での参加・天草ハイヤへの参加・大忘年会の企画運営。特に、明豊躍友会ではこれまでにない初めての取り組みでいろいろ大変ではあったと思いますが、委員長としての担いを全うし外部からの依頼に対応してのイベントへの参加においては多くの方との交流を図ることが出来、メンバー間の交流もしっかり図れたのではないかと感じております。また、会員拡大系では小田原青年会議所OBで日本青年会議所にて活躍されておられた上田先輩を講師としてお招きしての講演会開催。上田先輩の講演を聴くためまた、思いを伝えるために直前理事長、委員長とともに宮崎にいったことやこの天草までお越しいただき熱意ある講演をしていただいたことは今でも記憶に鮮明に残っております。

この二つの難しい柱を通年担う委員長として、常に議案と向き合いながら取り組んだことで多くの気づきや学びを得てもらえたと感じております。会員拡大と交流。今、振り返ってみると通年行うこの二つ事業が本当にハイブリッドする事が出来たのであれば、さらによりよいサイクルが生まれ、会もより活性化に導くことが出来たのではないかと痛感いたしました。私自身の力不足により委員長ならびに委員会メンバーにうまく伝えきれなかったことにとっても悔しさが残ります。しかし、運営側としての視点、また担当副理事長兼大懇親会部会長としていろいろな事を考えさせていただける良い一年間となりました。委員長にそして委員会メンバーの皆様へ感謝いたしております。このような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

2013年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所 委員会年間事業報告書

- 委員会名：まちづくり委員会
- 担当副理事長名：松岡大輔
- 委員長氏名：尾崎友彦
- 副委員長氏名：谷端利則
- 委員氏名：武部英広、小浦一馬、稲山 豪、倉田政幸、赤城清志、渡辺隆文、濱 欽亮

I. 事業名【まちづくり事業】

1. 事業目的

(対外)

天草島民が花から元気を貰い、地域全体を盛り上げていくきっかけを作る事を目的とします。また、フラワーアートを島内、島外者に触れ合ってもらう事で、天草に興味を抱いてもらうリピーターを増やし、天草の経済を活性させるきっかけを作る事を目的とします。

(対内)

天草島民と共に活動する中で、郷土を愛し、島民を愛する心を育む、地域のリーダーとしての意識の向上を目的とします。

2. 実施日時・場所

【事業当日】

2013年5月19日(日) 9時00分～11時50分(メンバーフラワーアート準備)

受付：12時30分～ 開会：13時5分 終了：17時40分(フラワーアート)

花壇作成：5月18日(土) 11時00分～15時30分

作品撤去：8月17日(土) 14時00分～16時30分

於：西の久保公園 天草市本渡町本戸馬場

【花しょうぶ祭り】

2013年6月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)

(花しょうぶ祭り協賛：花しょうぶの苗抽選配布)

於：西の久保公園 天草市本渡町本戸馬場

【花の苗配布・事業パネル展示】

2013年7月5日(金) 18時00分～21時06分

(記念事業パートI時 パネル展示・花の種配布)

7月6日(土) 14時00分～16時50分(記念式典時 パネル展示)

於：天草市民センター 天草市東町3番地

8月10日(土) 18時00分～21時00分

(記念事業時パートII パネル展示)

於：本渡中央銀天街スマールパーク 天草市中央新町

【事前体験会(メンバー対象)】

2013年5月11日(土) 9時00分～11時30分

(天草空港でのフラワーアート体験)

作品撤去：6月22日(土) 13時00分～15時00分

於：天草空港敷地内公園 天草市五和町城河原1丁目2080-5番地

3. 参加人員

【事業当日】

(外部) 天草島民	6名
講師	2名
メンバー家族	5名
外部小計	13名
(内部) 役員	19名
メンバー	3名
内部小計	22名
合計	35名

【花しょうぶ祭り】

(外部) 来場者 27,000名(天草市発表)

【記念事業パートⅠ時：花の種配布・事業パネル展示】

(外部) 一般来場者	530名
来訪JC	19名
シニアクラブ	18名
来賓	12名
協賛各社	30名
名寄JC	18名
外部小計	627名
(内部) 役員	21名
メンバー	19名
内部小計	41名
合計	668名

【記念式典時：事業パネル展示】

(外部) 来賓	32名
来訪JC及びOB	67名
シニアクラブ・OB	43名
名寄JC・シニアクラブ	29名
外部小計	171名
(内部) 役員	22名
メンバー	17名
事務局員	1名
内部小計	40名
合計	211名

【記念事業パートⅡ時：事業パネル展示】

(外部) 綱引参加チーム 208名

餅投げ参加者	多数
歴代理事長	16名
本渡中央商店街	
振興組合メンバー	3名
外部小計	227名超
(内部) 役員	24名
メンバー	13名
内部小計	37名
合 計	264名超

【事前体験会】

(外部) 講師他	3名
メンバー家族	6名
外部小計	9名
(内部) 役員	13名
メンバー	6名
内部小計	19名
合 計	28名

4. 事業内容

- ①フラワーアートに触れ合う事で植える楽しさ、育てる楽しさを感じて貰い天草市が推進している花いっぱい運動に興味を持って貰う。
- ②事業当日に講師の方から参加者を対象とした、花壇作り教室をしてもらい興味を持って貰う。
- ③保育園児を対象とし、家族ぐるみで花に興味を持って貰う。
- ④メンバーには、事前に花壇づくりのレクチャーを受けて貰いリーダーとしての意識づけを行う。
- ⑤花しょうぶ祭りの来場者にもフラワーアートに触れ合ってもらう。
- ⑥花しょうぶ祭り時の花しょうぶの苗抽選配布事業に一般社団法人天草本渡青年会議所創立50周年記念として協賛する。
- ⑦周年大会時にパネル展示し、花いっぱい運動を推進する。
- ⑧周年大会時に花の種を来場者に配布して花いっぱいのまちづくりのきっかけを作る。

5. 成果

(対外)

花しょうぶ祭りに合わせてフラワーアート作成、披露し、直に触れてもらうことで、来場者に元気や安らぎを与え、花で天草を盛り上げていこう、天草でこういった事業ができるということを広く知らせ、更には記念事業時に花の種を配布することで、将来的に花いっぱいの天草になるきっかけを作ることができた。

(対内)

今回の事業に際し、協力団体（熊本県、天草市、花しょうぶ祭り実行委員会等）や島民と共に活動することを通して、一般社団法人天草本渡青年会議所を広くアピールすることができ、かつ、地域のリーダーとしての意識向上を図る機会とすることができた。

6. 引継事項

【日程選定等】

①事業を花しょうぶ祭りに合わせ5月実施としたために事業計画に費やす時間が少なくバタバタとなってしまいました。イベント等と抱合せて事業を組み立てる場合は、年度計画時よりきちんとイメージを持って相手方と打ち合わせを行い、事業計画や実施期日を組み立てるようにしてください。

②今回は花しょうぶ祭りに合わせ、花が祭りの際に見ごろになるように5月に実施しました。しかしながら、学校の運動会やトライアスロン大会もあり、合間を縫って期日を設定したものの、参加者の参加が多く期待できる日曜日という期日設定を予備日を含めてうまく設定することができなかったため、事業日、予備日の設定は各地域行事等も踏まえて行ってください。

【案内・参加促進】

③今回は保育園児とその家族が対象ということで、園長会に出向いてお願いしたもののうまく参加促進できませんでした。印刷業者から園の外で出迎えに来る家族に対して手配りを行うとより効果的であるとのアドバイスがありましたので、今後保育園児を対象とした事業を行う際の参考にしてください。また、青少年育成事業を行っている小学生以上と比べ、まだまだ保育園や園児の家族への天草本渡青年会議所の認知度が低いと考えられます。例えばJ Cサッカーフェスティバルみたいな事業を保育園児対象として行うなど、幅広い年代へ認知度を浸透させるような事業展開もご検討ください。

④今回、総務広報委員会のご協力でホームページやフェイスブックで事業周知を行っていただきました。事業の参加促進に繋がらなかったものの、反応を見るといろいろと良い評価をいただいていたので、今後も広報担当委員会と連携して事業周知を図ってください。

【準備面】

⑤今回はフラワーアート作成のイメージを持ってもらうために事前体験会を実施しました。しかしながらポット植えを行ったために、花を植える手間がどれぐらいのものなのか推測する事ができず、事業本番では大幅に時間を押してしまいました。やはりリハーサルを行う際には本番と同様の動きをすることが必要と思いますのでご注意ください。

⑥今回は花壇設置や、花ポット撤去、花壇撤去と急きょメンバーの皆さんの協力をお願いすることが多くありました。やはり計画の上できちんとスケジュールを立てないと皆さんにご迷惑をおかけしますので、計画段階できちんとスケジュールを組むようにしてください。また、撤去後に再利用できるものはきちんと期間を定め、不要となったら速やかに処理するようにしてください。

⑦屋外で行う事業で紙資料等を配布される場合は、天候によっては資料が濡れたり破損することが想定されますので、事前にパウチ加工を行っておくなど、天候に左右されない対策もご検討ください。

【運営面】

⑧当初は講師よりメンバーが花の植え方等を学び、事業参加者にメンバーが指導してフラワーアート作成を行う予定でしたが、フラワーアートの図柄合わせや参加者が少なかったことにより、うまくメンバーにリーダーとしての意識を落とし込む事ができず、結局は参加者と一緒になって花を植える作業となってしまいました。担当委員会がしっかりとリーダーシップを発揮して事業目的どおり達成できるよう意識を持って事業に臨んでください。

⑨事業当日は曇り時々雨という天候で、結果的に事業日の午後は大丈夫だったのですが、事前申込された方の欠席もありました。今回は準備作業の午前中に理事長と協議を行いました。屋外の事業実施の判断は執行部としっかりと打ち合わせを行い開催の有無を判断してください。

【予算面】

- ⑩郵送での配布物がある場合、できる限り本番を想定した金額を計上するようにしてください。
- ⑪保険料に関しては事前払いのため、事業参加者のおおよその見込み数での支払いとなります。予算計画時は最大限の人数での予算計上も致し方ありませんが、現実には即した予算計上もご検討ください。
- ⑫花の種の購入に関しては当初計画より天草市への協力依頼を行っていましたが、年度替りの時期であったため、計画時には協力の確約が得られませんでした。対外に協力を仰ぐ場合は相手方の都合を把握し、事業実施前であれば修正予算を組むことも念頭に置いて予算計上を行ってください。
- ⑬借用した場所の復旧や処分に関しては、事前に相手方に確認したものの、状況に応じて対応が変わることがありますが、元通りに復旧・処分してお返しすることは当然のことですので、相手方としっかりと対応について調整を行ってください。

【花いっぱい運動に関して】

- ⑭現在、天草市では「花咲プロジェクト」と題して国道沿いに花のプランターを飾り、更なる花いっぱい運動を展開されています。天草本渡青年会議所でも事務局花壇などを活用して来年度以降もこの運動に協力できような取組をご検討ください。

委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012. 8. 11	黒船	年間事業計画について	2名	7名	22%
2	2012. 9. 14	J C会館	年間事業計画について	2名	7名	22%
3	2012. 9. 26	J C会館	年間事業計画について	2名	7名	22%
4	2012. 10. 11	J C会館	年間事業計画について	3名	6名	33%
5	2012. 12. 19	J C会館	まちづくり事業について	3名	6名	33%
6	2012. 12. 25	J C会館	まちづくり事業について	2名	7名	22%
7	2013. 1. 29	J C会館	まちづくり事業について	3名	5名	37%
8	2013. 2. 13	J C会館	まちづくり事業について	3名	5名	37%
9	2013. 2. 19	J C会館	まちづくり事業について	2名	6名	25%
10	2013. 2. 21	J C会館	まちづくり事業について	2名	6名	25%
11	2013. 3. 2	J C会館	まちづくり事業について	2名	7名	22%
12	2013. 4. 18	J C会館	まちづくり事業について	1名	8名	12%
13	2013. 5. 7	J C会館	まちづくり事業について	1名	8名	12%
14	2013. 5. 10	J C会館	まちづくり事業について	2名	7名	22%
15	2013. 5. 18	J C会館	まちづくり事業について	2名	7名	22%
16	2013. 10. 4	J C会館	まちづくり事業について	2名	7名	22%

委員長所見

委員長として、本当に自分で大丈夫なのか不安いっぱいの中で始まった一年でした。楽しくメリハリのある委員会運営を目指していましたが、委員長としての考えがまとまっていなかったなど、反省する所が多く、自分の考えを解りやすく確実に伝える事の大事さを改めて感じる事が出来ました。当青年会議所で初めての試みであるフラワーアートを用いてのまちづくり事業を行い、まず何からやればいいものかも解らない中、松岡担当副理事長、谷端副委員長はじめ、委員会メンバーと話し合いながら一つ一つ解決していく事で委員会メンバーの中でより強い絆が築けたと思います。

違う視点から天草を見つめ直す事で、今までと違う方法で天草を活性出来る方法がある事を気づかせてもらった事業だと思えます。郷土愛を育み地域と協力しながら天草の新たな可能性を見出す事の出来る団体でありたいと思えます。

松岡担当副理事長、谷端副委員長はじめ、委員会メンバーに支えてもらった一年でした。本当にありがとうございました。皆様に、いろんな事を学ばせてもらい、本当に素晴らしい時間を過ごす事が出来、感謝申し上げます。

担当副理事長所見

本年は50周年記念大会の部会長職と兼務しながらの副理事長でしたので、時間を作る難しさを痛感した一年でした。委員会メンバーもLOM事業と周年事業を平行しながらの事業構築でしたので、大変でもあり貴重な一年を経験したと思えます。そのような中に委員長が転勤で地元を離れるといった事態に直面し、谷端副委員長をはじめ委員会メンバーの不安は想像を超えるものだったと思えます。そのような状況で委員長と副委員長が連絡を密に取り合いながら、事業を構築・成功へと導けた事は副委員長の豊富な経験と委員長の熱い想いだったと考えます。起こりえる事態は想像できないけれど、その直面に出会った時に、どう行動し、どういった言葉を掛けるか、そして、どういう方向に持っていく事業成功へ導くのか。人として一回りも二回りも大きくなるような経験をさせてもらいました。

委員長が作成した事業計画書の中に「沈んだ気持ちで帰ってきてても身近な家庭の中に一輪の花や、花瓶に飾ってある花を見るとふっと気持ちが穏やかになり、自然に力が出てくる事があります。人は喜ぶと幸せを感じ、幸せを感じる場所に人が集まって来ます。」という文言があります。私の家の玄関にはフラワーアート事業で使用して残った花がプランターに植えられています。5ヶ月経った今でも元気に咲いています。そして元気を貰っています。

今年1年の貴重な経験は私の財産となりました。この財産を元に更なる成長へ繋げていきたいと思えます。1年間本当にありがとうございました。

2013年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所 委員会年間事業報告書

- 委員会名：総務広報委員会
- 担当専務理事名：吉永陽三
- 担当室長名：金子友理子
- 委員長氏名：久木山智哉
- 副委員長氏名：野崎亜季子
- 委員氏名：小林三剛、大塚貴洋、中本太樹、益田友和、松浦光毅、菅原秀仁、福田八起

I. 事業名【機関誌あしなみの発行】

1. 事業目的

(対外)

地域発展へ向け、青年会議所の取り組みや想いを積極的に発信することで、青年会議所への認知度の向上と、活動への理解を深めてもらうことを目的とする。また、青年会議所活動に共感を持っていただき、自分にできることを実践しようとする最初の一步を踏み出してもらうことにつなげる。そして、創立50周年事業への周知を図る。

(対内)

2013年度の理事長や各委員会の想い・活動方針を理解していただく。また出向先の取り組みを発信し、活動への理解につなげる。さらに新入会員拡大にも活用していただく。

2. 実施日時・場所

【事業当日】

実施日時：2013年5月27日（月）メンバー配布

実施場所：肥後銀行天草支店三階大会議室

創立50周年記念大会全体会議

実施日時：2013年6月10日（月）一般関係諸団体・シニアクラブ郵送

実施日時：2013年7月5日（金）一般配布

実施場所：天草市市民センター

創立50周年記念大会基調講演会

実施日時：2013年5月27日（月）メンバー職場設置

実施場所：設置枚数：とらや（20部）黒船（20部）天草海鮮蔵（10部）

大富士（10部）幸寿司（10部）山藤屋グループ（50部）

ランドリーハウスオリーブ（30部）サンスマイル（20部）

イソップ製菓（20部）ホテルアレグリア（30部）

TSUTAYA（20部）向陽寺（20部）zeal tribe（10部）

3. 参加人員

【事業当日】

（外部）名寄市市長 加藤 剛士氏	1名
シニアクラブ代表世話人 明瀬 実氏	1名
外部小計	2名
（内部）役員	24名
メンバー	40名
内部小計	64名
合 計	66名

4. 事業内容

2013年度のあしなみは、目で見て読んで楽しめる紙面づくりを目指して既存スタイルを変更し、インタビュー企画等を行うと共に、すべての原稿について「一人の力が集まれば、まちづくりにつながる」という趣旨を盛込んでいただき、各委員会・出向委員会の取組みを発信・周知する。また、創立50周年の記念すべき年の発行でもあるため、地域の方々へ広く青年会議所の活動を発信する。

①【表紙】1ページ

表紙のレイアウトを、従来のタイトル・テキストという紙面ではなく、タイトル・全面写真（天島の島々）・特集記事紹介といった雑誌に見られる形式で手に取って頂けるような工夫を行う。

②【理事長・シニアクラブ代表世話人挨拶】2～3ページ

理事長とシニアクラブ代表世話人の写真及び挨拶を掲載。

天草本渡青年会議所発足から現在までの50年間の歴史を簡易年表で掲載し地域への感謝を発信する。

③【友好JC締結20周年特別企画】4～5ページ

<友好JC締結20周年特別企画>

天草本渡青年会議所と名寄青年会議所の友好JCの歴史、魅力について発信する。

- ・友好JCについて
- ・名寄市紹介
- ・加藤市長プロフィール
- ・インタビュー企画

～田舎の宝探し！元気な郷土をつくろう～をテーマに名寄市長加藤剛士氏に取材を行う。JCでの経験を基に市長を務められているという部分と、青年会議所の地域を越えた友情や活動、ネットワークについて、対外に発信する。一般の方にも興味を持っていただけるよう、企画の中で天草の事例にも触れ、ひとづくり・まちづくりと青年会議所活動が融合する内容を盛り込む。

④【50周年記念大会ページ】6～7ページ

50周年ページ。主に50周年記念事業紹介と告知を中心に掲載することで50周年記念事業大

会への参加を促す。

⑤【委員会事業紹介・告知】 8ページ

委員会事業紹介と告知。各委員会の事業紹介事業に対する想いを発信し、委員会事業の告知とアピールを行う。

⑥【JCI Nothing But Nets キャンペーン告知】 9ページ

JCI Nothing But Nets キャンペーンの発信。

出向者より原稿作成して頂き、マラリア蔓延防止と撲滅に向けて、その活動の重要性を発信する。憲法タウンミーティングの発信。青年会議所の取り組みと、憲法について知ることの重要性を発信する。一人の力でもできることをわかりやすく伝える。

⑦【会員企業紹介】 10～11ページ

会員企業紹介。会員の所属企業のPRも兼ねて紹介する。企業名とPRを一言。

1頁に約30社×2頁 計60社、一社25ミリ×55ミリ程度の枠。

会員へ電話にて掲載内容の確認を取ったあと、ページレイアウトを作成し、原稿を確認して頂く。

⑧【会員拡大】 12ページ

・会員拡大について。青年会議所が行っている活動内容や入会して感じる事や学べることなどを簡潔に文章で掲載。また実際の活動風景・事業等の写真も掲載する。

・ホームページへのアクセス促進記事を掲載する。

・青年会議所関係団体会議並びに出向先一覧について掲載する。

⑨ホームページからあしなみ171号をダウンロードできるよう、アップを迅速に行う。

また、拡大活動にもつなげるために50周年記念大会での配布を行う。

5. 成 果

(対 外)

①理事長あいさつをはじめ、地域を越えて活動する青年会議所の取組み、今年しか掲載できない創立50周年記念事業、また、新たに企画したメンバー企業紹介など当青年会議所の魅力を多方面から発信できる機関誌が完成し、多くの人が集まる記念大会で配布したことで、青年会議所への認知度の向上と活動への理解を深めてもらうことに繋がった。

②青年会議所が日本中で地域へ呼びかけ推進している事業、また、天草本渡青年会議所の事業紹介を通して、「一人の力が集まれば、まちづくりにつながる」ことを知ってもらえ、読んだ方にも身近なまちづくりへ踏み出す一歩を感じてもらうことができた。

③あしなみ配布対象者433名と、メンバー企業設置分の配布数が109枚配布できたことにより、記念大会の基調講演会の告知と、50周年記念事業である青少年健全育成事業・まちづくり事業への周知に繋げる事ができた。また、地域の方々と共に行動することへの思いを込めた50周年実行委員長からの挨拶を掲載し、記念大会参加者へ配布することで、多くの方々に50周年事業の周知をすることができた。

(対 内)

- ①皆心～愛する郷土と、愛する人々のために～のスローガンのもと、理事長あいさつを通し、当青年会議所の年間方針やメンバーに対する想い、事業を行うにあたっての姿勢を伝えて頂いたことでメンバーに本年度の当青年会議所の活動を理解してもらうことができた。
- ②会員拡大のツールとして新入会員候補者に配布し青年会議所活動を知って頂き、会員拡大に役立ててもらえた。

6. 引継事項

【原稿収集、原稿依頼】

- ①今回の会員企業紹介ページのように、答えが確定した記事には、メンバー一人ひとりに直接電話で掲載内容の確認を行った方が早めの入稿につながります。
- ②今年は当初の予定していた対談者のアポイントが、ギリギリまで取れなかった為、企画を再検討したため上程スケジュールが1ヶ月遅れてしまいました。直接本人との打合せが困難な場合は、期日を決め確約を頂けない場合は別企画を検討されていた方が良いと思います。
- ③原稿依頼をする際は、記事の掲載内容を明確に伝え、タイトルや文字数なども確実に文章やメールなどを用い、1ヵ月程度期限を持ってお願いされた方が良いです。また、写真を掲載する場合は掲載の許可なども事前にとっておいた方が良いと思います。今回、写真の入稿が遅れたため、出版業者の方にご迷惑をかけてしまいました。
- ④インタビュー内容を伝えたい趣旨に沿って要約し、原稿にした後、確認を取る作業まで1ヶ月半程度の時間が必要になります。インタビューを行う際は上記スケジュールを参考に計画をたてたほうが良いと思います。
- ⑤原稿を依頼する場合は口頭での依頼ではなく、紙面での依頼が良いと思われれます。口頭では聞き違いや聞き漏れが生じてしまいます。

【発送準備】

- ⑥本年度は1回の発行でしたが発送までの時間を短くするために、引き継ぎ資料として報告書以外にあしなみの送付状、送付状宛名一覧、送付状宛名差し込み印刷用、配布リストの一覧、タックシール一覧を参考として添付しますので、次年度の発行に活用してください。
- ⑦今後も学校の統廃合があります。教育委員会に確認を取り、配布先リストの精査を行ってください。

【原稿チェック】

- ⑧今回は最終確認の際、誤字を見逃していた。最終確認は、隅々まで一人ではなくメンバーで確認すると良いと思います。

⑨今年度は印刷会社様と打ち合わせの際に入稿の原稿データはメモ帳か word で、数字は半角または、全角に統一、改行時はスペースを用いて入稿してくださいと、ご指示を頂きました。印刷会社の担当者により異なる場合があるかとは思いますが、全体のレイアウトが決まり次第、担当者と相談し、可能な文字数、入稿方法、原稿を作る際の注意事項などをあらかじめ伺うと修正箇所が少なくなります。

⑩写真掲載をする場合は、開催事業内容がわかるように文章を入れ込んだ記載をすると読み手に対して、青年会議所の活動内容を理解してもらいやすくなります。

【その他】

⑪あしなみは会員拡大のツールとして役立つと思いますが、あしなみだけでなく、LOM内広報誌との併用でより多くの人に興味をもっていただけるのでご検討ください。

⑫原稿のチェックと掲載写真の選別に時間がかかります。写真を掲載するのであれば数多くの取材を行い、沢山のデータから興味をもって頂ける写真を選べるように心掛けてください。

⑬設置場所への配布について、設置後3ヶ月を目安に残数の確認を行い、残数の少ない設置場所には、設置場所の責任者に確認を取り、補充を行ってください。

⑭発行月について、本年は50周年記念大会をメインに考え、一番多く地域の方へお渡しできる時期として、年1回5月～7月を発行月としました。事業内容の発信としては良かったのですが、LOM事業・日本やブロック協議会事業の事前周知には繋がりませんでした。その年度に誰に何をメインに伝えたいかで発行月は変わってきますので、掲載内容に合わせ最適な時期を選定して下さい。また、事業告知を盛り込む場合は、対外発信時期や募集期間等を考慮して下さい。

II. 事業名【ホームページの管理】

1. 事業目的

(対外)

一般社団法人天草本渡青年会議所の活動や情報、事業への思いを閲覧者にわかりやすく発信し、当法人の対外的認知度の向上に繋げる。

(対内)

メンバー間の交流・情報共有の場として利用してもらえるホームページの運用を目指す。

2. 実施日時・場所

通年随時

3. 参加人員

(外部) WEB対象者 不特定多数

(内部) 役員 24名

メンバー	40名
------	-----

内部小計	64名
------	-----

64名+WEB対象者

4. 事業内容

- ①各事業等の取材活動を行い、随時更新を行う。
- ②対外に向け各事業の告知や報告を、画像等を使いわかりやすく発信することで、当青年会議所活動の認知に繋げる。
- ③フェイスブックなどのSNSを使いより多くの人へ発信する。
- ④メンバー向けに利用方法の確認を行う。

5. 成果

フェイスブックページを使い各事業の様子をアップしたことにより、多くの人に閲覧していただき、当青年会議所の事業の周知と、認知度の向上につなげることができた。

6. 引継事項

- ①ホームページの更新において、管理者であるエムズ様と、どのようにホームページにアップするか検討した方がよい。
- ②事業の写真を撮った際など、フェイスブックページへの掲載情報の収集先を決め、すぐに更新できる体制を整えて下さい。また、掲載内容は管理者が必ず確認して更新するようにして下さい。
- ③取材で撮った写真はドロップボックスを活用し共有することで、写真データのやり取りが容易になりますが、画像データは容量が大きいため、ドロップボックスの容量がいっぱいになることがあるので、定期的に事務局のパソコンに保存するようにして下さい。

Ⅲ. 事業名【LOM内広報誌の発行】

1. 事業目的

(対内)

J C活動の中でおこる出来事や人の魅力を定期的に伝え、青年会議所に興味を持ち、意欲的に活動・運動に参画してもらうために広報誌を発行する。

2. 実施日時・場所

2013年	1月 24日 (木)	1月度例会・第1回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	2月 15日 (金)	2月度例会 牛深海彩館2階会議室
	3月 15日 (金)	3月度例会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	4月 15日 (月)	4月度例会 カラオケホールベストテン
	5月 24日 (金)	5月度例会・第2回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	6月 17日 (月)	6月度例会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	7月 24日 (水)	7月度例会・第3回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	8月 27日 (火)	8月度例会・第1回臨時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	9月 17日 (火)	9月度例会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	10月 16日 (水)	10月度例会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	11月 15日 (金)	11月度例会 天草宝島国際交流会館ポルト3階多目的ホール
	12月 16日 (月)	12月度例会 ホテルアレグリアガーデンズ天草

3. 参加人員

(内部)	入会候補者	10名
	役員	24名
	メンバー	40名
	内部小計	64名
		74名

4. 事業内容

月1回、例会時に配布する。委員会や事業の他にも取材へ出向き、より多くのデータを収集する。メンバーが興味をもってもらえるよう、さまざまな企画を立て、楽しい誌面にする。L

OM内の出来事を愉快地に伝え、事業への参加を促すと共に、事業へ参加できなかったメンバーへの報告を行う。

5. 成 果

- ①広報誌を通じメンバー同士のコミュニケーションのツールとして活用してもらえた。
- ②表面を各事業の報告、裏面をメンバー同士の和気藹々とした雰囲気の写真を載せたことで、より青年会議所活動の楽しさを伝えることができた。

6. 引 継 事 項

- ①発行日までの計画を立てて、役割分担を行い、原稿作成を行うと効率が良いです。
- ②各事業への取材はもちろんですが、委員会メンバーが参加できない時は、他のメンバーに取材を依頼したことで円滑に取材活動が行えました。委員会メンバーが参加できない事業の時は、参加メンバーを確認し事前に取材を依頼された方が良いでしょう。

IV. 事業名【理事会の設営・運営補佐・議事録の作成・保存】

1. 事業目的

理事会を有意義な会議とするために、速やかな会場設営・運営補佐を行う。また次へ繋がる確かな資料として発言者の意図が正確に伝わるような議事録を作成・保存する。

2. 実施日時・場所

2013年	1月	9日(水)	第1回理事会 JC会館 会議室
	2月	8日(金)	第2回理事会 JC会館 会議室
	3月	7日(木)	第3回理事会 JC会館 会議室
	4月	9日(火)	第4回理事会 JC会館 会議室
	5月	9日(木)	第5回理事会 吉永産業 3階 会議室
	6月	10日(月)	第6回理事会 JC会館 会議室
	7月	9日(火)	第7回理事会 JC会館 会議室
	8月	8日(木)	第8回理事会 JC会館 会議室
	9月	9日(月)	第9回理事会 JC会館 会議室
	10月	9日(水)	第10回理事会 JC会館 会議室
	11月	8日(金)	第11回理事会 JC会館 会議室
	12月	9日(月)	第12回理事会 JC会館 会議室
	12月	26日(木)	第13回理事会 JC会館 会議室

3. 参加人員

(内部)	役員・理事	3名
	メンバー	7名
	内部小計	10名
		10名

4. 事業内容

- ①委員会メンバーで協力し理事会の設営を行う。
- ②委員会で役割分担・協力し、マニュアルに則った議事録を作成し、次回理事会時に提出す

る。

5. 成 果

- ①WEB会議を行うことにより理事会の時間短縮につながった。
- ②アジェンダシステムを使い議案データをより見やすくすることができた。
- ③マイクシステムを使うことにより、理事会の音声データを聞き取りやすくすることができ、作成の効率化につながった。

6. 引 継 事 項

- ①議案データについて、HTML方式への変換の周知を行って下さい。
- ②マイクシステムを使う際はワイヤレスマイクの電池残量の確認と、録音可能容量の確認を行うようにして下さい。
- ③ボイスレコーダーソフトがWindows 8に対応していません。議事録作成を行うメンバーのパソコンを確認し、音声データの方式の変換を行うか、ICレコーダーの購入を考えるかご検討下さい。
- ④理事会が長時間に及ぶことがあります、数名のメンバーに分担すると効率が良い場合がありますので、ご検討下さい。その際は、スムーズな振分けと、各担当議事録の回収期日明確にすることを、お勧めします。
- ⑤HTML方式は修正及び配信がしやすい・データが軽いという利点がありますが、資料提出や議案差換えの期日管理を徹底しないと、どの時点が最終データかわかりにくくなるケースがあり、資料を保存時に混乱を招くおそれがあります。最終データ管理者を明確にしておく、または配信後の修正がある場合は、自己責任で資料を準備するなどのルールを決め、徹底することをご検討下さい。

V. 事業名【総会の運営・補佐・議事録の作成・保存】

1. 事業目的

総会はメンバー全員が会し、会の方針を決める会議であるため、議決権を持つメンバーが、わかりやすい情報発信を行うと共に、スムーズな進行を行うために、専務理事の運営補佐を行う。また、会の決定事項と発言者の意図が正確に伝わるような議事録を作成・保存する。

2. 実施日時・場所

2013年	1月	24日（木）	1月度例会・第1回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	5月	24日（金）	5月度例会・第2回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	7月	24日（水）	7月度例会・第3回定時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室
	8月	27日（火）	8月度例会・第1回臨時総会 肥後銀行天草支店3階大会議室

3. 参加人員

(内部)	役員・理事	3名
	メンバー	7名
内部小計		10名
		10名

4. 事業内容

- ①総会の会場設営や準備、議事録作成・保存をスムーズに行うために、委員会メンバーが役割分担・協力を行う。
- ②参加促進に繋げるための案内準備を的確に行い、声を掛け合い多くのメンバーの参加に繋げる。

5. 成果

- ①総会の会場設営は、エンジョイ例会委員会と協力し、スムーズに行うことができた。
- ②総会資料をホームページにアップすることにより、メンバーが速やかに総会資料を見る環境を整えることができた。
- ③総会議案について、書面議決を取り入れたことにより、欠席メンバーの意見を反映することができた。

6. 引継事項

- ①本年度より欠席の場合の議決権の行使について、書面決議と委任状を用いました。書面議決を行う際は、欠席者の意見が正確に活かされるように、委任者の確認など、事前準備をしっかりと行って下さい。
- ②総会の議案の内容によっては書面議決では難しい時があります。その場合は委任状で対応しま

した。議題の議決の取り方については、執行部と相談し決めてください。

③メンバーに一人一人が総会の議決権を持っていることと、総会資料を確認する重要性を伝えてください

③総会議案をホームページへアップする際は、一斉メールでメンバーに周知して下さい。

委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内 容	出席	欠席	出席率
1	2012. 9. 8	J C会館	年間事業計画	5	5	50%
2	2012. 10. 29	J C会館	年間事業計画 HP更新・理事会議事録	4	6	40%
3	2013. 1. 17	J C会館	機関誌あしなみ HP更新・理事会議事録	4	6	40%
4	2013. 1. 21	J C会館	機関誌あしなみ・第1回定時総会 LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
5	2013. 2. 14	J C会館	機関誌あしなみ・HP更新 LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
6	2013. 3. 14	J C会館	機関誌あしなみ LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
7	2013. 4. 13	J C会館	機関誌あしなみ LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
8	2013. 4. 19	J C会館	機関誌あしなみ・理事会議事録	4	6	40%
9	2013. 5. 23	J C会館	機関誌あしなみ・第2回定時総会 LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
10	2013. 6. 15	J C会館	LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
11	2013. 7. 23	J C会館	第3回定時総会 LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
12	2013. 8. 26	J C会館	第1回臨時総会 LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
13	2013. 9. 16	J C会館	機関誌あしなみ LOM内広報誌・理事会議事録	5	5	50%
14	2013. 10. 15	J C会館	LOM内広報誌・理事会議事録	4	6	40%
15	2013. 11. 14	J C会館	LOM内広報誌・理事会議事録 年間事業報告	4	6	40%
16	2013. 12. 15	J C会館	LOM内広報誌・理事会議事録 年間事業報告	4	6	40%

委員長所見

本年は、初理事として委員長を仰せつかり、希望と不安のスタートでした。

広報活動を通じ、当青年会議所の取組を多くの人に知ってもらうことができ、少しでもまちづくりへ関心を持っていただけたのではないかと思います。また、あしなみでは、外部の方へのインタビュー、メンバーの皆様にも協力を頂けたことは、「一人の力が集まれば、まちづくりにつながる」委員会の想いを発信できたのではないかと思います。

当委員会は通年事業が多く、また私が慣れていないこともあり委員会メンバーには多大な迷惑をかけてしまいました。忙しい時間をやり繰りして委員会に参加してくれたメンバーに感謝の言葉しかありません。人とのつながりの大切さを痛感した一年でした。

吉永専務理事、金子室長、野崎副委員長、委員会メンバー、当会議所メンバー、周りの多くの人たちに感謝申し上げます。この一年間本当にありがとうございました。

担当専務理事所見

本年の総務広報委員会の活動として、機関誌あしなみの発行、ホームページの管理、LOM内広報誌の発行、理事会の設営・運営補佐・議事録の作成・保存、総会の運営・補佐・議事録の作成・保存、を担当致しました。

機関誌あしなみの発行については、今年が天草本渡青年会議所創立50年と言う記念すべき年であり、記念大会について、そして各委員会の活動内容を地域の方々へ広報し、理解を深めてもらうことを目標にしておりましたが、予定通り大会中に配布する事ができ、外部の人達にも広く読んで頂いた事は委員会の努力が実ったものであると思います。

ホームページの管理については通常の管理に加え、今年からSNSサービスを活用する試みを行い、記念大会の準備状況、カウントダウンをメンバーの皆様にお知らせするなど交流と情報共有に大きく寄与しました。

LOM内広報誌については、メンバーの方々に興味を持って読んでもらえる様な楽しい紙面を作成することを目標とし、事業の雰囲気を出席出来なかったメンバーにも伝える事で他の事業への出席率を上げる事に成功したと確信します。勿論楽しいだけの紙面ではなく、写真を多く載せる事によって、50周年記念大会のあった年に相応しい当時の内容を伺い知れるような紙面である事も特筆すべきところです。

理事会の設営と運営補佐、総会の開催については、例年会議を担当される委員会と同じく、会議開始時間前には委員会のメンバーが準備を完璧に整え、会議の運営を通常スムーズに行えたことは執行部としてお礼を申し上げます。今年初めてHTML方式での提出、WEB会議等の新しい試みを実行することができ、議案上程するメンバーには慣れて頂く事に随分苦労した部分があった様ですが、例年と変えた事による利点を多く得る事ができたと思います。

委員会にとって50周年記念大会が開催されるという節目の年に総務広報委員会を担う機会が得られた事は委員会メンバーにとっての収穫であり、次年度から別の委員会に配属されてもその経験が活かされるであろう事は専務理事として担当させて頂いた私にとって最大の喜びです。今後さらに研鑽を積み、天草本渡青年会議所の将来を担う人材になると期待しています。

専務理事として委員会を監督させて頂きましたが、私に未熟な点が多々あり、委員会には大変迷惑をかけたと反省しております。委員会の頑張りのお陰でこの大役を全うできたものと思います。一年間誠に有難うございました。

2013年度 一般社団法人 天草本渡青年会議所 委員会年間事業報告書

- 委員会名：青少年委員会
- 担当副理事長名：長山直仁
- 委員長氏名：前田知洋
- 副委員長氏名：高山唱太郎
- 委員氏名：荒木圭一 余宮貴之 松永英也 南平礼 泉貴雄 山下大輔 齊藤昇

I. 事業名【第3回 J Cサッカーフェスティバル天草】

1. 事業目的

経験はすべての子ども達にとって一生の財産となります。仲間と共通の目標を持ち、日頃の練習の成果を発揮することで、スポーツを通じて少しでも多くの経験を積んでもらい、子ども達がたくましく成長することに繋げる。

また、目的達成意欲の向上や心の成長、そして達成感や連帯感を体感して頂くなど、児童・青少年の心身の健全な育成を涵養することを目的とする。

2. 実施日時・場所

【メンバー説明会】2013年2月4日（月）5日（火）20：00～21：00 J C会館

【事業当日】 2013年2月9日（土） 9：00～15：00 10会場

本町小学校・二江小学校・志岐小学校・錦島グランド・佐伊津小学校・新合小学校・御領鬼池小学校・楠浦小学校・富岡小学校・大矢野総合グラウンド

3. 参加人員

（外部）関係諸団体

65チーム 720名

（内部）理事・役員 21名

メンバー 19名

その他 1名

合計 761名

4. 事業内容

- （1）小学生を対象に、天草の地域内で活動を行うクラブチームとの試合を経験できる大会を、学校を母体とするサッカー協会との共催で開催する。
- （2）事業当日までに開催会場になる小学校に訪問する際、当日使うボールと備品を渡す。
- （3）リフティングコンテストに関して、開催場所・コンテストに参加する順番等を事前に各チームの指導者にお知らせする。
- （4）事業終了後、HPに活動中の写真や試合結果を掲載する。

5. 成果

（対 外）

① 協会未登録のために参加できる試合が少ない未登録のチームも、参加できるようにしたことで、日頃

積み重ねてきた成果を発揮できる場を提供することが出来た。

- ② リフティングコンテストにおいて、自分以外の出番の時も、チームメイトを励ましている姿を見て、本大会を通してコミュニケーション能力とチームワークが身についていると確信出来た。

(対 内)

- ③ 今年は3回目の開催ということもあり、朝からの準備や片付け、リフティングコンテストにおける集計作業なども役割分担して行えたので大会運営がスムーズに行え、メンバー同士の連携と団結力を高めることが出来た。
- ④ 子ども達一人ひとりが試合に真剣に取り組み、切磋琢磨している姿をメンバーも応援している姿は大会に関わる子ども達、保護者、先生方の気持ちが一体となり、メンバーの青少年健全育成事業に対する想いを高めることが出来た。

6. 引継事項

【事前準備について】

- ① 学校へ備品をもって挨拶をされる際にはサッカー担当の先生だけでなく、校長先生にもご挨拶を出来るようにお願い致します。
- ② 事前説明会では大会の趣旨等の説明を行い、大会の趣旨もわかりやすく良かったとご意見を頂いたので、来年も大会の趣旨等の説明を行って下さい。

【運営について】

- ③ リフティングコンテストの途中経過報告を時間通りにするために、報告担当との連絡を密にするようお願い致します。
- ④ 大会当日、遅刻をすると他のメンバーにも迷惑をかけるので、原則、遅刻はしないようにくれぐれも注意して下さい。また、遅刻予防のために、参加されるメンバーには再度大会前に確認の連絡をお願い致します。
- ⑤ 今年は前大会よりも試合開始時間を30分送らせたので、事前に準備が出来ない試合会場（大矢野総合グラウンド）も準備する時間が十分に確保できた。次回も本年と同じ時間帯で開催できるようにご検討下さい。
- ⑥ 毎年、スタッフの確保は大変だが、運営もいまの流れで良いと思う。毎年いまのスタイルで大会も開催出来れば良いというご意見がありましたが、一方でリフティングコンテストの他にもチーム対抗でコンドリブルのスピードを競うゲームもしてはどうか、子ども達に夢を与えるきっかけにロアッソ熊本の観戦チケットを抽選でプレゼントされてはどうかという提案がありました。次回開催時に参考にして頂ければと思います。
- ⑦ 今年は事業直前で会場数の変更があり、2会場分のサッカーボールと石灰が余ったのでサッカー協会様に贈呈しました。来年も事業直前でこのような不測の事態がありますので、サッカーボールが余った場合はサッカー協会様に贈呈されるようお願い致します。
- ⑧ 一部の会場で弁当箱のゴミが残っており、また選手の嘔吐物を保護者が会場校任せにされた保護者がおられたので、次回より参加者のマナーの周知もされるようお願い致します。

【リフティングコンテストについて】

- ⑨ 過去の大会を通して、リフティングコンテスト当日はエントリーシートを忘れて来られる方があるので、次回からはサッカー協会様と打ち合わせの上で、事前にきちんと漢字で書かれたエントリーシートを受け取れるようにご検討をお願い致します。

- ⑩ 旗が立てられるように備品の中に旗を立てる台を加える。もしくは、サッカー協会様と打ち合わせをして、旗が立てられる場所を確保して頂く。
- ⑪ リフティングコンテストの回数発表は最高記録の他に、入賞の10位まで記録を発表すれば、生徒たちにもより多くのチャンスが増え、モチベーションが上がると思いますので、ご検討下さい。
- ⑫ リフティングコンテストでは仕方ないことですが、1回、2回で終わる子供がいて寂しそうにしているので、参加賞などがあれば良いと思いますので、ご検討下さい。
- ⑬ 女子の参加チームを今年は増やすことが出来ませんでした。本大会はサッカー未経験者でも参加できる大会でもあり、女子バスケットチームや吹奏楽団部の女子も参加できるという周知が足りなかったと思いますので、来年はその点も踏まえて担当の先生に周知して頂けるようにご検討下さい。
- ⑭ 来年度は統廃合により、サッカー協会に登録している参加チームが減ってくる可能性がありますので、本大会の前にあるサッカー大会などの参加チーム数などを参考にして、参加人数計画をご検討下さい。
- ⑮ 審議時のリフティングコンテスト回数表示用スケッチブックの在庫と単価の確認、賞状の在庫確認が出来ておらず、決算の際に差異が生じたので、予算を組む際には在庫確認と備品の単価が変わっていないかチェックを行うようにして下さい。
- ⑯ HPに写真掲載することに関して、活動している子供たちの写真を是非HPに載せて欲しいと保護者からご意見がある一方で、一部の保護者から子供の写真を載せないで欲しいとの意見もあるので、事前に大会参加にあたり、サッカー協会様よりHPには写真も掲載する旨を十分に伝えて下さい。

II. 事業名：【創立50周年記念 青少年健全育成事業 キズナキャンプin竜洞山】

1. 事業目的

社会問題としても課題である核家族化、この弊害として取り上げられる老人や目上の方に対する思いやり、地域の人たちとの関わりや助け合いのなかにある絆が薄れてきたことは、私たちの住むまちにとっても今後の課題であります。

そこでより一層の「絆」を育むべく、明日を担う青少年が、心身共の健やかな成長を遂げられ、豊かな感性と感謝や思いやりの心をもてるようにする。

2. 実施日時・場所

- ・メンバー向け説明会 2013年4月11日(木)・12日(金)
19:30~20:30
- ・リーダー学習会 2013年4月13日(土) 8:00~
14日(日) 17:00
- ・リーダー学習会補習日 2013年4月30日(火) 8:00~16:00
- ・事前学習会 2013年5月06日(月) 9:00~12:00
- ・メンバー向け説明会 2013年6月04日(火)・05日(水)
19:30~20:30
- ・キズナキャンプ 2013年6月08日(土) 6:00~
9日(日) 17:00
- ・約束の日 2013年8月17日(土) 10:00~12:00

【事前学習会】 株吉永産業 天草支店 3F 会議室
天草市南町3-1 0969-23-1555

【リーダー学習会・キズナキャンプ・約束の日】
天草市役所裏駐車場から竜洞山までの公道(25km)
竜洞山 みどりの村 天草市新和町小宮地11312
電話/FAX 0969-46-2437 (敷地内管理棟)

3. 参加人員

【リーダー学習会及び補習日】

内 訳	①	対外対象者	合計	11名
		(詳細)	熊本県立河浦高等学校	9名
			高校生ボランティア	2名
			ボランティア引率教諭	2名
	②	対内対象者	合計	24名
		(詳細)	役員	12名
			メンバー	12名
			(内、委員会)	(8名)

【事前学習会】

内 訳	①	対外対象者	合計	63名
		(詳細)	上天草市・天草市 苓北町の小学校	

5・6年生	27名
熊本県立河浦高等学校	9名
高校生ボランティア	2名
ボランティア引率教諭	24名
参加者保護者	1名
上中サイクル	28名
合計	17名
役員	11名
メンバー	(8名)
(内、委員会)	

【キズナキャンプ】

内 訳	① 対外対象者	合計	45名
	(詳細)	上天草市・天草市	
		苓北町の小学校	
		5・6年生	27名
		熊本県立河浦高等学校	9名
		高校生ボランティア	2名
		ボランティア引率教諭	4名
		参加者保護者	2名
		天草中央総合病院看護師	1名
		上中サイクル	42名
	② 対内対象者	合計	24名
	(詳細)	役員	18名
		メンバー	(10名)
		(内、委員会)	

【約束の日】

内 訳	① 対外対象者	合計	47名
	(詳細)	上天草市・天草市	
		苓北町の小学校	
		5・6年生	27名
		熊本県立河浦高等学校	9名
		高校生ボランティア	2名
		ボランティア引率教諭	9名
		参加者保護者	34名
	② 対内対象者	合計	22名
	(詳細)	役員	12名
		メンバー	(9名)
		(内、委員会)	

4. 事業内容

【リーダー学習会】

- ① 事業の主会場となる場へ、事業当日と同じ片道23.3kmの道程を各チームに分かれ自転車と徒歩で行き帰りする。
- ② 1泊2日の行程中3食（1日目夕食・2日目朝食・昼食）において、食事と食器について手作りする。
- ③ リーダー学習会を行うことで、リーダー・サブリーダー・メンバーが絆学習会4モジュールで参加者に伝えるべきことを周知し、なぜこのプログラムを行うかの意義を正確に伝える。また、実習についてもメンバーとサブリーダーとメンバー主導の交流を図るために技術習得を行う。

【事前学習会】

- ④ 「絆」をより効果的に考えてもらえる為、東日本大震災後、日本人のとした行動を映像で見ることから考えさせ、今後の行動指針となる宣言に導きます。
- ⑤ 事業前に参加者・協力者（保護者、看護師、ボランティア）・メンバーに本事業の主旨を伝える。
- ⑥ 事業当日プログラム内における危険ポイントや約束事を映像やクイズ形式を用いて説明を行う。
- ⑦ 人と人とのつながり「絆とは何か」を学んでもらいます。キズナキャンプ内プログラムが、今回参加者に伝えたいこと、学んでもらうことを講義し、予習してもらい、当日を迎えて貰う学習会を行います。
- ⑧ 絆学習会では、3つのプログラムで参加者に伝えたいこと、学んでもらうことを投げかける時間とします。なぜこのような実習を行うのかを理解してもらいます。
- ⑨ チーム毎に課題を与え、一体感を演出できるものとし、事業当日に向けてチーム内やメンバー、そしてボランティアの方々と交流を深める時間とする。
- ⑩ 事業内で行う、将来の夢や10年後の自分へのメッセージを課題として与える。

【キズナキャンプ】

- ⑪ 1泊2日の行程中3食（1日目夕食・2日目朝食・昼食）において、参加者がチームに分かれ、各チーム内で役割分担し、協力し合って食事と食器について常に、自分のためだけでなく他の誰かのために手作りする。
- ⑫ 参加いただく保護者の方々には、1日目・2日目共に現地集合とし、竹細工体験・調理実習・ボランティア作業に協力いただきます。
- ⑬ 体験及び実習については、自分のものを制作工作するのではなく、全てにおいて他の誰かのためにし、他の誰かが自分のために行います。
- ⑭ 事業開催地にてレクリエーションを行う。その際、行動はチーム毎とし、LOMメンバーと保護者の方も各チームに配属し、対戦方式を用い協力し合うことで一体感を生むようにする。4世代の事業参加者（第1世代参加者の子供世代・第2世代サブリーダーの高校生兄弟世代・第3世代リーダー含むメンバーの親世代・第4世代祖父母世代）がより深い交流を図る機会にします。
- ⑮ 開催地でのボランティア作業を参加者全員で行う。
- ⑯ 「キズナ記念碑」（遊歩道内の休憩ベンチ）を全員で制作し、そこに仕上げ貼りするアズレイジョ（タイル）に思い思いのメッセージを記します。（当日は記念碑土台作成のみ、内田皿山焼に釜入後、約束の日に自分たちで貼る。）

【約束の日】

- ⑰ 『天草本渡青年会議所50周年記念・青少年健全育成事業キズナ記念碑』の仕上げをする。（焼きあがったタイルを自分たちで貼り付けします。）
- ⑱ 2つのプログラムを通じて芽生える人と人との関りと絆を今回限りのものとしないうかたちに残し（記念碑）、未来の約束をここで結んでもらいます。

10年後の自分へと、また同じときを過ごしたチームメンバーへメッセージを綴ったものを、タイムカプセルとして、記念碑下に埋め込む。

5. 成 果

(対 外)

- ① ボランティア協力もあって、事業内で多くの出会いがあり、助け合い励まし合う行動が見られ、絆を育むことに繋がりました。また、自転車を交通手段としたことで、自然の風、香り、風景を感じさせることが出来た。
- ② 実際起こった事象を学習することで、抽象的な『絆』を震災後の日本人のとった行動から効果的に伝えることが出来た。

(対 内)

- ① 事業に参加したメンバー全員に役割分担したことで、参加してくれた小学生や高校生と交流することが出来た。また三度会うプログラムで繰り返し携わり、つよく繋がりや親近感を育むことが出来た。

一度きりでない4回のプログラムをとおして触れ合うことで、青少年期の考えや行動をより深く知ることが出来、今後も青少年健全育成の大切さと、必要とされていることを知ることが出来た。

6. 引 継 事 項

【事前説明会】

- ① 本年事業へ高校生ボランティアを起用したこともあり、説明会への参加をしてもらいました。結果、本事業主旨をより深く周知するに至り、事業時には大変効果的な行動をとってくれることとなり、私たちが学ぶ機会ともなりました。参加者へのメッセージがより強く伝わる効果を考え、協力者等へも事前説明からの参加を行って下さい。

- ② 出席率が低い事や、遅刻者が多いことから開催日程や時間帯を工夫してみてください。

【リーダー学習会】

- ③ 本年、技術指導者を利用してはいけないとのことから、委員会メンバーやリーダー、高校生ボランティアがその責を担うこととなり、それぞれ3回以上の練習を行ったが、事業時は不十分な結果でありました。本年同様自ら行うのであれば、十分な訓練期間を設けるようにして下さい。事業の手作り感はあるものの、クオリティーに満足がいかない・事業に満足できないものになりかねません。適切な判断をして下さい。

- ④ キャンプファイヤーを行った際、火の始末準備は行っていたものの、気象条件（風、乾燥）を十分に考慮していなかった。火など危険物の取り扱いを検討される時は、可否条件を明確に行ってください。

【事前学習会】

- ⑤ 当日キャンセルが1件ありました。班構成（人数割り・男女比）に影響がありました。当日対応も視野に入れて組み立てられたらよいと思いました。

- ⑥ 会場が1室で2つの並行するスケジュール（学習会・保護者説明）を計画し、片方でマイクを使った進行

をしていたこともあり、聞こえづらい状況がありました。このような場合2室で行われたほうが良いと思います。

⑦登録料を参加者とメンバー同時に徴収したこともあり、受付コーナーの混雑を生み出してしまいました。別日に行くか、コーナーを分けるなどご検討下さい。

⑧事前説明など、日頃仕事でもやっている事でも、対象者（小学生）が誰であるかを視野に入れた、リハールを行っておくとよいと思います。

【キズナキャンプ】

⑨本事業は、行程内に業者を利用することなく実施しました。良いところ悪いところが如実に表れる結果となりましたが、手作り感のある事業であったことは間違いありません。しかし、タイムスケジュールのタイトさやクオリティーについては完全に納得のものではないところがありました。次年度においては現調を繰り返す中で、主旨を踏まえた、自作と委託の適切な判断を行って下さい。

⑩自転車走行安全対策担当で指示を無視し、担当箇所と違う場所へ行っていたメンバーがいて参加者やその他のメンバーからのクレームとなりました。今回のような広範にわたる事業を計画される際は、配置確認作業も計画して下さい。

⑪参加した子ども達やメンバー間でも、受けた行為に対しての礼節が欠けていたので、メンバーからの声掛けや指導までが今回の手法の理由であったため、更なるメンバーへの周知が必要でした。現地調査からメンバー向け説明会において、時間をもっと割く必要があります。

⑫開催した季節が害虫（蚊）やアレルギー（スギ花粉）のリスクの少ない時期であったこと、寒暖も穏やかな（熱中症リスクが無い）時期、であったため、子ども達の集中力維持には適した時期でした。テーマが根性や気合いでなければとても良い開催時期でした。

⑬島内開催のため、参加しやすかったとの意見が多かったですが、昨今の参加率低下の歯止めには効果がなく、各個人の都合上100%参加は叶いませんでしたが、100%参画は実践できました。事業へ参加できない方のことも考え、参画できる手法も取り入れてはいかがでしょうか。

⑭事業開催中における買い食いに関し、規制に関する事項の発信を全く行っていなかったため、よし悪しの判断が誰もできない状況でした。携行品や開催地の状況及び気候等で判断の違いはあるでしょうが、委員会から何らかの発信はあったがよいと思いました。

⑮夜、熱発した参加者がいました、同伴の看護師が対応を下さり、大事には至りませんでした。同時に保護者様への連絡をし、対応を尋ねたところ朝まで様子を見て欲しい旨の回答でしたので、看護師に看護していただきました。翌朝、保護者の方が見えられ、本人と看護師とでの意思確認を行い、事業参加継続となりお昼前には体調も回復し、ゴールを共にできました。緊急時フローチャートの大切さを再認識しました。事前説明会や、事前学習会時の周知を行って下さい。

⑯今回スケジュール上、フリータイムを多く設けることが出来ませんでした。仕組む交流も大切ですが、

自由に対象者とメンバーとが交流する時間を取れば、更に親密になれたと感じました。

【約束の日】

①このプログラムは、繰り返し学習の形であり、メッセージをより濃くする行程となりましたので、参考にして下さい。

⑧10年後に届くハガキに各自住所氏名を書いている様子は、未来へのワクワク感からか、とてもよい表情でした。将来・未来・夢を描くような瞬間を作ってあげて下さい。

⑨手法の検証⑨の部分ですが、当会議所の事業形態の特色でもある単年度制が故の長期に亘る関りが持てないことを克服するような、子どもたちが容易に思い出を振り返りやすく、また思い出しやすい形にすることが長期の影響を持つものになると思います。工夫してみてください。

⑩事業参加できなかったメンバー分のアズレイジョメッセージ入れや、10年後へのメッセージカードのまとめを行う期間が短く不満の声がありました、依頼事は締日にゆとりのある計画をして下さい。

【その他】

⑪事業実施日（事前説明会含む）から募集期間を考え、募集要項配布に掛かる日数、その前の印刷物納品期間を考慮し上程スケジュールを組んで下さい。不慮事態に柔軟な対応が出来る準備期間を設けるようにして下さい。

⑫事業実施日について事後アンケート結果をご参考下さい。

⑬手作り事業には多くの現地調査や、シュミレーション・リハーサルが必要となります。そのことより、委員会メンバー多くの参加はさることながら、他のメンバー助けなしに実行はあり得ません。いかに早い段階で当日の協力が得られて、具体的役割（リーダー・食事・管理など）を担ってもらえるかがカギになります。事業開催日の周知は当然ですが、担当も早めに依頼するようにして下さい。

⑭校長会は2月と3月は行われません。（2月は教頭会の開催のみ）

⑮フローチャートを作成し、協力者とメンバーに周知を図ろうと利用し説明をしましたが、巧く機能しませんでした。現地調査やリーダー学習会、そしてメンバー向け説明会でも足りませんでした。次回からはフローチャートの効果が増すような工夫、もしくは別の手法を検討下さい。

⑯記録に関し、事業行程が広範囲のため役割分担しお願いしていた2名と担当委員会では、当日の参加状況の影響もあり多少の撮影ムラが出ていた。当日の配置確認を怠らないようにして下さい。

委員会開催報告

回数	開催日	委員会開催場所	内容	出席	欠席	出席率
1	2012. 8. 24	ゆいはん	年間事業について	7	3	70%
2	2012. 10. 6	竜洞山	青少年健全育成事業 現地	4	6	40%

			調査			
3	2012. 10. 30	J C会館	青少年健全育成事業	4	6	40%
4	2012. 11. 21	株式会社エムズ	青少年健全育成事業	5	5	50%
5	2012. 11. 29	株式会社エムズ	青少年健全育成事業	5	5	50%
6	2012. 12. 6	株式会社エムズ	青少年健全育成事業	3	7	30%
7	2012. 12. 16	ゆいはん	青少年健全育成事業	5 (3)	5	50%
8	2012. 12. 27	J C会館	青少年健全育成事業 第3回J Cサッカー	8	2	80%
9	2013. 1. 6	ゆいはん	青少年健全育成事業 第3回J Cサッカー	7	3	70%
10	2013. 1. 17	J C会館	青少年健全育成事業 第3回J Cサッカー	6	4	60%
11	2013. 1. 29	J C会館	青少年健全育成事業 第3回J Cサッカー	6	4	60%
12	2013. 2. 4	J C会館	青少年健全育成事業 第3回J Cサッカー	5	5	50%
13	2013. 2. 18	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
14	2013. 3. 11	J C会館	青少年健全育成事業	4	6	40%
15	2013. 3. 13	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
16	2013. 3. 14	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
17	2013. 3. 17	J C会館	青少年健全育成事業	4	6	40%
18	2013. 3. 31	J C会館	青少年健全育成事業	7 (1)	3	70%
19	2013. 4. 8	J C会館	青少年健全育成事業	4	6	40%
20	2013. 4. 22	J C会館	青少年健全育成事業	4	6	40%
21	2013. 4. 29	J C会館	青少年健全育成事業	2	8	20%
22	2013. 4. 30	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
23	2013. 5. 23	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
24	2013. 5. 30	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
25	2013. 6. 4	J C会館	青少年健全育成事業 (事業説明会)	7	3	70%
26	2013. 6. 5	J C会館	青少年健全育成事業 (事業説明会)	7	3	70%
27	2013. 6. 12	J C会館	青少年健全育成事業	5	5	50%
28	2013. 6. 19	J C会館	青少年健全育成事業	7	3	70%
29	2013. 7. 12	J C会館	青少年健全育成事業	6	4	60%
30	2013. 8. 2	J C会館	青少年健全育成事業	6	3	67%
31	2013. 8. 4	竜洞山	青少年健全育成事業	3	6	33%
32	2013. 8. 16	J C会館	青少年健全育成事業 (準備)	8	1	89%
33	2013. 10. 7	天草市交流会館ポルト	交流会	4 (6)	5	44%

委員長所見

年頭に「会する良さ」を引き出す委員会運営に心掛けると宣言したが、33回の開催中において結局、一度も100%委員会の実施が出来なかった。JCサッカー・式典・青少年健全育成事業を通じ、委員会メンバーには、多くのプライベートタイム費やしてもらいました。だからこそLOMメンバーそれぞれに意見交換と意思疎通が出来た実感はあると思います。また、費やした時間はひとの為・子ども達の為の時間であり、牽いて家族の為、自分の為であることに気がきました。私にとっても委員会メンバーにとっても、とても辛かったが、とても楽しい1年間でした。

委員会活動を通じ、青年会議所の取り組みの重要性と、今後の指針を頂きました。

担当副理事長所見

本年、青少年委員会の担当副理事長として前田委員長はじめ委員会メンバーと共に歩んできました。委員会では「絆」を掲げ、まずは青少年員会メンバーが絆で結ばれ一丸となって、青少年健全育成事業を構築することを決意し、スタートしました。現地調査を何度も行い、いろいろな意見を吸収し事業を組み立てて行くことができました。事前学習・事業当日・約束の日と事業を行っていくなかで、日に日に参加者とボランティアと青年会議所メンバーの絆が育まれて来ているように実感しました。物理的・化学的に表せない「絆」は、一人ひとりが実感して形になるものだと思います。青少年委員会のみなさん、一年以上でしたが、本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました。